

# 万博公園探鳥会

2025年1月11日(土)  
 リーダー 田中宏・中筋好子・橋本昌宗・大矢麻由美  
 玉置こるり・平軍二(090-6901-1425)

## あけましておめでとうございます

万博公園探鳥会は昭和60(1985)年2月にスタートし、満40年となりました。この間、千里タイムズ紙には毎月万博公園探鳥会案内を掲載していただいたことで、千里ニュータウンを中心とする吹田市・豊中市など北摂にお住いの多数の方々に、野鳥とのふれあいを楽しんでもらうことができました。

本年も良き鳥・良き人との出会いを楽しみに、万博公園探鳥会を続けたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

### I 千里の鳥・万博の鳥「ハイタカ」

漢字名「灰鷹・鶴」 (写真 橋本昌宗氏)



「一富士二鷹三茄子(いちふじにたかさんなすび)」は、初夢に見ると縁起が良いとされています。今年最初の「千里の鳥・万博の鳥」は、昨年12月14日探鳥会で観察できたハイタカ、スタート前の開園を待つ人々に見守られて上空を舞うなど、3羽も観察できた。

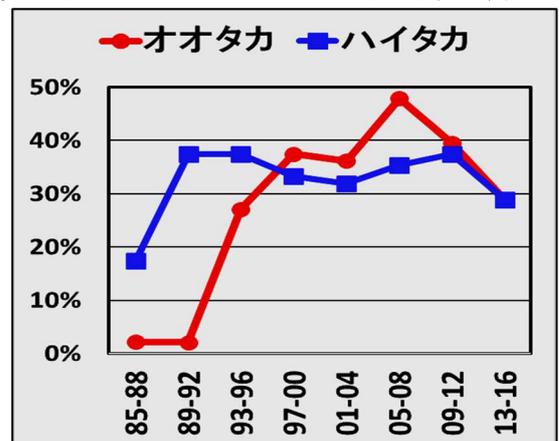
ハイタカの体長(嘴の先から尾羽の先端)は雄32cm、雌39cmで、キジバト33cmほどの小型のタカ、万博公園ではカワラヒワ・スズメ・ムクドリなどの小鳥類を餌にしていると思われる。

ハイタカは本州中部以北で繁殖しているが、大阪府内での繁殖記録がほとんど無く、春・秋の渡りの季節や冬鳥として観察されている。

万博公園では同属でハイタカより大きいオオタカが営巣・子育てをした年もあるが、その年でも冬になるとハイタカが渡来し、万博公園の上空を舞う姿を確認した。ハイタカ(やオオタカ)が飛ぶと、万博公園の主を自認しているカラスが群で追いかけることがあり、ハイタカは「ほうほうのていで逃げ回る」姿を見ることがあるが、ハイタカはカラスに負けることなく、しぶとく逃げ回っている。しかしオオタカが同属のハイタカを捕食することがあるとのこと、猛禽類であっても厳しい世界に生きていることがわかる。

### ①万博公園探鳥会でのハイタカの観察頻度 → (平:万博公園探鳥会記録より)

ハイタカ(+オオタカ)の万博公園探鳥会での観察頻度は右図の通りである。

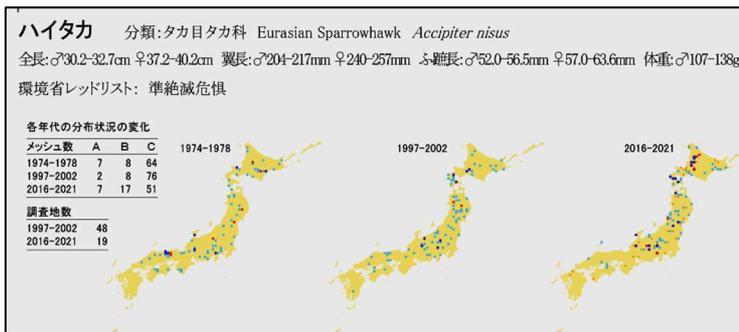
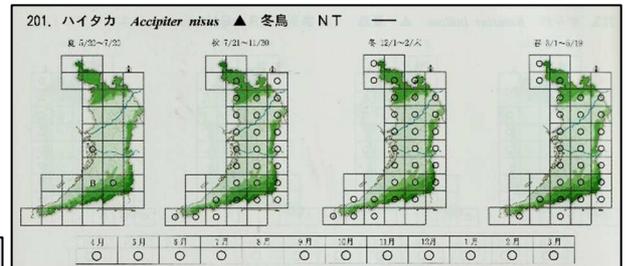


**オオタカ**は2007年～2014年に万博公園内で営巣・子育てをしたが、観察頻度は冬鳥として**ハイタカ**とあまり違いがないことは、一年中住んでいても園内で目立たないように生息しているためと推定している。

(オオタカの雌は繁殖期が終わると自由に移動しているため、万博公園にはいないと思われるが、雄は繁殖個所を守るため、一年中営巣地の近くにいる筈である。)

**②大阪府鳥類目録 2016: 日本野鳥の会大阪支部→**

右図では秋～春まで府内全域で確認されているが、繁殖記録はBランクーカ所のみ、2011年7月岸和田市で成鳥がヒナに餌を運ぶ姿が確認されたとのことである。



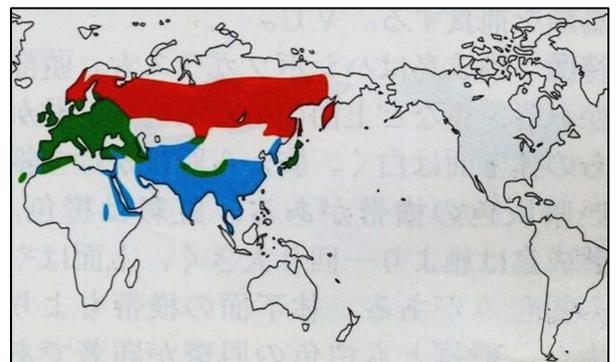
**← ③全国鳥類繁殖分布調査 鳥類繁殖分布調査会(2021年)**

全国での繁殖状況は左図の通り、記録メッシュ数には大きな変化はない。しかし1990年代と2010年代にほぼ同じコースを調査できた現地調査の記録をみても、48地点から19地点へと大きく減少している

た。この原因として、ハイタカはオオタカに捕食されることがあり、オオタカを避けてより樹木密度の高い場所で繁殖していること、オオタカの分布拡大の影響で減少している可能性や日本の樹林の成熟化で、営巣適地が減っている可能性などが考えられる。分布域の南部(中部地方以南)では、記録されなくなった所が増えている。

**④世界の繁殖地・越冬地分布図 → 真木・大西「日本の野鳥 590」平凡社(2000年)**

- ハイタカの繁殖地・越冬地、
- ・繁殖地: ユーラシア大陸亜寒帯
  - ・繁殖・越冬地: 日本中北部・欧州
  - ・越冬地: 日本の南部～アジア熱帯地域



**Ⅱ 来月の万博公園探鳥会 2月8日(土)**

集合 9:30 自然文化園中央口 終了 15:00 頃 日本庭園内の予定

内容 今月資料のトップに書きましたが、万博公園探鳥会は1985年2月にスタートしましたので、1月で満40年、2月からは41年目入ります。これまで2月探鳥会で全員写真を撮ってきましたので、今年2月も全員写真を撮りたいと思っています。

12月後半から近畿北部。北陸の積雪が多くなっており、少なかった冬鳥が渡来し多くなっていると思います。ルリビタキやアトリなどに会いたいと思っています。

**参加ご希望の方 今月同様大阪支部 HP ホームズ様式からお申し込みください。**

ホームズでの申し込みが難しい方、平宛メール [g.0501.hi@gmail.com](mailto:g.0501.hi@gmail.com) への連絡でも OK。

## Ⅲ 先月 2024 年 12 月万博公園探鳥会結果

スタート時開園を待つときハイタカが飛び、その後もあわせ 3 羽、各 1 羽ずつであるがミサゴ・トビ・ノスリとタカの仲間を 4 種確認することができた。カモは万博公園としてはオカヨシガモが過去最大と思われる 27 羽も確認できたが、他はキンクロハジロ(1)・カルガモ(28)で 3 種に止まった。

冬鳥で最もポピュラーなツグミの渡来が遅く 11 月探鳥会では見なかったが、今日は 25 羽確認することができ、シロハラ(3)・ジョウビタキ(8)・アトリ(5)・アオジ(2)と、ぼつぼつ渡来していることがわかった。前日の天気予報で雨確率が高かったことなどから、申し込んでくださっていた方から 7 人もの不参加連絡をいただいたが、スタート時点まで残っていた小雨が上がり探鳥会中は雨が降ることもなく、参加してくださった方には、35 種の鳥を楽しんでもらうことができた。

写真(橋本昌宗氏)



アトリ



ジョウビタキ



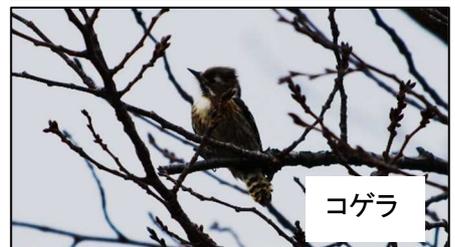
ツグミ



モズ



エナガ



コゲラ



カワセミ



オオバン



オカヨシガモ

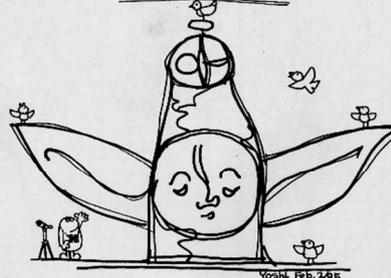
## Ⅳ 万博公園探鳥会 (第 1 回) 資料 →

万博公園探鳥会は、1985 年 2 月 16 日が第 1 回目の探鳥会でした。リーダーは塩田 猛さん、中野義弘さん(右資料作成)、平 軍二の 3 人でスタート、85 年 5 月からは黒田悦三さんにも入っていただき 4 人体制、その後も多数の方(30 人以上)にサポートしていただき、40 年間探鳥会を継続することができました。

### 万国博記念公園探鳥会

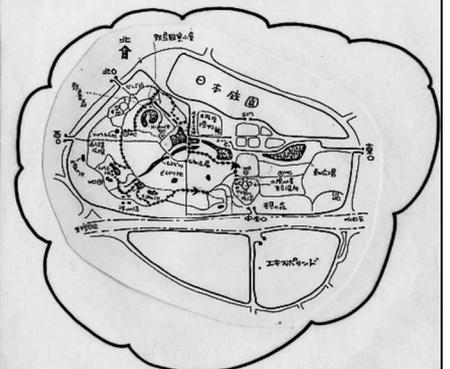
1985・2・16 (土)

日本野鳥の会大阪支部



1970 年開催された日本万博の跡地に造られた公園です。10 数年たった、樹木も繁り四季の花が咲き、素晴らしい公園になりました。今日は万博の 10 周年記念事業のひとつとして 1980 年に造られた、自然文化園内の野鳥の森を中心にバードウォッチングを楽しみます。

午後、時間があれば日本庭園にも行ってみたいと思います。  
では、出発……



- 探鳥会で守ってほしいルール  
鳥の気持になつて観る。(静かに、そと)  
ゴミやタバコの灰捨て禁止。  
採取はしないで。そのまゝに。  
メジロのワッペンに誇りをもって。

# V 万博公園探鳥会観察種 チェックリスト

万博 NO	大阪 NO	種名	2024											2025					大阪 NO						
			1	2	3	4	5	11	12	1	2	3	4	5											
			13	10	9	13	11	9	14	11	8	8	12	10											
1	24	オシドリ	2	2	25																			24	
2	26	オカヨシガモ														27									26
3	27	ヨシガモ																							27
4	28	ヒドリガモ																							28
5	30	マガモ	2				2																		30
6	32	カルガモ	32	26	28	9	16	4	28																32
7	35	オナガガモ																							35
8	38	コガモ																							38
9	42	ホシハジロ			1																				42
10	46	キンクロハジロ	1	2												1									46
11	58	ミコアイサ																							58
12	62	カイツブリ	4	7	1	3	5	8	3																62
13	74	キジバト	5	1	4	8	4	3	6																74
14	78	アオバト		5	1																				78
15	127	カワウ	3	6		8	7	1																	127
16	139	ゴイサギ																							139
17	144	アオサギ	2	1	2	1	1	1	1																144
18	146	ダイサギ		1	1																				146
19	148	コサギ		5	2	3																			148
20	166	クイナ																							166
21	174	バン																							174
22	175	オオバン									1	5													175
23	187	ツツドリ																							187
24	192	アマツバメ																							192
25	195	ケリ																							195
26	202	イカルチドリ																							202
27	203	コチドリ																							203
28	219	タシギ	2	2	2	2																			219
29	244	イソシギ																							244
30	286	ユリカモメ																							286
31	339	ミサゴ	1	1												1									339
32	340	ハチクマ																							340
33	342	トビ		1							2	1													342
34	354	ツミ																							354
35	355	ハイタカ	3	1	1							3													355
36	356	オオタカ	1	4																					356
37	357	サシバ																							357
38	358	ノスリ			1	1						1													358
39	383	カワセミ	4	2	6	1	3	4	6																383
40	388	アリスイ																							388
41	390	コゲラ	5	5	2	5	2	3	4																390
42	401	チョウゲンボウ		1	1	1																			401
43	407	ハヤブサ																							407
44	412	サンショウクイ																							412
45	418	サンコウチョウ																							418
46	420	モズ	2	1	1						3	1													420
47	435	ハシボソガラス	15	7	5	13	15	9	21																435
48	436	ハシブトガラス	32	38	48	34	48	57	54																436
49	442	ヤマガラ	4	8	2	2	2	8	3																442
50	445	シジュウカラ	14	18	17	23	17	12	14																445
51	457	ツバメ				6	27																		457
52	459	コシアカツバメ					3																		459
52	463	ヒヨドリ	67	52	26	13	12	67	98																463
53	464	ウグイス	2	1	5	11	6	3	3																464
54	465	ヤブサメ																							465
55	466	エナガ	8	9	6	2	6	18	11																466
56	476	オオムシクイ																							476
57	477	メボソムシクイ																							477
58	479	エゾムシクイ																							479
59	480	センダイムシクイ												1											480
60	485	メジロ	6	4	7	8	11	16	8																485
61	492	オオヨシキリ																							492
62	501	ヒレンジャク																							501
63	506	ムクドリ	14	2	1	4	14		14																506
64	508	コムクドリ																							508
65	514	トラツグミ		1																					514
66	521	シロハラ	1	3	4	8		2	3																521
67	522	アカハラ				3		1																	522
68	525	ツグミ	136	3	44	35		25																	525
69	530	コマドリ																							530
70	536	ルリビタキ			1																				536
71	540	ジョウビタキ	7	3	5	1		11	8																540
72	542	ノビタキ																							542
73	549	イソヒヨドリ		1	1				2																549
74	552	エゾビタキ																							552
75	554	コサメビタキ						2																	554
76	558	キビタキ						1	1																558
77	561	オオルリ																							561
78	568	ニュウナイスズメ						11																	568
79	569	スズメ	31	32	4	21	23	57	28																569
80	573	キセキレイ						1																	573
81	574	ハクセキレイ	16	12	15	9	6	17	21																574
82	575	セグロセキレイ	4	2		1		1	1																575
83	580	ピンズイ																							580
84	584	タヒバリ																							584
85	586	アトリ	18	31	32	2		5																	586
86	587	カワラヒワ	81	97	65	10	15	1	19																587
87	600	シメ	8			2																			600
88	602	イカル						3	4																602
89	610	ホオジロ																							610
90	617	カシラダカ																							617
91	624	アオジ	2		2	2		3	2																624
92		ドバト	○	○		○																			

# 万博公園探鳥会

2025年1月11日(土)  
 リーダー 田中宏・中筋好子・橋本昌宗・大矢麻由美  
 玉置こるり・平軍二(090-6901-1425)

## あけましておめでとうございます

万博公園探鳥会は昭和60(1985)年2月にスタートし、満40年となりました。この間、千里タイムズ紙には毎月万博公園探鳥会案内を掲載していただいたことで、千里ニュータウンを中心とする吹田市・豊中市など北摂にお住いの多数の方々に、野鳥とのふれあいを楽しんでもらうことができました。

本年も良き鳥・良き人との出会いを楽しみに、万博公園探鳥会を続けたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

### I 千里の鳥・万博の鳥「ハイタカ」

漢字名「灰鷹・鷲」 (写真 橋本昌宗氏)



「一富士二鷹三茄子(いちふじにたかさんなすび)」は、初夢に見ると縁起が良いとされています。今年最初の「千里の鳥・万博の鳥」は、昨年12月14日探鳥会で観察できたハイタカ、スタート前の開園を待つ人々に見守られて上空を舞うなど、3羽も観察できた。

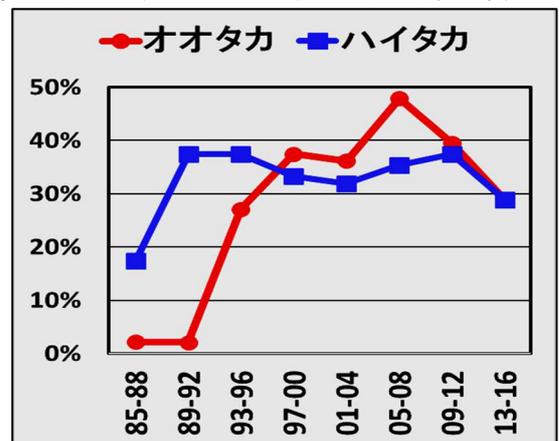
ハイタカの体長(嘴の先から尾羽の先端)は雄32cm、雌39cmで、キジバト33cmほどの小型のタカ、万博公園ではカワラヒワ・スズメ・ムクドリなどの小鳥類を餌にしていると思われる。

ハイタカは本州中部以北で繁殖しているが、大阪府内での繁殖記録がほとんど無く、春・秋の渡りの季節や冬鳥として観察されている。

万博公園では同属でハイタカより大きいオオタカが営巣・子育てをした年もあるが、その年でも冬になるとハイタカが渡来し、万博公園の上空を舞う姿を確認した。ハイタカ(やオオタカ)が飛ぶと、万博公園の主を自認しているカラスが群で追いかけることがあり、ハイタカは「ほうほうのていで逃げ回る」姿を見ることがあるが、ハイタカはカラスに負けることなく、しぶとく逃げ回っている。しかしオオタカが同属のハイタカを捕食することがあるとのこと、猛禽類であっても厳しい世界に生きていることがわかる。

### ①万博公園探鳥会でのハイタカの観察頻度 → (平:万博公園探鳥会記録より)

ハイタカ(+オオタカ)の万博公園探鳥会での観察頻度は右図の通りである。

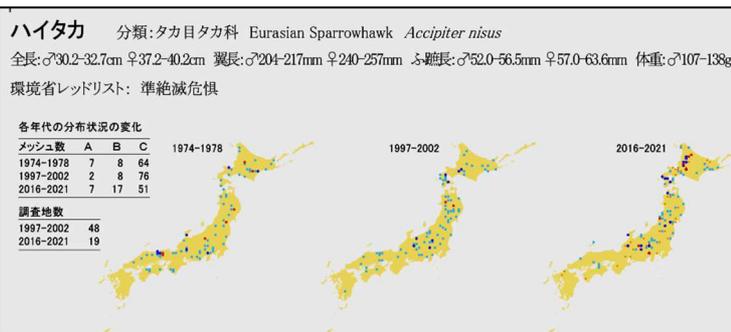
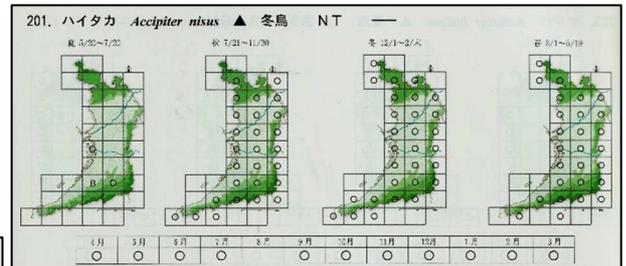


**オオタカ**は2007年～2014年に万博公園内で営巣・子育てをしたが、観察頻度は冬鳥として**ハイタカ**とあまり違いがないことは、一年中住んでいても園内で目立たないように生息しているためと推定している。

(オオタカの雌は繁殖期が終わると自由に移動しているため、万博公園にはいないと思われるが、雄は繁殖個所を守るため、一年中営巣地の近くにいる筈である。)

**②大阪府鳥類目録 2016: 日本野鳥の会大阪支部→**

右図では秋～春まで府内全域で確認されているが、繁殖記録はBランカーカ所のみ、2011年7月岸和田市で成鳥がヒナに餌を運ぶ姿が確認されたとのことである。



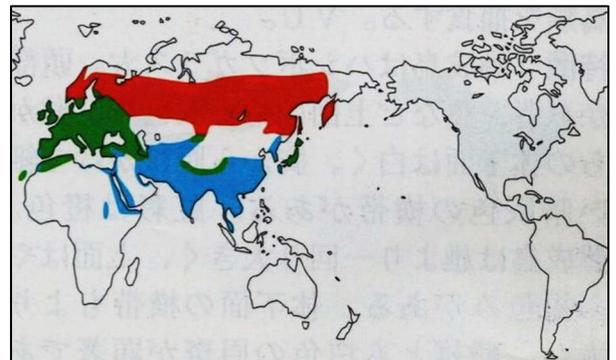
**← ③全国鳥類繁殖分布調査 鳥類繁殖分布調査会(2021年)**

全国での繁殖状況は左図の通り、記録メッシュ数には大きな変化はない。しかし1990年代と2010年代にほぼ同じコースを調査できた現地調査の記録をみても、48地点から19地点へと大きく減少している。

この原因として、ハイタカはオオタカに捕食されることがあり、オオタカを避けてより樹木密度の高い場所で繁殖していること、オオタカの分布拡大の影響で減少している可能性や日本の樹林の成熟化で、営巣適地が減っている可能性などが考えられる。分布域の南部(中部地方以南)では、記録されなくなった所が増えている。

**④世界の繁殖地・越冬地分布図 → 真木・大西「日本の野鳥 590」平凡社(2000年)**

- ハイタカの繁殖地・越冬地、
- ・繁殖地: ユーラシア大陸亜寒帯
  - ・繁殖・越冬地: 日本中北部・欧州
  - ・越冬地: 日本の南部～アジア熱帯地域



**Ⅱ 来月の万博公園探鳥会 2月8日(土)**

集合 9:30 自然文化園中央口 終了 15:00 頃 日本庭園内の予定

内容 今月資料のトップに書きましたが、万博公園探鳥会は1985年2月にスタートしましたので、1月で満40年、2月からは41年目入ります。これまで2月探鳥会で全員写真を撮ってきましたので、今年2月も全員写真を撮りたいと思っています。

12月後半から近畿北部。北陸の積雪が多くなっており、少なかった冬鳥が渡来し多くなっていると思います。ルリビタキやアトリなどに会いたいと思っています。

**参加ご希望の方 今月同様大阪支部 HP ホームズ様式からお申し込みください。**

ホームズでの申し込みが難しい方、平宛メール [g.0501.hi@gmail.com](mailto:g.0501.hi@gmail.com) への連絡でも OK。

## Ⅲ 先月 2024 年 12 月万博公園探鳥会結果

スタート時開園を待つときハイタカが飛び、その後もあわせ 3 羽、各 1 羽ずつであるがミサゴ・トビ・ノスリとタカの仲間を 4 種確認することができた。カモは万博公園としてはオカヨシガモが過去最大と思われる 27 羽も確認できたが、他はキンクロハジロ(1)・カルガモ(28)で 3 種に止まった。冬鳥で最もポピュラーなツグミの渡来が遅く 11 月探鳥会では見なかったが、今日は 25 羽確認することができ、シロハラ(3)・ジョウビタキ(8)・アトリ(5)・アオジ(2)と、ぼつぼつ渡来していることがわかった。前日の天気予報で雨確率が高かったことなどから、申し込んでくださっていた方から 7 人もの不参加連絡をいただいたが、スタート時点まで残っていた小雨が上がり探鳥会中は雨が降ることもなく、参加してくださった方には、35 種の鳥を楽しんでもらうことができた。

写真(橋本昌宗氏)



アトリ



ジョウビタキ



ツグミ



モズ



エナガ



コゲラ



カワセミ



オオバン



オカヨシガモ

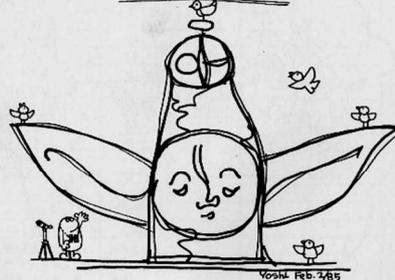
## Ⅳ 万博公園探鳥会 (第 1 回) 資料 →

万博公園探鳥会は、1985 年 2 月 16 日が第 1 回目の探鳥会でした。リーダーは塩田 猛さん、中野義弘さん(右資料作成)、平 軍二の 3 人でスタート、85 年 5 月からは黒田悦三さんにも入っていただき 4 人体制、その後も多数の方(30 人以上)にサポートしていただき、40 年間探鳥会を継続することができました。

### 万国博記念公園探鳥会

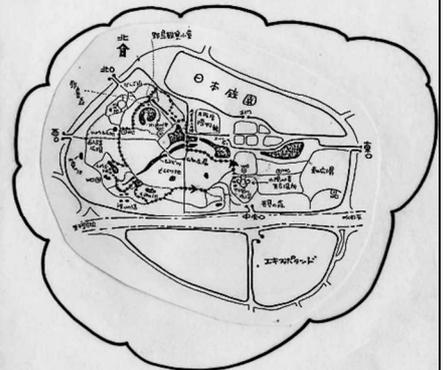
1985・2・16 (土)

日本野鳥の会大阪支部



1970 年開催された日本万博の跡地に造られた公園です。10 数年たった、樹木も繁り四季の花が咲き、素晴らしい公園になりました。今日は万博の 10 周年記念事業のひとつとして 1980 年に造られた、自然文化園内の野鳥の森を中心にバードウォッチングを楽しみます。

午後、時間があれば日本庭園にも行ってみたいと思います。  
では、出発……



- 探鳥会で守ってほしいルール  
鳥の気持になつて観る。(静かに、そと)  
ゴミやタバコのポイ捨て禁止。  
採取はしないで。そのまゝに。  
メジロのワッペンに誇りをもって。



# 万博公園探鳥会

2025年1月11日(土)  
 リーダー 田中宏・中筋好子・橋本昌宗・大矢麻由美  
 玉置こるり・平軍二(090-6901-1425)

## あけましておめでとうございます

万博公園探鳥会は昭和60(1985)年2月にスタートし、満40年となりました。この間、千里タイムズ紙には毎月万博公園探鳥会案内を掲載していただいたことで、千里ニュータウンを中心とする吹田市・豊中市など北摂にお住いの多数の方々に、野鳥とのふれあいを楽しんでもらうことができました。

本年も良き鳥・良き人との出会いを楽しみに、万博公園探鳥会を続けたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

### I 千里の鳥・万博の鳥「ハイタカ」

漢字名「灰鷹・鷲」 (写真 橋本昌宗氏)



「一富士二鷹三茄子(いちふじにたかさんなすび)」は、初夢に見ると縁起が良いとされています。今年最初の「千里の鳥・万博の鳥」は、昨年12月14日探鳥会で観察できたハイタカ、スタート前の開園を待つ人々に見守られて上空を舞うなど、3羽も観察できた。

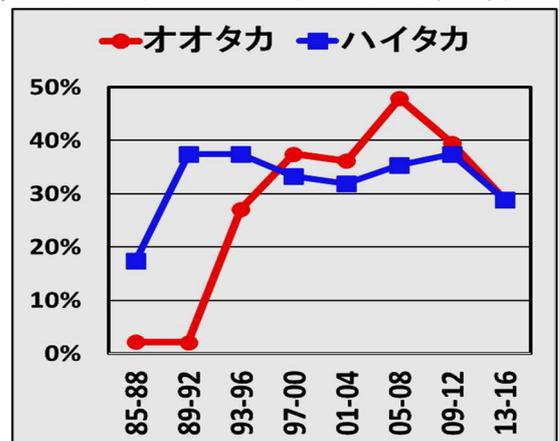
ハイタカの体長(嘴の先から尾羽の先端)は雄32cm、雌39cmで、キジバト33cmほどの小型のタカ、万博公園ではカワラヒワ・スズメ・ムクドリなどの小鳥類を餌にしていると思われる。

ハイタカは本州中部以北で繁殖しているが、大阪府内での繁殖記録がほとんど無く、春・秋の渡りの季節や冬鳥として観察されている。

万博公園では同属でハイタカより大きいオオタカが営巣・子育てをした年もあるが、その年でも冬になるとハイタカが渡来し、万博公園の上空を舞う姿を確認した。ハイタカ(やオオタカ)が飛ぶと、万博公園の主を自認しているカラスが群で追いかけることがあり、ハイタカは「ほうほうのていで逃げ回る」姿を見ることがあるが、ハイタカはカラスに負けることなく、しぶとく逃げ回っている。しかしオオタカが同属のハイタカを捕食することがあるとのこと、猛禽類であっても厳しい世界に生きていることがわかる。

### ①万博公園探鳥会でのハイタカの観察頻度 → (平:万博公園探鳥会記録より)

ハイタカ(+オオタカ)の万博公園探鳥会での観察頻度は右図の通りである。

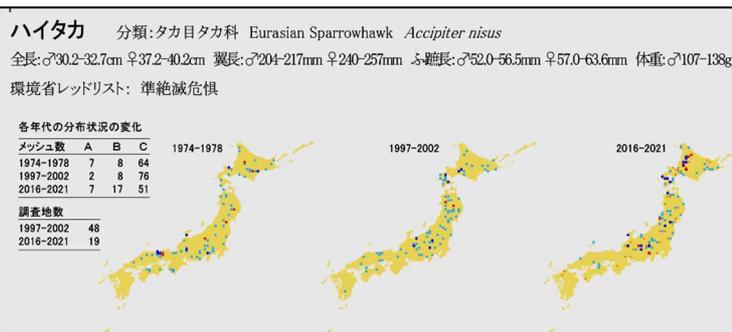
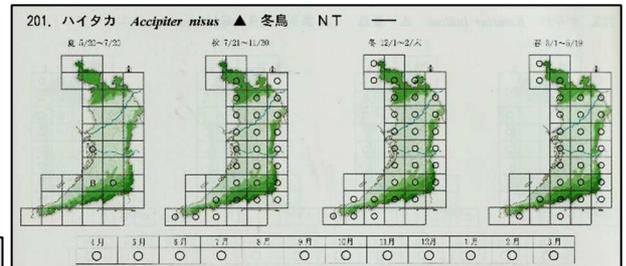


**オオタカ**は2007年～2014年に万博公園内で営巣・子育てをしたが、観察頻度は冬鳥として**ハイタカ**とあまり違いがないことは、一年中住んでいても園内で目立たないように生息しているためと推定している。

(オオタカの雌は繁殖期が終わると自由に移動しているため、万博公園にはいないと思われるが、雄は繁殖個所を守るため、一年中営巣地の近くにいる筈である。)

**②大阪府鳥類目録 2016: 日本野鳥の会大阪支部→**

右図では秋～春まで府内全域で確認されているが、繁殖記録はBランカーカ所のみ、2011年7月岸和田市で成鳥がヒナに餌を運ぶ姿が確認されたとのことである。



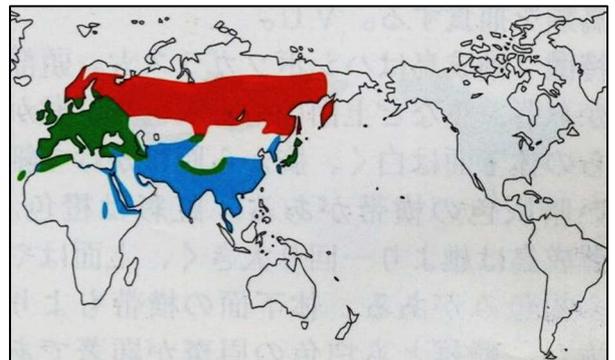
**← ③全国鳥類繁殖分布調査 鳥類繁殖分布調査会(2021年)**

全国での繁殖状況は左図の通り、記録メッシュ数には大きな変化はない。しかし1990年代と2010年代にほぼ同じコースを調査できた現地調査の記録をみても、48地点から19地点へと大きく減少している。

この原因として、ハイタカはオオタカに捕食されることがあり、オオタカを避けてより樹木密度の高い場所で繁殖していること、オオタカの分布拡大の影響で減少している可能性や日本の樹林の成熟化で、営巣適地が減っている可能性などが考えられる。分布域の南部(中部地方以南)では、記録されなくなった所が増えている。

**④世界の繁殖地・越冬地分布図 → 真木・大西「日本の野鳥590」平凡社(2000年)**

- ハイタカの繁殖地・越冬地、
- ・繁殖地: ユーラシア大陸亜寒帯
  - ・繁殖・越冬地: 日本中北部・欧州
  - ・越冬地: 日本の南部～アジア熱帯地域



**Ⅱ 来月の万博公園探鳥会 2月8日(土)**

集合 9:30 自然文化園中央口 終了 15:00 頃 日本庭園内の予定

内容 今月資料のトップに書きましたが、万博公園探鳥会は1985年2月にスタートしましたので、1月で満40年、2月からは41年目入ります。これまで2月探鳥会で全員写真を撮ってきましたので、今年2月も全員写真を撮りたいと思っています。

12月後半から近畿北部。北陸の積雪が多くなっており、少なかった冬鳥が渡来し多くなっていると思います。ルリビタキやアトリなどに会いたいです。

**参加ご希望の方 今月同様大阪支部 HP ホームズ様式からお申し込みください。**

ホームズでの申し込みが難しい方、平宛メール [g.0501.hi@gmail.com](mailto:g.0501.hi@gmail.com) への連絡でも OK。

## Ⅲ 先月 2024 年 12 月万博公園探鳥会結果

スタート時開園を待つときハイタカが飛び、その後もあわせ 3 羽、各 1 羽ずつであるがミサゴ・トビ・ノスリとタカの仲間を 4 種確認することができた。カモは万博公園としてはオカヨシガモが過去最大と思われる 27 羽も確認できたが、他はキンクロハジロ(1)・カルガモ(28)で 3 種に止まった。冬鳥で最もポピュラーなツグミの渡来が遅く 11 月探鳥会では見なかったが、今日は 25 羽確認することができ、シロハラ(3)・ジョウビタキ(8)・アトリ(5)・アオジ(2)と、ぼつぼつ渡来していることがわかった。前日の天気予報で雨確率が高かったことなどから、申し込んでくださっていた方から 7 人もの不参加連絡をいただいたが、スタート時点まで残っていた小雨が上がり探鳥会中は雨が降ることもなく、参加してくださった方には、35 種の鳥を楽しんでもらうことができた。

写真(橋本昌宗氏)



アトリ



ジョウビタキ



ツグミ



モズ



エナガ



コゲラ



カワセミ



オオバン



オカヨシガモ

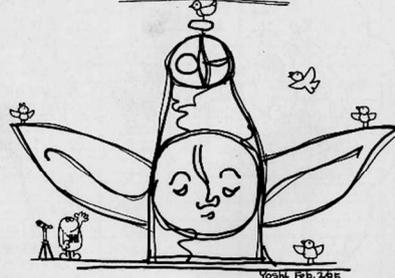
## Ⅳ 万博公園探鳥会 (第 1 回) 資料 →

万博公園探鳥会は、1985 年 2 月 16 日が第 1 回目の探鳥会でした。リーダーは塩田 猛さん、中野義弘さん(右資料作成)、平 軍二の 3 人でスタート、85 年 5 月からは黒田悦三さんにも入っていただき 4 人体制、その後も多数の方(30 人以上)にサポートしていただき、40 年間探鳥会を継続することができました。

### 万国博記念公園探鳥会

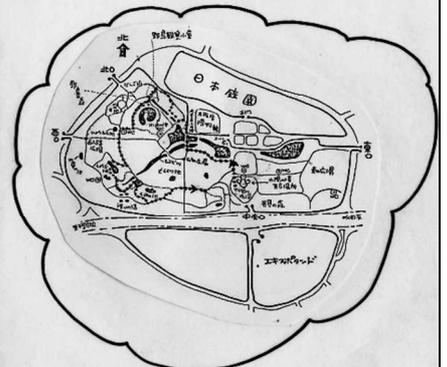
1985・2・16 (土)

日本野鳥の会大阪支部



1970 年開催された日本万博の跡地に造られた公園です。10 数年たった、樹木も繁り四季の花が咲き、素晴らしい公園になりました。今日は万博の 10 周年記念事業のひとつとして 1980 年に造られた、自然文化園内の野鳥の森を中心にバードウォッチングを楽しみます。

午後、時間があれば日本庭園にも行く予定ですと見えます。では、出発……



- 探鳥会で守ってほしいルール  
鳥の気持になつて観る。(静かに、そと)  
ゴミやタバコのポイ捨て禁止。  
採取はしないで。そのまゝに。  
メジロのワッペンに誇りをもって。



# 万博公園探鳥会

2025年1月11日(土)  
 リーダー 田中宏・中筋好子・橋本昌宗・大矢麻由美  
 玉置こるり・平軍二(090-6901-1425)

## あけましておめでとうございます

万博公園探鳥会は昭和60(1985)年2月にスタートし、満40年となりました。この間、千里タイムズ紙には毎月万博公園探鳥会案内を掲載していただいたことで、千里ニュータウンを中心とする吹田市・豊中市など北摂にお住いの多数の方々に、野鳥とのふれあいを楽しんでもらうことができました。

本年も良き鳥・良き人との出会いを楽しみに、万博公園探鳥会を続けたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

### I 千里の鳥・万博の鳥「ハイタカ」

漢字名「灰鷹・鷲」 (写真 橋本昌宗氏)



「一富士二鷹三茄子(いちふじにたかさんなすび)」は、初夢に見ると縁起が良いとされています。今年最初の「千里の鳥・万博の鳥」は、昨年12月14日探鳥会で観察できたハイタカ、スタート前の開園を待つ人々に見守られて上空を舞うなど、3羽も観察できた。

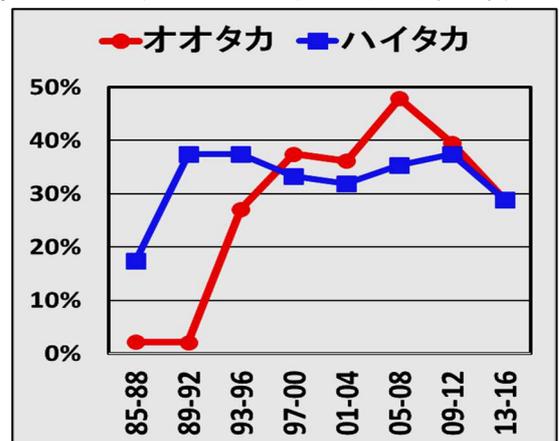
ハイタカの体長(嘴の先から尾羽の先端)は雄32cm、雌39cmで、キジバト33cmほどの小型のタカ、万博公園ではカワラヒワ・スズメ・ムクドリなどの小鳥類を餌にしていると思われる。

ハイタカは本州中部以北で繁殖しているが、大阪府内での繁殖記録がほとんど無く、春・秋の渡りの季節や冬鳥として観察されている。

万博公園では同属でハイタカより大きいオオタカが営巣・子育てをした年もあるが、その年でも冬になるとハイタカが渡来し、万博公園の上空を舞う姿を確認した。ハイタカ(やオオタカ)が飛ぶと、万博公園の主を自認しているカラスが群で追いかけることがあり、ハイタカは「ほうほうのていで逃げ回る」姿を見ることがあるが、ハイタカはカラスに負けることなく、しぶとく逃げ回っている。しかしオオタカが同属のハイタカを捕食することがあるとのこと、猛禽類であっても厳しい世界に生きていることがわかる。

### ①万博公園探鳥会でのハイタカの観察頻度 → (平:万博公園探鳥会記録より)

ハイタカ(+オオタカ)の万博公園探鳥会での観察頻度は右図の通りである。

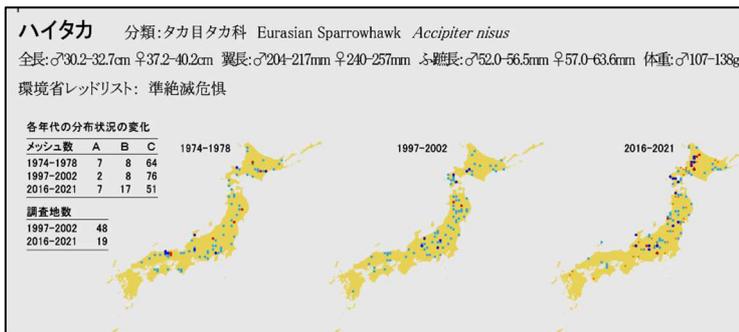
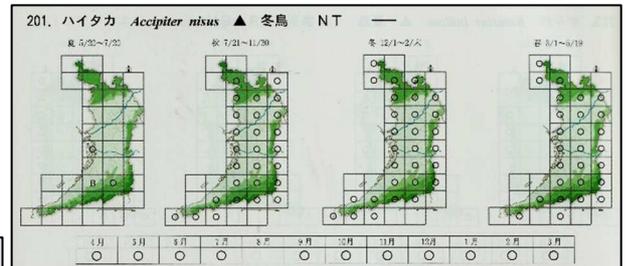


**オオタカ**は2007年～2014年に万博公園内で営巣・子育てをしたが、観察頻度は冬鳥として**ハイタカ**とあまり違いがないことは、一年中住んでいても園内で目立たないように生息しているためと推定している。

(オオタカの雌は繁殖期が終わると自由に移動しているため、万博公園にはいないと思われるが、雄は繁殖個所を守るため、一年中営巣地の近くにいる筈である。)

**②大阪府鳥類目録 2016: 日本野鳥の会大阪支部→**

右図では秋～春まで府内全域で確認されているが、繁殖記録はBランクーカ所のみ、2011年7月岸和田市で成鳥がヒナに餌を運ぶ姿が確認されたとのことである。



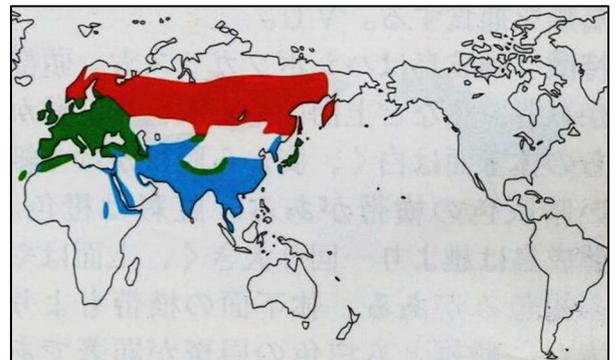
**← ③全国鳥類繁殖分布調査 鳥類繁殖分布調査会(2021年)**

全国での繁殖状況は左図の通り、記録メッシュ数には大きな変化はない。しかし1990年代と2010年代にほぼ同じコースを調査できた現地調査の記録をみても、48地点から19地点へと大きく減少している。

この原因として、ハイタカはオオタカに捕食されることがあり、オオタカを避けてより樹木密度の高い場所で繁殖していること、オオタカの分布拡大の影響で減少している可能性や日本の樹林の成熟化で、営巣適地が減っている可能性などが考えられる。分布域の南部(中部地方以南)では、記録されなくなった所が増えている。

**④世界の繁殖地・越冬地分布図 → 真木・大西「日本の野鳥 590」平凡社(2000年)**

- ハイタカの繁殖地・越冬地、
- ・繁殖地: ユーラシア大陸亜寒帯
  - ・繁殖・越冬地 日本中北部・欧州
  - ・越冬地: 日本の南部～アジア熱帯地域



**Ⅱ 来月の万博公園探鳥会 2月8日(土)**

集合 9:30 自然文化園中央口 終了 15:00 頃 日本庭園内の予定

内容 今月資料のトップに書きましたが、万博公園探鳥会は1985年2月にスタートしましたので、1月で満40年、2月からは41年目入ります。これまで2月探鳥会で全員写真を撮ってきましたので、今年2月も全員写真を撮りたいと思っています。

12月後半から近畿北部。北陸の積雪が多くなっており、少なかった冬鳥が渡来し多くなっていると思います。ルリビタキやアトリなどに会いたいと思っています。

**参加ご希望の方 今月同様大阪支部 HP ホームズ様式からお申し込みください。**

ホームズでの申し込みが難しい方、平宛メール [g.0501.hi@gmail.com](mailto:g.0501.hi@gmail.com) への連絡でも OK。

## Ⅲ 先月 2024 年 12 月万博公園探鳥会結果

スタート時開園を待つときハイタカが飛び、その後もあわせ 3 羽、各 1 羽ずつであるがミサゴ・トビ・ノスリとタカの仲間を 4 種確認することができた。カモは万博公園としてはオカヨシガモが過去最大と思われる 27 羽も確認できたが、他はキンクロハジロ(1)・カルガモ(28)で 3 種に止まった。

冬鳥で最もポピュラーなツグミの渡来が遅く 11 月探鳥会では見なかったが、今日は 25 羽確認することができ、シロハラ(3)・ジョウビタキ(8)・アトリ(5)・アオジ(2)と、ぼつぼつ渡来していることがわかった。前日の天気予報で雨確率が高かったことなどから、申し込んでくださっていた方から 7 人もの不参加連絡をいただいたが、スタート時点まで残っていた小雨が上がり探鳥会中は雨が降ることもなく、参加してくださった方には、35 種の鳥を楽しんでもらうことができた。

写真(橋本昌宗氏)



アトリ



ジョウビタキ



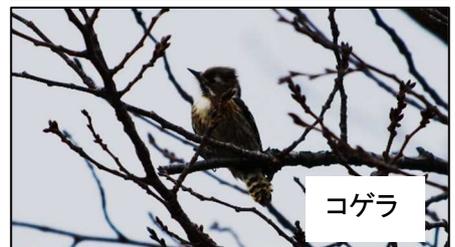
ツグミ



モズ



エナガ



コゲラ



カワセミ



オオバン



オカヨシガモ

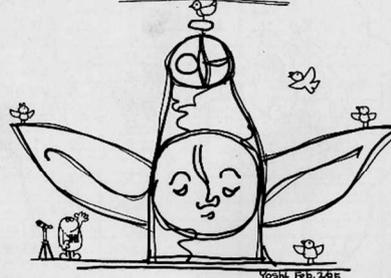
## Ⅳ 万博公園探鳥会 (第 1 回)資料 →

万博公園探鳥会は、1985 年 2 月 16 日が第 1 回目の探鳥会でした。  
リーダーは塩田 猛さん、中野義弘さん(右資料作成)、平 軍二の 3 人でスタート、85 年 5 月からは黒田悦三さんにも入っていただき 4 人体制、その後も多数の方(30 人以上)にサポートしていただき、40 年間探鳥会を継続することができました。

### 万国博記念公園探鳥会

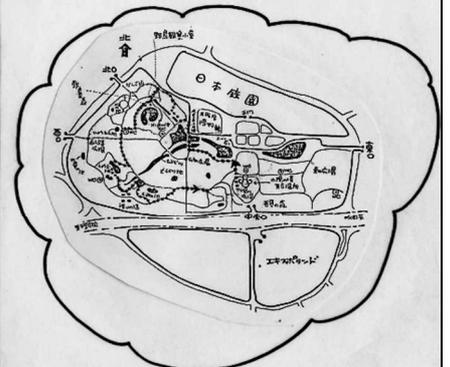
1985・2・16(土)

日本野鳥の会大阪支部



1970 年開催された日本万博の跡地に造られた公園です。10 数年たった、樹木も繁り四季の花が咲き、素晴らしい公園になりました。今日は万博の 10 周年記念事業のひとつとして 1980 年に造られた、自然文化園内の野鳥の森を中心にバードウォッチングを楽しみます。

午後、時間があれば日本庭園にも行ってみたいと思います。  
では、出発……



- 探鳥会で守ってほしいルール  
鳥の気持になつて観る。(静かに、そと)  
ゴミやタバコの灰捨て禁止。  
採取はしないで。そのまゝに。  
メジロのワッペンに誇りをもって。



# 万博公園探鳥会

2025年1月11日(土)  
 リーダー 田中宏・中筋好子・橋本昌宗・大矢麻由美  
 玉置こるり・平軍二(090-6901-1425)

## あけましておめでとうございます

万博公園探鳥会は昭和 60(1985)年 2 月にスタートし、満 40 年となりました。この間、千里タイムズ紙には毎月万博公園探鳥会案内を掲載していただいたことで、千里ニュータウンを中心とする吹田市・豊中市など北摂にお住いの多数の方々に、野鳥とのふれあいを楽しんでもらうことができました。

本年も良き鳥・良き人との出会いを楽しみに、万博公園探鳥会を続けたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

### I 千里の鳥・万博の鳥「ハイタカ」

漢字名 「灰鷹・鷯」 (写真 橋本昌宗氏)



「一富士二鷹三茄子(いちふじにたかさんなすび)」は、初夢に見ると縁起が良いとされています。今年最初の「千里の鳥・万博の鳥」は、昨年 12 月 14 日探鳥会で観察できたハイタカ、スタート前の開園を待つ人々に見守られて上空を舞うなど、3 羽も観察できた。

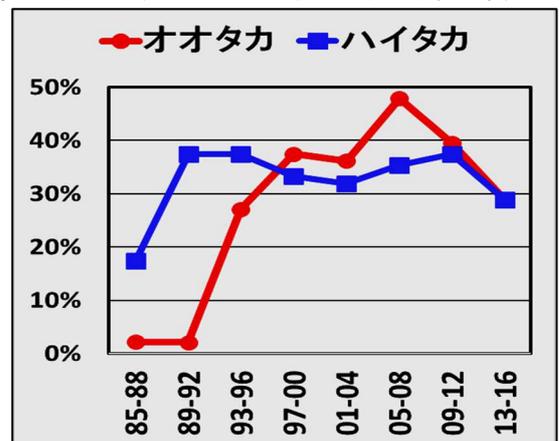
ハイタカの体長(嘴の先から尾羽の先端)は雄 32 cm、雌 39 cm で、キジバト 33 cm ほどの小型のタカ、万博公園ではカワラヒワ・スズメ・ムクドリなどの小鳥類を餌にしていると思われる。

ハイタカは本州中部以北で繁殖しているが、大阪府内での繁殖記録がほとんど無く、春・秋の渡りの季節や冬鳥として観察されている。

万博公園では同属でハイタカより大きいオオタカが営巣・子育てをした年もあるが、その年でも冬になるとハイタカが渡来し、万博公園の上空を舞う姿を確認した。ハイタカ(やオオタカ)が飛ぶと、万博公園の主を自認しているカラスが群で追いかけることがあり、ハイタカは「ほうほうのていで逃げ回る」姿を見ることがあるが、ハイタカはカラスに負けることなく、しぶとく逃げ回っている。しかしオオタカが同属のハイタカを捕食することがあるとのこと、猛禽類であっても厳しい世界に生きていることがわかる。

### ①万博公園探鳥会でのハイタカの観察頻度 → (平:万博公園探鳥会記録より)

ハイタカ(+オオタカ)の万博公園探鳥会での観察頻度は右図の通りである。

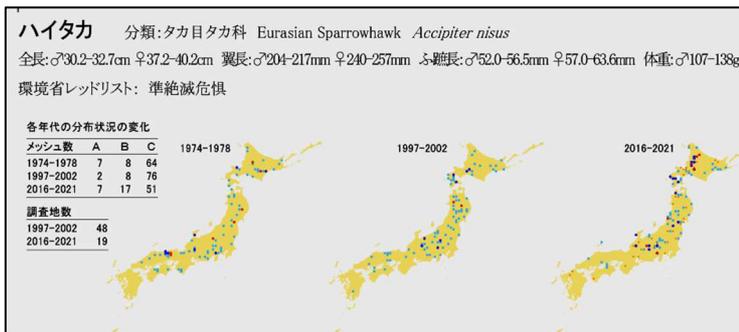
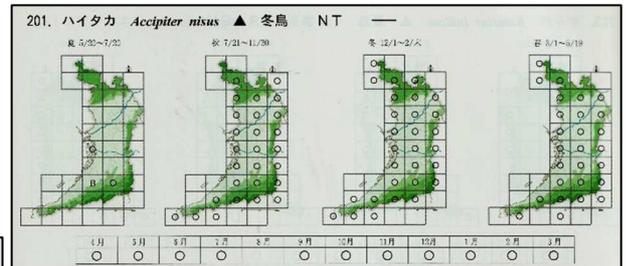


**オオタカ**は2007年～2014年に万博公園内で営巣・子育てをしたが、観察頻度は冬鳥として**ハイタカ**とあまり違いがないことは、一年中住んでいても園内で目立たないように生息しているためと推定している。

(オオタカの雌は繁殖期が終わると自由に移動しているため、万博公園にはいないと思われるが、雄は繁殖個所を守るため、一年中営巣地の近くにいる筈である。)

**②大阪府鳥類目録 2016: 日本野鳥の会大阪支部→**

右図では秋～春まで府内全域で確認されているが、繁殖記録はBランカーカ所のみ、2011年7月岸和田市で成鳥がヒナに餌を運ぶ姿が確認されたとのことである。



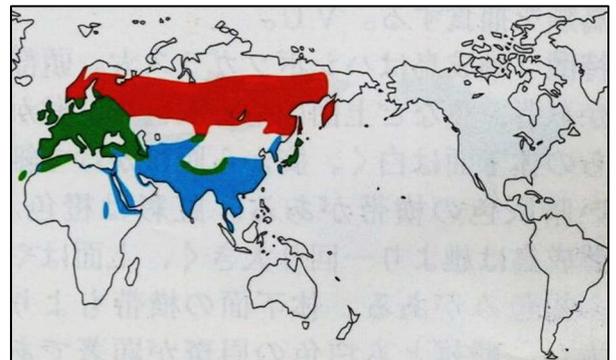
**← ③全国鳥類繁殖分布調査 鳥類繁殖分布調査会(2021年)**

全国での繁殖状況は左図の通り、記録メッシュ数には大きな変化はない。しかし1990年代と2010年代にほぼ同じコースを調査できた現地調査の記録をみても、48地点から19地点へと大きく減少している。

この原因として、ハイタカはオオタカに捕食されることがあり、オオタカを避けてより樹木密度の高い場所で繁殖していること、オオタカの分布拡大の影響で減少している可能性や日本の樹林の成熟化で、営巣適地が減っている可能性などが考えられる。分布域の南部(中部地方以南)では、記録されなくなった所が増えている。

**④世界の繁殖地・越冬地分布図 → 真木・大西「日本の野鳥 590」平凡社(2000年)**

- ハイタカの繁殖地・越冬地、
- ・繁殖地: ユーラシア大陸亜寒帯
  - ・繁殖・越冬地: 日本中北部・欧州
  - ・越冬地: 日本の南部～アジア熱帯地域



**Ⅱ 来月の万博公園探鳥会 2月8日(土)**

集合 9:30 自然文化園中央口 終了 15:00 頃 日本庭園内の予定

内容 今月資料のトップに書きましたが、万博公園探鳥会は1985年2月にスタートしましたので、1月で満40年、2月からは41年目入ります。これまで2月探鳥会で全員写真を撮ってきましたので、今年2月も全員写真を撮りたいと思っています。

12月後半から近畿北部。北陸の積雪が多くなっており、少なかった冬鳥が渡来し多くなっていると思います。ルリビタキやアトリなどに会いたいと思っています。

**参加ご希望の方 今月同様大阪支部 HP ホームズ様式からお申し込みください。**

ホームズでの申し込みが難しい方、平宛メール [g.0501.hi@gmail.com](mailto:g.0501.hi@gmail.com) への連絡でも OK。

## Ⅲ 先月 2024 年 12 月万博公園探鳥会結果

スタート時開園を待つときハイタカが飛び、その後もあわせ 3 羽、各 1 羽ずつであるがミサゴ・トビ・ノスリとタカの仲間を 4 種確認することができた。カモは万博公園としてはオカヨシガモが過去最大と思われる 27 羽も確認できたが、他はキンクロハジロ(1)・カルガモ(28)で 3 種に止まった。冬鳥で最もポピュラーなツグミの渡来が遅く 11 月探鳥会では見なかったが、今日は 25 羽確認することができ、シロハラ(3)・ジョウビタキ(8)・アトリ(5)・アオジ(2)と、ぼつぼつ渡来していることがわかった。前日の天気予報で雨確率が高かったことなどから、申し込んでくださっていた方から 7 人もの不参加連絡をいただいたが、スタート時点まで残っていた小雨が上がり探鳥会中は雨が降ることもなく、参加してくださった方には、35 種の鳥を楽しんでもらうことができた。

写真(橋本昌宗氏)



アトリ



ジョウビタキ



ツグミ



モズ



エナガ



コゲラ



カワセミ



オオバン



オカヨシガモ

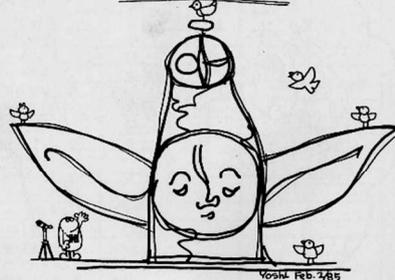
## Ⅳ 万博公園探鳥会 (第 1 回) 資料 →

万博公園探鳥会は、1985 年 2 月 16 日が第 1 回目の探鳥会でした。リーダーは塩田 猛さん、中野義弘さん(右資料作成)、平 軍二の 3 人でスタート、85 年 5 月からは黒田悦三さんにも入っていただき 4 人体制、その後も多数の方(30 人以上)にサポートしていただき、40 年間探鳥会を継続することができました。

### 万国博記念公園探鳥会

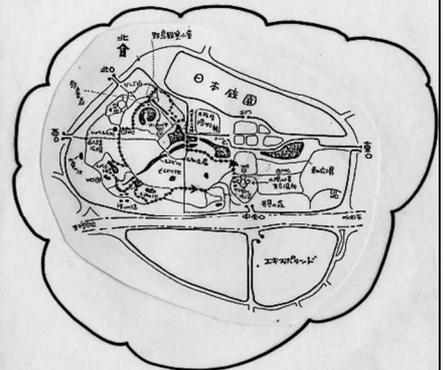
1985・2・16 (土)

日本野鳥の会大阪支部



1970 年開催された日本万博の跡地に造られた公園です。10 数年たった、樹木も繁り四季の花が咲き、素晴らしい公園になりました。今日は万博の 10 周年記念事業のひとつとして 1980 年に造られた、自然文化園内の野鳥の森を中心にバードウォッチングを楽しみます。

午後、時間があれば日本庭園にも行ってみたいと思います。  
では、出発……



- 探鳥会で守ってほしいルール  
鳥の気持になつて観る。(静かに、そと)  
ゴミやタバコの灰捨て禁止。  
採取はしないで。そのまゝに。  
メジロのワッペンに誇りをもって。



# 万博公園探鳥会

2025年1月11日(土)  
 リーダー 田中宏・中筋好子・橋本昌宗・大矢麻由美  
 玉置こるり・平軍二(090-6901-1425)

## あけましておめでとうございます

万博公園探鳥会は昭和60(1985)年2月にスタートし、満40年となりました。この間、千里タイムズ紙には毎月万博公園探鳥会案内を掲載していただいたことで、千里ニュータウンを中心とする吹田市・豊中市など北摂にお住いの多数の方々に、野鳥とのふれあいを楽しんでもらうことができました。

本年も良き鳥・良き人との出会いを楽しみに、万博公園探鳥会を続けたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

### I 千里の鳥・万博の鳥「ハイタカ」

漢字名「灰鷹・鷲」 (写真 橋本昌宗氏)



「一富士二鷹三茄子(いちふじにたかさんなすび)」は、初夢に見ると縁起が良いとされています。今年最初の「千里の鳥・万博の鳥」は、昨年12月14日探鳥会で観察できたハイタカ、スタート前の開園を待つ人々に見守られて上空を舞うなど、3羽も観察できた。

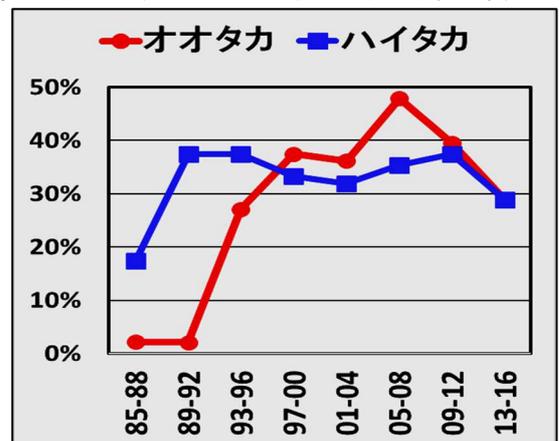
ハイタカの体長(嘴の先から尾羽の先端)は雄32cm、雌39cmで、キジバト33cmほどの小型のタカ、万博公園ではカワラヒワ・スズメ・ムクドリなどの小鳥類を餌にしていると思われる。

ハイタカは本州中部以北で繁殖しているが、大阪府内での繁殖記録がほとんど無く、春・秋の渡りの季節や冬鳥として観察されている。

万博公園では同属でハイタカより大きいオオタカが営巣・子育てをした年もあるが、その年でも冬になるとハイタカが渡来し、万博公園の上空を舞う姿を確認した。ハイタカ(やオオタカ)が飛ぶと、万博公園の主を自認しているカラスが群で追いかけることがあり、ハイタカは「ほうほうのていで逃げ回る」姿を見ることがあるが、ハイタカはカラスに負けることなく、しぶとく逃げ回っている。しかしオオタカが同属のハイタカを捕食することがあるとのこと、猛禽類であっても厳しい世界に生きていることがわかる。

### ①万博公園探鳥会でのハイタカの観察頻度 → (平:万博公園探鳥会記録より)

ハイタカ(+オオタカ)の万博公園探鳥会での観察頻度は右図の通りである。

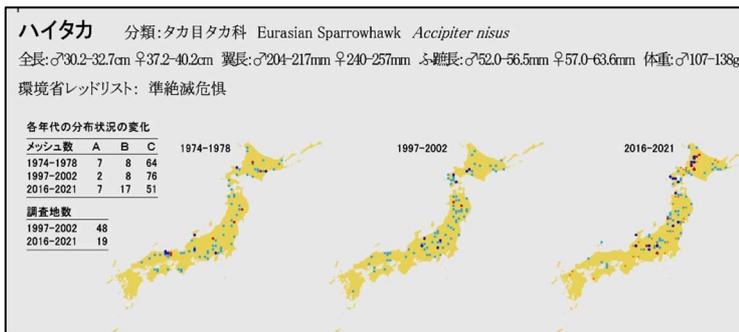
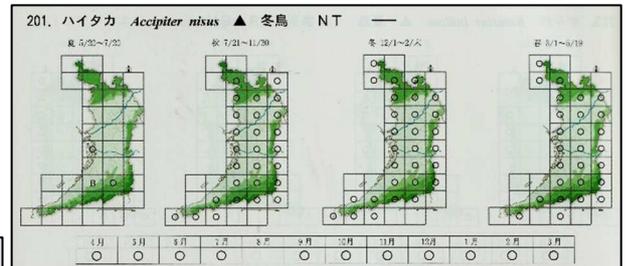


**オオタカ**は2007年～2014年に万博公園内で営巣・子育てをしたが、観察頻度は冬鳥として**ハイタカ**とあまり違いがないことは、一年中住んでいても園内で目立たないように生息しているためと推定している。

(オオタカの雌は繁殖期が終わると自由に移動しているため、万博公園にはいないと思われるが、雄は繁殖個所を守るため、一年中営巣地の近くにいる筈である。)

**②大阪府鳥類目録 2016: 日本野鳥の会大阪支部→**

右図では秋～春まで府内全域で確認されているが、繁殖記録はBランカーカ所のみ、2011年7月岸和田市で成鳥がヒナに餌を運ぶ姿が確認されたとのことである。



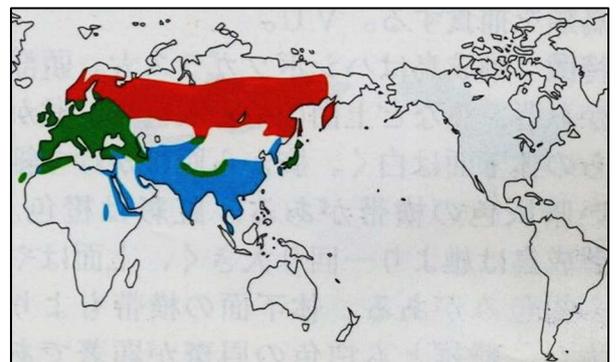
**← ③全国鳥類繁殖分布調査 鳥類繁殖分布調査会(2021年)**

全国での繁殖状況は左図の通り、記録メッシュ数には大きな変化はない。しかし1990年代と2010年代にほぼ同じコースを調査できた現地調査の記録をみても、48地点から19地点へと大きく減少している

た。この原因として、ハイタカはオオタカに捕食されることがあり、オオタカを避けてより樹木密度の高い場所で繁殖していること、オオタカの分布拡大の影響で減少している可能性や日本の樹林の成熟化で、営巣適地が減っている可能性などが考えられる。分布域の南部(中部地方以南)では、記録されなくなった所が増えている。

**④世界の繁殖地・越冬地分布図 → 真木・大西「日本の野鳥 590」平凡社(2000年)**

- ハイタカの繁殖地・越冬地、
- ・繁殖地: ユーラシア大陸亜寒帯
  - ・繁殖・越冬地: 日本中北部・欧州
  - ・越冬地: 日本の南部～アジア熱帯地域



**Ⅱ 来月の万博公園探鳥会 2月8日(土)**

集合 9:30 自然文化園中央口 終了 15:00 頃 日本庭園内の予定

内容 今月資料のトップに書きましたが、万博公園探鳥会は1985年2月にスタートしましたので、1月で満40年、2月からは41年目入ります。これまで2月探鳥会で全員写真を撮ってきましたので、今年2月も全員写真を撮りたいと思っています。

12月後半から近畿北部。北陸の積雪が多くなっており、少なかった冬鳥が渡来し多くなっていると思います。ルリビタキやアトリなどに会いたいと思っています。

**参加ご希望の方 今月同様大阪支部 HP ホームズ様式からお申し込みください。**

ホームズでの申し込みが難しい方、平宛メール [g.0501.hi@gmail.com](mailto:g.0501.hi@gmail.com) への連絡でも OK。

## Ⅲ 先月 2024 年 12 月万博公園探鳥会結果

スタート時開園を待つときハイタカが飛び、その後もあわせ 3 羽、各 1 羽ずつであるがミサゴ・トビ・ノスリとタカの仲間を 4 種確認することができた。カモは万博公園としてはオカヨシガモが過去最大と思われる 27 羽も確認できたが、他はキンクロハジロ(1)・カルガモ(28)で 3 種に止まった。冬鳥で最もポピュラーなツグミの渡来が遅く 11 月探鳥会では見なかったが、今日は 25 羽確認することができ、シロハラ(3)・ジョウビタキ(8)・アトリ(5)・アオジ(2)と、ぼつぼつ渡来していることがわかった。前日の天気予報で雨確率が高かったことなどから、申し込んでくださっていた方から 7 人もの不参加連絡をいただいたが、スタート時点まで残っていた小雨が上がり探鳥会中は雨が降ることもなく、参加してくださった方には、35 種の鳥を楽しんでもらうことができた。

写真(橋本昌宗氏)



アトリ



ジョウビタキ



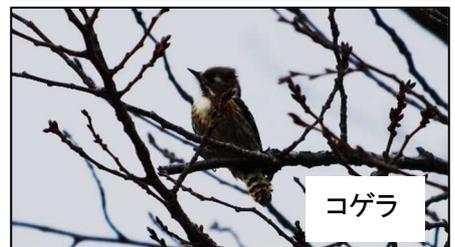
ツグミ



モズ



エナガ



コゲラ



カワセミ



オオバン



オカヨシガモ

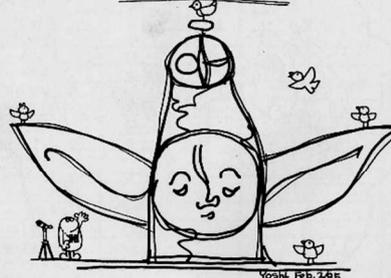
## Ⅳ 万博公園探鳥会 (第 1 回) 資料 →

万博公園探鳥会は、1985 年 2 月 16 日が第 1 回目の探鳥会でした。リーダーは塩田 猛さん、中野義弘さん(右資料作成)、平 軍二の 3 人でスタート、85 年 5 月からは黒田悦三さんにも入っていただき 4 人体制、その後も多数の方(30 人以上)にサポートしていただき、40 年間探鳥会を継続することができました。

### 万国博記念公園探鳥会

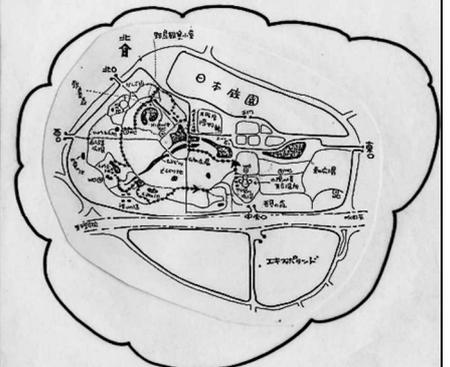
1985・2・16 (土)

日本野鳥の会大阪支部



1970 年開催された日本万博の跡地に造られた公園です。10 数年たった、樹木も繁り四季の花が咲き、素晴らしい公園になりました。今日は万博の 10 周年記念事業のひとつとして 1980 年に造られた、自然文化園内の野鳥の森を中心にバードウォッチングを楽しみます。

午後、時間があれば日本庭園にも行ってみたいと思います。  
では、出発……



- 探鳥会で守ってほしいルール  
鳥の気持になつて観る。(静かに、そと)  
ゴミやタバコの灰捨て禁止。  
採取はしないで。そのまゝに。  
メジロのワッペンに誇りをもって。



# 万博公園探鳥会

2025年1月11日(土)  
 リーダー 田中宏・中筋好子・橋本昌宗・大矢麻由美  
 玉置こるり・平軍二(090-6901-1425)

## あけましておめでとうございます

万博公園探鳥会は昭和60(1985)年2月にスタートし、満40年となりました。この間、千里タイムズ紙には毎月万博公園探鳥会案内を掲載していただいたことで、千里ニュータウンを中心とする吹田市・豊中市など北摂にお住いの多数の方々に、野鳥とのふれあいを楽しんでもらうことができました。

本年も良き鳥・良き人との出会いを楽しみに、万博公園探鳥会を続けたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

### I 千里の鳥・万博の鳥「ハイタカ」

漢字名「灰鷹・鷲」 (写真 橋本昌宗氏)



「一富士二鷹三茄子(いちふじにたかさんなすび)」は、初夢に見ると縁起が良いとされています。今年最初の「千里の鳥・万博の鳥」は、昨年12月14日探鳥会で観察できたハイタカ、スタート前の開園を待つ人々に見守られて上空を舞うなど、3羽も観察できた。

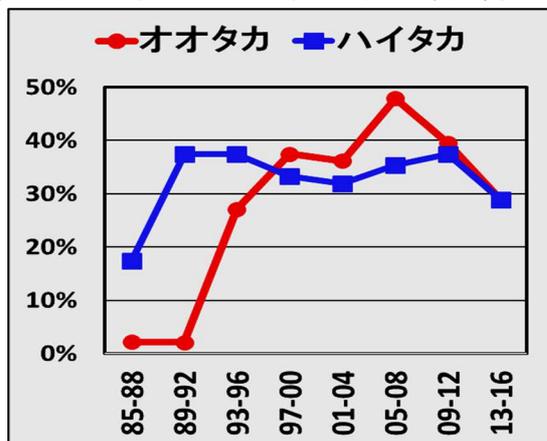
ハイタカの体長(嘴の先から尾羽の先端)は雄32cm、雌39cmで、キジバト33cmほどの小型のタカ、万博公園ではカワラヒワ・スズメ・ムクドリなどの小鳥類を餌にしていると思われる。

ハイタカは本州中部以北で繁殖しているが、大阪府内での繁殖記録がほとんど無く、春・秋の渡りの季節や冬鳥として観察されている。

万博公園では同属でハイタカより大きいオオタカが営巣・子育てをした年もあるが、その年でも冬になるとハイタカが渡来し、万博公園の上空を舞う姿を確認した。ハイタカ(やオオタカ)が飛ぶと、万博公園の主を自認しているカラスが群で追いかけることがあり、ハイタカは「ほうほうのていで逃げ回る」姿を見ることがあるが、ハイタカはカラスに負けることなく、しぶとく逃げ回っている。しかしオオタカが同属のハイタカを捕食することがあるとのこと、猛禽類であっても厳しい世界に生きていることがわかる。

### ①万博公園探鳥会でのハイタカの観察頻度 → (平:万博公園探鳥会記録より)

ハイタカ(+オオタカ)の万博公園探鳥会での観察頻度は右図の通りである。

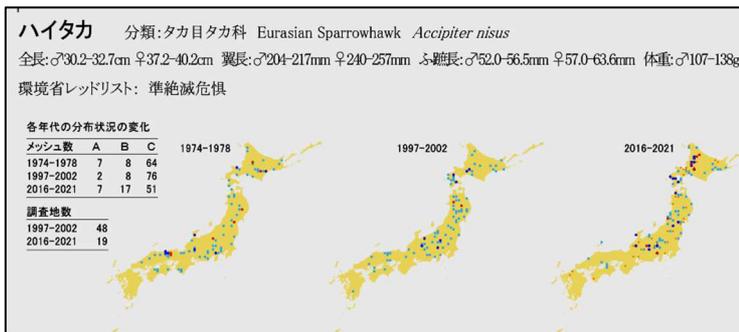
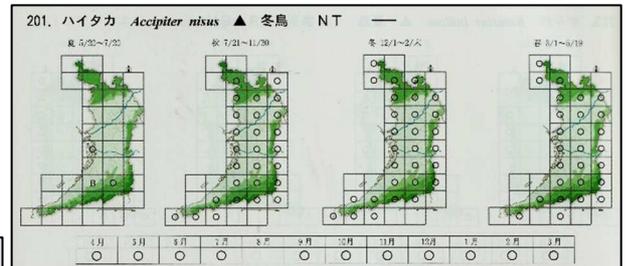


**オオタカ**は2007年～2014年に万博公園内で営巣・子育てをしたが、観察頻度は冬鳥として**ハイタカ**とあまり違いがないことは、一年中住んでいても園内で目立たないように生息しているためと推定している。

(オオタカの雌は繁殖期が終わると自由に移動しているため、万博公園にはいないと思われるが、雄は繁殖個所を守るため、一年中営巣地の近くにいる筈である。)

**②大阪府鳥類目録 2016: 日本野鳥の会大阪支部→**

右図では秋～春まで府内全域で確認されているが、繁殖記録はBランカーカ所のみ、2011年7月岸和田市で成鳥がヒナに餌を運ぶ姿が確認されたとのことである。



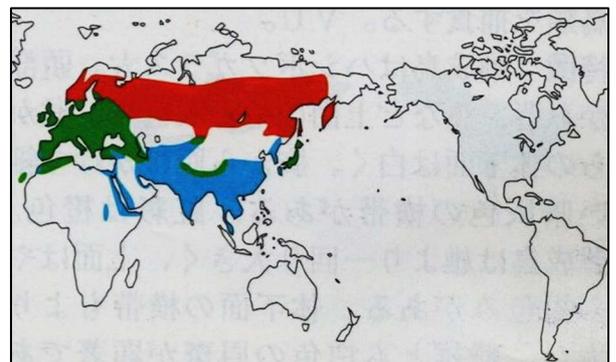
**← ③全国鳥類繁殖分布調査 鳥類繁殖分布調査会(2021年)**

全国での繁殖状況は左図の通り、記録メッシュ数には大きな変化はない。しかし1990年代と2010年代にほぼ同じコースを調査できた現地調査の記録をみても、48地点から19地点へと大きく減少している。

この原因として、ハイタカはオオタカに捕食されることがあり、オオタカを避けてより樹木密度の高い場所で繁殖していること、オオタカの分布拡大の影響で減少している可能性や日本の樹林の成熟化で、営巣適地が減っている可能性などが考えられる。分布域の南部(中部地方以南)では、記録されなくなった所が増えている。

**④世界の繁殖地・越冬地分布図 → 真木・大西「日本の野鳥 590」平凡社(2000年)**

- ハイタカの繁殖地・越冬地、
- ・繁殖地: ユーラシア大陸亜寒帯
  - ・繁殖・越冬地 日本中北部・欧州
  - ・越冬地: 日本の南部～アジア熱帯地域



**Ⅱ 来月の万博公園探鳥会 2月8日(土)**

集合 9:30 自然文化園中央口 終了 15:00 頃 日本庭園内の予定

内容 今月資料のトップに書きましたが、万博公園探鳥会は1985年2月にスタートしましたので、1月で満40年、2月からは41年目入ります。これまで2月探鳥会で全員写真を撮ってきましたので、今年2月も全員写真を撮りたいと思っています。

12月後半から近畿北部。北陸の積雪が多くなっており、少なかった冬鳥が渡来し多くなっていると思います。ルリビタキやアトリなどに会いたいと思っています。

**参加ご希望の方 今月同様大阪支部 HP ホームズ様式からお申し込みください。**

ホームズでの申し込みが難しい方、平宛メール [g.0501.hi@gmail.com](mailto:g.0501.hi@gmail.com) への連絡でも OK。

## Ⅲ 先月 2024 年 12 月万博公園探鳥会結果

スタート時開園を待つときハイタカが飛び、その後もあわせ 3 羽、各 1 羽ずつであるがミサゴ・トビ・ノスリとタカの仲間を 4 種確認することができた。カモは万博公園としてはオカヨシガモが過去最大と思われる 27 羽も確認できたが、他はキンクロハジロ(1)・カルガモ(28)で 3 種に止まった。

冬鳥で最もポピュラーなツグミの渡来が遅く 11 月探鳥会では見なかったが、今日は 25 羽確認することができ、シロハラ(3)・ジョウビタキ(8)・アトリ(5)・アオジ(2)と、ぼつぼつ渡来していることがわかった。前日の天気予報で雨確率が高かったことなどから、申し込んでくださっていた方から 7 人もの不参加連絡をいただいたが、スタート時点まで残っていた小雨が上がり探鳥会中は雨が降ることもなく、参加してくださった方には、35 種の鳥を楽しんでもらうことができた。

写真(橋本昌宗氏)



アトリ



ジョウビタキ



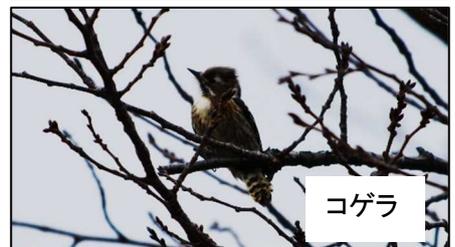
ツグミ



モズ



エナガ



コゲラ



カワセミ



オオバン



オカヨシガモ

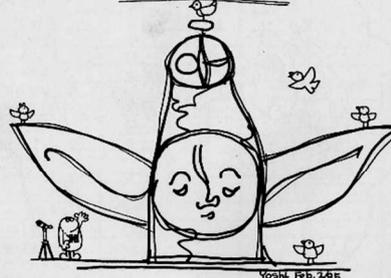
## Ⅳ 万博公園探鳥会 (第 1 回) 資料 →

万博公園探鳥会は、1985 年 2 月 16 日が第 1 回目の探鳥会でした。リーダーは塩田 猛さん、中野義弘さん(右資料作成)、平 軍二の 3 人でスタート、85 年 5 月からは黒田悦三さんにも入っていただき 4 人体制、その後も多数の方(30 人以上)にサポートしていただき、40 年間探鳥会を継続することができました。

### 万国博記念公園探鳥会

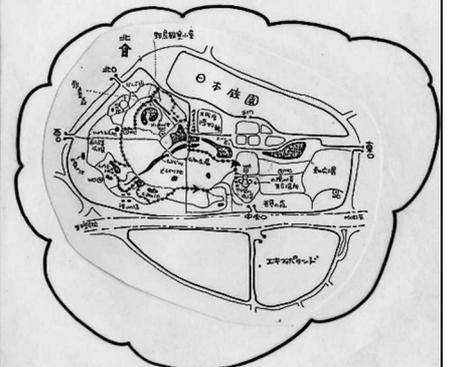
1985・2・16 (土)

日本野鳥の会大阪支部



1970 年開催された日本万博の跡地に造られた公園です。10 数年たった、樹木も繁り四季の花が咲き、素晴らしい公園になりました。今日は万博の 10 周年記念事業のひとつとして 1980 年に造られた、自然文化園内の野鳥の森を中心にバードウォッチングを楽しみます。

午後、時間があれば日本庭園にも行ってみようと思います。  
では、出発……



- 探鳥会で守ってほしいルール  
鳥の気持になつて観る。(静かに、そと)  
ゴミやタバコの灰捨て禁止。  
採取はしないで。そのまゝに。  
メジロのワッペンに誇りをもって。



# 万博公園探鳥会

2025年1月11日(土)  
 リーダー 田中宏・中筋好子・橋本昌宗・大矢麻由美  
 玉置こるり・平軍二(090-6901-1425)

## あけましておめでとうございます

万博公園探鳥会は昭和60(1985)年2月にスタートし、満40年となりました。この間、千里タイムズ紙には毎月万博公園探鳥会案内を掲載していただいたことで、千里ニュータウンを中心とする吹田市・豊中市など北摂にお住いの多数の方々に、野鳥とのふれあいを楽しんでもらうことができました。

本年も良き鳥・良き人との出会いを楽しみに、万博公園探鳥会を続けたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

### I 千里の鳥・万博の鳥「ハイタカ」

漢字名「灰鷹・鷲」 (写真 橋本昌宗氏)



「一富士二鷹三茄子(いちふじにたかさんなすび)」は、初夢に見ると縁起が良いとされています。今年最初の「千里の鳥・万博の鳥」は、昨年12月14日探鳥会で観察できたハイタカ、スタート前の開園を待つ人々に見守られて上空を舞うなど、3羽も観察できた。

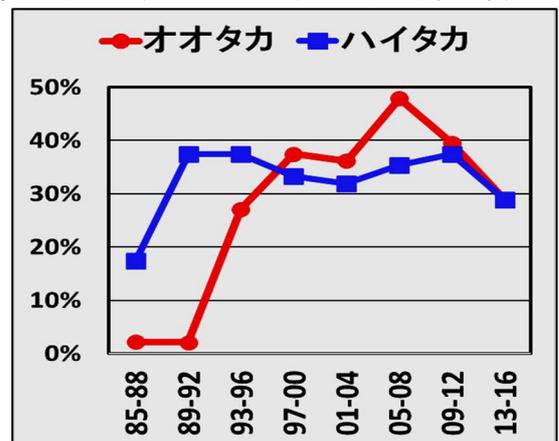
ハイタカの体長(嘴の先から尾羽の先端)は雄32cm、雌39cmで、キジバト33cmほどの小型のタカ、万博公園ではカワラヒワ・スズメ・ムクドリなどの小鳥類を餌にしていると思われる。

ハイタカは本州中部以北で繁殖しているが、大阪府内での繁殖記録がほとんど無く、春・秋の渡りの季節や冬鳥として観察されている。

万博公園では同属でハイタカより大きいオオタカが営巣・子育てをした年もあるが、その年でも冬になるとハイタカが渡来し、万博公園の上空を舞う姿を確認した。ハイタカ(やオオタカ)が飛ぶと、万博公園の主を自認しているカラスが群で追いかけることがあり、ハイタカは「ほうほうのていで逃げ回る」姿を見ることがあるが、ハイタカはカラスに負けることなく、しぶとく逃げ回っている。しかしオオタカが同属のハイタカを捕食することがあるとのこと、猛禽類であっても厳しい世界に生きていることがわかる。

### ①万博公園探鳥会でのハイタカの観察頻度 → (平:万博公園探鳥会記録より)

ハイタカ(+オオタカ)の万博公園探鳥会での観察頻度は右図の通りである。

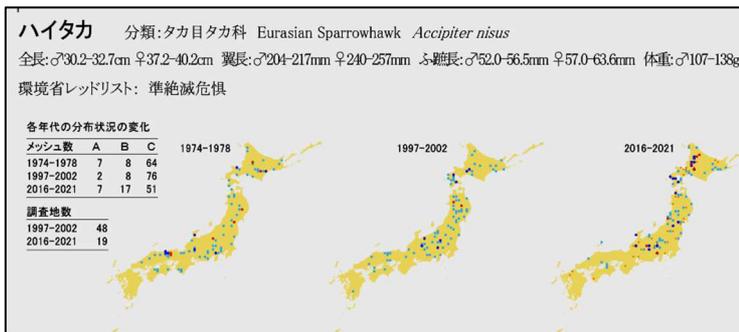
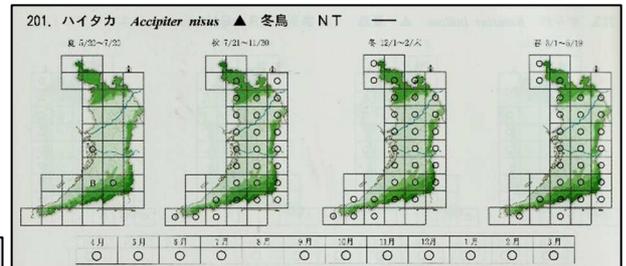


**オオタカ**は2007年～2014年に万博公園内で営巣・子育てをしたが、観察頻度は冬鳥として**ハイタカ**とあまり違いがないことは、一年中住んでいても園内で目立たないように生息しているためと推定している。

(オオタカの雌は繁殖期が終わると自由に移動しているため、万博公園にはいないと思われるが、雄は繁殖個所を守るため、一年中営巣地の近くにいる筈である。)

**②大阪府鳥類目録 2016: 日本野鳥の会大阪支部→**

右図では秋～春まで府内全域で確認されているが、繁殖記録はBランカーカ所のみ、2011年7月岸和田市で成鳥がヒナに餌を運ぶ姿が確認されたとのことである。



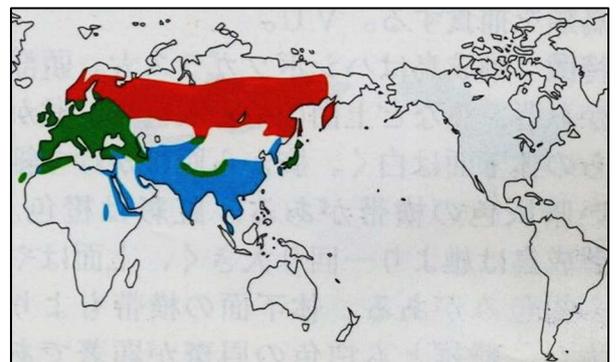
**← ③全国鳥類繁殖分布調査 鳥類繁殖分布調査会(2021年)**

全国での繁殖状況は左図の通り、記録メッシュ数には大きな変化はない。しかし1990年代と2010年代にほぼ同じコースを調査できた現地調査の記録をみても、48地点から19地点へと大きく減少している

た。この原因として、ハイタカはオオタカに捕食されることがあり、オオタカを避けてより樹木密度の高い場所で繁殖していること、オオタカの分布拡大の影響で減少している可能性や日本の樹林の成熟化で、営巣適地が減っている可能性などが考えられる。分布域の南部(中部地方以南)では、記録されなくなった所が増えている。

**④世界の繁殖地・越冬地分布図 → 真木・大西「日本の野鳥 590」平凡社(2000年)**

- ハイタカの繁殖地・越冬地、
- ・繁殖地: ユーラシア大陸亜寒帯
  - ・繁殖・越冬地 日本中北部・欧州
  - ・越冬地: 日本の南部～アジア熱帯地域



**Ⅱ 来月の万博公園探鳥会 2月8日(土)**

集合 9:30 自然文化園中央口 終了 15:00 頃 日本庭園内の予定

内容 今月資料のトップに書きましたが、万博公園探鳥会は1985年2月にスタートしましたので、1月で満40年、2月からは41年目入ります。これまで2月探鳥会で全員写真を撮ってきましたので、今年2月も全員写真を撮りたいと思っています。

12月後半から近畿北部。北陸の積雪が多くなっており、少なかった冬鳥が渡来し多くなっていると思います。ルリビタキやアトリなどに会いたいと思っています。

**参加ご希望の方 今月同様大阪支部 HP ホームズ様式からお申し込みください。**

ホームズでの申し込みが難しい方、平宛メール [g.0501.hi@gmail.com](mailto:g.0501.hi@gmail.com) への連絡でも OK。

## Ⅲ 先月 2024 年 12 月万博公園探鳥会結果

スタート時開園を待つときハイタカが飛び、その後もあわせ 3 羽、各 1 羽ずつであるがミサゴ・トビ・ノスリとタカの仲間を 4 種確認することができた。カモは万博公園としてはオカヨシガモが過去最大と思われる 27 羽も確認できたが、他はキンクロハジロ(1)・カルガモ(28)で 3 種に止まった。冬鳥で最もポピュラーなツグミの渡来が遅く 11 月探鳥会では見なかったが、今日は 25 羽確認することができ、シロハラ(3)・ジョウビタキ(8)・アトリ(5)・アオジ(2)と、ぼつぼつ渡来していることがわかった。前日の天気予報で雨確率が高かったことなどから、申し込んでくださっていた方から 7 人もの不参加連絡をいただいたが、スタート時点まで残っていた小雨が上がり探鳥会中は雨が降ることもなく、参加してくださった方には、35 種の鳥を楽しんでもらうことができた。

写真(橋本昌宗氏)



アトリ



ジョウビタキ



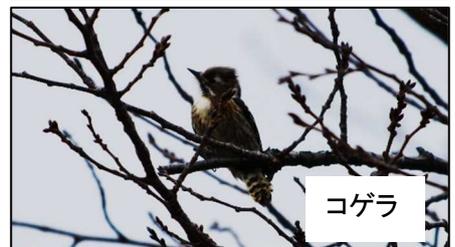
ツグミ



モズ



エナガ



コゲラ



カワセミ



オオバン



オカヨシガモ

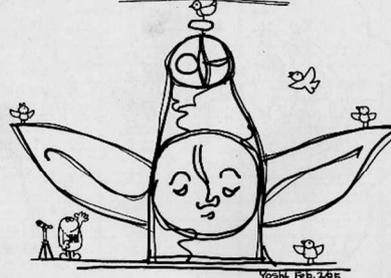
## Ⅳ 万博公園探鳥会 (第 1 回)資料 →

万博公園探鳥会は、1985 年 2 月 16 日が第 1 回目の探鳥会でした。リーダーは塩田 猛さん、中野義弘さん(右資料作成)、平 軍二の 3 人でスタート、85 年 5 月からは黒田悦三さんにも入っていただき 4 人体制、その後も多数の方(30 人以上)にサポートしていただき、40 年間探鳥会を継続することができました。

### 万国博記念公園探鳥会

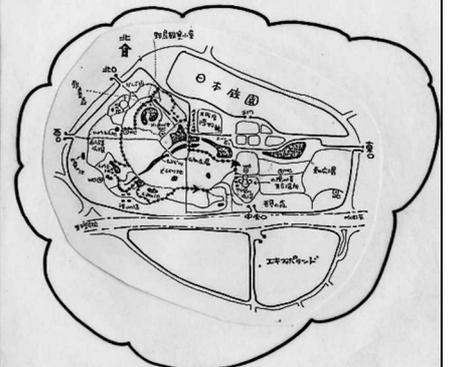
1985・2・16(土)

日本野鳥の会大阪支部



1970 年開催された日本万博の跡地に造られた公園です。10 数年たった、樹木も繁り四季の花が咲き、素晴らしい公園になりました。今日は万博の 10 周年記念事業のひとつとして 1980 年に造られた、自然文化園内の野鳥の森を中心にバードウォッチングを楽しみます。

午後、時間があれば日本庭園にも行ってみたいと思います。  
では、出発……



- 探鳥会で守ってほしいルール  
鳥の気持になつて観る。(静かに、そと)  
ゴミやタバコのポイ捨て禁止。  
採取はしないで。そのまゝに。  
メジロのワッペンに誇りをもって。



# 万博公園探鳥会

2025年1月11日(土)  
 リーダー 田中宏・中筋好子・橋本昌宗・大矢麻由美  
 玉置こるり・平軍二(090-6901-1425)

## あけましておめでとうございます

万博公園探鳥会は昭和60(1985)年2月にスタートし、満40年となりました。この間、千里タイムズ紙には毎月万博公園探鳥会案内を掲載していただいたことで、千里ニュータウンを中心とする吹田市・豊中市など北摂にお住いの多数の方々に、野鳥とのふれあいを楽しんでもらうことができました。

本年も良き鳥・良き人との出会いを楽しみに、万博公園探鳥会を続けたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

### I 千里の鳥・万博の鳥「ハイタカ」

漢字名「灰鷹・鷲」 (写真 橋本昌宗氏)



「一富士二鷹三茄子(いちふじにたかさんなすび)」は、初夢に見ると縁起が良いとされています。今年最初の「千里の鳥・万博の鳥」は、昨年12月14日探鳥会で観察できたハイタカ、スタート前の開園を待つ人々に見守られて上空を舞うなど、3羽も観察できた。

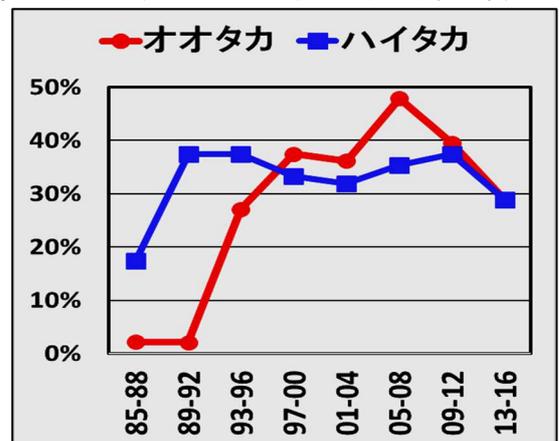
ハイタカの体長(嘴の先から尾羽の先端)は雄32cm、雌39cmで、キジバト33cmほどの小型のタカ、万博公園ではカワラヒワ・スズメ・ムクドリなどの小鳥類を餌にしていると思われる。

ハイタカは本州中部以北で繁殖しているが、大阪府内での繁殖記録がほとんど無く、春・秋の渡りの季節や冬鳥として観察されている。

万博公園では同属でハイタカより大きいオオタカが営巣・子育てをした年もあるが、その年でも冬になるとハイタカが渡来し、万博公園の上空を舞う姿を確認した。ハイタカ(やオオタカ)が飛ぶと、万博公園の主を自認しているカラスが群で追いかけることがあり、ハイタカは「ほうほうのていで逃げ回る」姿を見ることがあるが、ハイタカはカラスに負けることなく、しぶとく逃げ回っている。しかしオオタカが同属のハイタカを捕食することがあるとのこと、猛禽類であっても厳しい世界に生きていることがわかる。

### ①万博公園探鳥会でのハイタカの観察頻度 → (平:万博公園探鳥会記録より)

ハイタカ(+オオタカ)の万博公園探鳥会での観察頻度は右図の通りである。

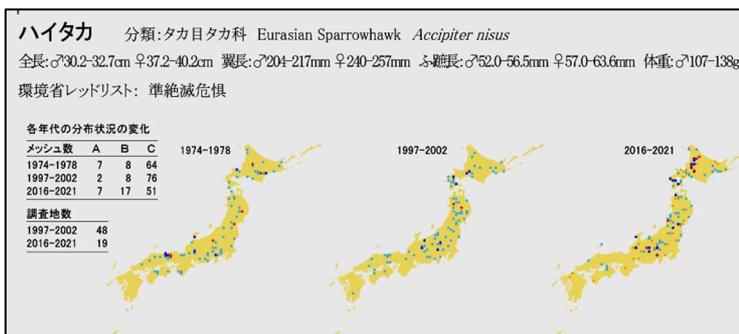
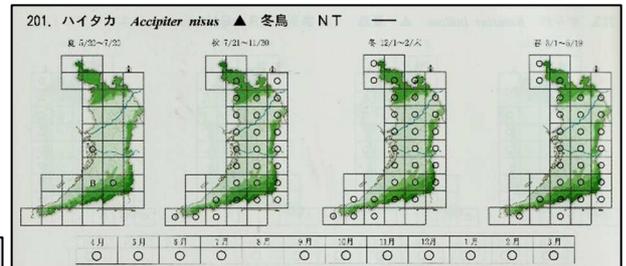


**オオタカ**は2007年～2014年に万博公園内で営巣・子育てをしたが、観察頻度は冬鳥として**ハイタカ**とあまり違いがないことは、一年中住んでいても園内で目立たないように生息しているためと推定している。

(オオタカの雌は繁殖期が終わると自由に移動しているため、万博公園にはいないと思われるが、雄は繁殖個所を守るため、一年中営巣地の近くにいる筈である。)

**②大阪府鳥類目録 2016: 日本野鳥の会大阪支部→**

右図では秋～春まで府内全域で確認されているが、繁殖記録はBランカーカ所のみ、2011年7月岸和田市で成鳥がヒナに餌を運ぶ姿が確認されたとのことである。



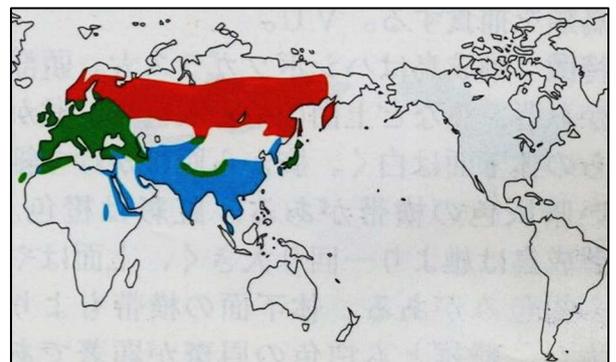
**← ③全国鳥類繁殖分布調査 鳥類繁殖分布調査会(2021年)**

全国での繁殖状況は左図の通り、記録メッシュ数には大きな変化はない。しかし1990年代と2010年代にほぼ同じコースを調査できた現地調査の記録をみても、48地点から19地点へと大きく減少している。

この原因として、ハイタカはオオタカに捕食されることがあり、オオタカを避けてより樹木密度の高い場所で繁殖していること、オオタカの分布拡大の影響で減少している可能性や日本の樹林の成熟化で、営巣適地が減っている可能性などが考えられる。分布域の南部(中部地方以南)では、記録されなくなった所が増えている。

**④世界の繁殖地・越冬地分布図 → 真木・大西「日本の野鳥 590」平凡社(2000年)**

- ハイタカの繁殖地・越冬地、
- ・繁殖地: ユーラシア大陸亜寒帯
  - ・繁殖・越冬地: 日本中北部・欧州
  - ・越冬地: 日本の南部～アジア熱帯地域



**Ⅱ 来月の万博公園探鳥会 2月8日(土)**

集合 9:30 自然文化園中央口 終了 15:00 頃 日本庭園内の予定

内容 今月資料のトップに書きましたが、万博公園探鳥会は1985年2月にスタートしましたので、1月で満40年、2月からは41年目入ります。これまで2月探鳥会で全員写真を撮ってきましたので、今年2月も全員写真を撮りたいと思っています。

12月後半から近畿北部。北陸の積雪が多くなっており、少なかった冬鳥が渡来し多くなっていると思います。ルリビタキやアトリなどに会いたいと思っています。

**参加ご希望の方 今月同様大阪支部 HP ホームズ様式からお申し込みください。**

ホームズでの申し込みが難しい方、平宛メール [g.0501.hi@gmail.com](mailto:g.0501.hi@gmail.com) への連絡でも OK。

## Ⅲ 先月 2024 年 12 月万博公園探鳥会結果

スタート時開園を待つときハイタカが飛び、その後もあわせ 3 羽、各 1 羽ずつであるがミサゴ・トビ・ノスリとタカの仲間を 4 種確認することができた。カモは万博公園としてはオカヨシガモが過去最大と思われる 27 羽も確認できたが、他はキンクロハジロ(1)・カルガモ(28)で 3 種に止まった。

冬鳥で最もポピュラーなツグミの渡来が遅く 11 月探鳥会では見なかったが、今日は 25 羽確認することができ、シロハラ(3)・ジョウビタキ(8)・アトリ(5)・アオジ(2)と、ぼつぼつ渡来していることがわかった。前日の天気予報で雨確率が高かったことなどから、申し込んでくださっていた方から 7 人もの不参加連絡をいただいたが、スタート時点まで残っていた小雨が上がり探鳥会中は雨が降ることもなく、参加してくださった方には、35 種の鳥を楽しんでもらうことができた。

写真(橋本昌宗氏)



アトリ



ジョウビタキ



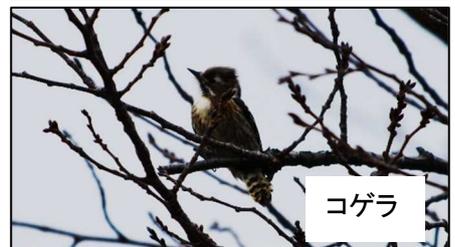
ツグミ



モズ



エナガ



コゲラ



カワセミ



オオバン



オカヨシガモ

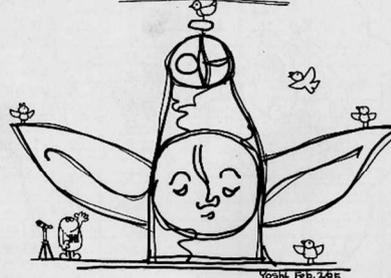
## Ⅳ 万博公園探鳥会 (第 1 回) 資料 →

万博公園探鳥会は、1985 年 2 月 16 日が第 1 回目の探鳥会でした。リーダーは塩田 猛さん、中野義弘さん(右資料作成)、平 軍二の 3 人でスタート、85 年 5 月からは黒田悦三さんにも入っていただき 4 人体制、その後も多数の方(30 人以上)にサポートしていただき、40 年間探鳥会を継続することができました。

### 万国博記念公園探鳥会

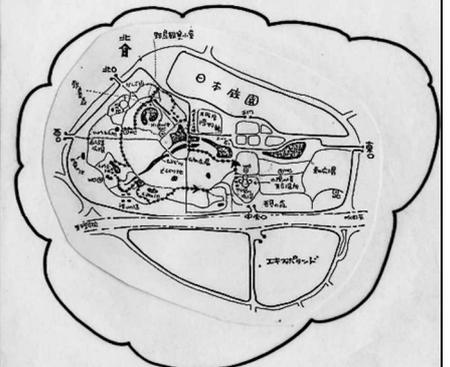
1985・2・16 (土)

日本野鳥の会大阪支部



1970 年開催された日本万博の跡地に造られた公園です。10 数年たった、樹木も繁り四季の花が咲き、素晴らしい公園になりました。今日は万博の 10 周年記念事業のひとつとして 1980 年に造られた、自然文化園内の野鳥の森を中心にバードウォッチングを楽しみます。

午後、時間があれば日本庭園にも行ってみたいと思います。  
では、出発……



- 探鳥会で守ってほしいルール  
鳥の気持になつて観る。(静かに、そと)  
ゴミやタバコの灰捨て禁止。  
採取はしないで。そのまゝに。  
メジロのワッペンに誇りをもって。

# V 万博公園探鳥会観察種 チェックリスト

万博 NO	大阪 NO	種名	2024											2025					大阪 NO						
			1 13	2 10	3 9	4 13	5 11	11 9	12 14	1 11	2 8	3 8	4 12	5 10											
1	24	オシドリ	2	2	25																			24	
2	26	オカヨシガモ														27									26
3	27	ヨシガモ																							27
4	28	ヒドリガモ																							28
5	30	マガモ	2				2																		30
6	32	カルガモ	32	26	28	9	16	4	28																32
7	35	オナガガモ																							35
8	38	コガモ																							38
9	42	ホシハジロ			1																				42
10	46	キンクロハジロ	1	2												1									46
11	58	ミコアイサ																							58
12	62	カイツブリ	4	7	1	3	5	8	3																62
13	74	キジバト	5	1	4	8	4	3	6																74
14	78	アオバト		5	1																				78
15	127	カワウ	3	6		8	7	1																	127
16	139	ゴイサギ																							139
17	144	アオサギ	2	1	2	1	1	1	1																144
18	146	ダイサギ		1	1																				146
19	148	コサギ		5	2	3																			148
20	166	クイナ																							166
21	174	バン																							174
22	175	オオバン								1	5														175
23	187	ツツドリ																							187
24	192	アマツバメ																							192
25	195	ケリ																							195
26	202	イカルチドリ																							202
27	203	コチドリ																							203
28	219	タシギ	2	2	2	2																			219
29	244	イソシギ																							244
30	286	ユリカモメ																							286
31	339	ミサゴ	1	1												1									339
32	340	ハチクマ																							340
33	342	トビ		1						2						1									342
34	354	ツミ																							354
35	355	ハイタカ	3	1	1											3									355
36	356	オオタカ	1	4																					356
37	357	サシバ																							357
38	358	ノスリ			1	1										1									358
39	383	カワセミ	4	2	6	1	3	4	6																383
40	388	アリスイ																							388
41	390	コゲラ	5	5	2	5	2	3	4																390
42	401	チョウゲンボウ		1	1	1																			401
43	407	ハヤブサ																							407
44	412	サンショウクイ																							412
45	418	サンコウチョウ																							418
46	420	モズ	2	1	1											3	1								420
47	435	ハシボソガラス	15	7	5	13	15	9	21																435
48	436	ハシブトガラス	32	38	48	34	48	57	54																436
49	442	ヤマガラ	4	8	2	2	2	8	3																442
50	445	シジュウカラ	14	18	17	23	17	12	14																445
51	457	ツバメ					6	27																	457
52	459	コシアカツバメ						3																	459
52	463	ヒヨドリ	67	52	26	13	12	67	98																463
53	464	ウグイス	2	1	5	11	6	3	3																464
54	465	ヤブサメ																							465
55	466	エナガ	8	9	6	2	6	18	11																466
56	476	オオムシクイ																							476
57	477	メボソムシクイ																							477
58	479	エゾムシクイ																							479
59	480	センダイムシクイ															1								480
60	485	メジロ	6	4	7	8	11	16	8																485
61	492	オオヨシキリ																							492
62	501	ヒレンジャク																							501
63	506	ムクドリ	14	2	1	4	14		14																506
64	508	コムクドリ																							508
65	514	トラツグミ			1																				514
66	521	シロハラ	1	3	4	8		2	3																521
67	522	アカハラ						3	1																522
68	525	ツグミ	136	3	44	35			25																525
69	530	コマドリ																							530
70	536	ルリビタキ						1																	536
71	540	ジョウビタキ	7	3	5	1		11	8																540
72	542	ノビタキ																							542
73	549	イソヒヨドリ		1	1																				549
74	552	エゾビタキ																							552
75	554	コサメビタキ							2																554
76	558	キビタキ							1	1															558
77	561	オオルリ																							561
78	568	ニュウナイスズメ							11																568
79	569	スズメ	31	32	4	21	23	57	28																569
80	573	キセキレイ							1																573
81	574	ハクセキレイ	16	12	15	9	6	17	21																574
82	575	セグロセキレイ	4	2		1		1	1																575
83	580	ピンズイ																							580
84	584	タヒバリ																							584
85	586	アトリ	18	31	32	2			5																586
86	587	カワラヒワ	81	97	65	10	15	1	19																587
87	600	シメ	8			2																			600
88	602	イカル							3	4															602
89	610	ホオジロ																							610
90	617	カシラダカ																							617
91	624	アオジ	2		2	2		3	2																624
92		ドバト	○	○		○	○	○	○																

# 万博公園探鳥会

2025年1月11日(土)  
 リーダー 田中宏・中筋好子・橋本昌宗・大矢麻由美  
 玉置こるり・平軍二(090-6901-1425)

## あけましておめでとうございます

万博公園探鳥会は昭和60(1985)年2月にスタートし、満40年となりました。この間、千里タイムズ紙には毎月万博公園探鳥会案内を掲載していただいたことで、千里ニュータウンを中心とする吹田市・豊中市など北摂にお住いの多数の方々に、野鳥とのふれあいを楽しんでもらうことができました。

本年も良き鳥・良き人との出会いを楽しみに、万博公園探鳥会を続けたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

### I 千里の鳥・万博の鳥「ハイタカ」

漢字名「灰鷹・鷲」 (写真 橋本昌宗氏)



「一富士二鷹三茄子(いちふじにたかさんなすび)」は、初夢に見ると縁起が良いとされています。今年最初の「千里の鳥・万博の鳥」は、昨年12月14日探鳥会で観察できたハイタカ、スタート前の開園を待つ人々に見守られて上空を舞うなど、3羽も観察できた。

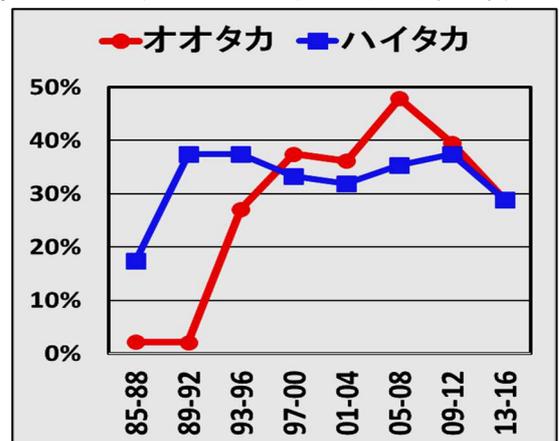
ハイタカの体長(嘴の先から尾羽の先端)は雄32cm、雌39cmで、キジバト33cmほどの小型のタカ、万博公園ではカワラヒワ・スズメ・ムクドリなどの小鳥類を餌にしていると思われる。

ハイタカは本州中部以北で繁殖しているが、大阪府内での繁殖記録がほとんど無く、春・秋の渡りの季節や冬鳥として観察されている。

万博公園では同属でハイタカより大きいオオタカが営巣・子育てをした年もあるが、その年でも冬になるとハイタカが渡来し、万博公園の上空を舞う姿を確認した。ハイタカ(やオオタカ)が飛ぶと、万博公園の主を自認しているカラスが群で追いかけることがあり、ハイタカは「ほうほうのていで逃げ回る」姿を見ることがあるが、ハイタカはカラスに負けることなく、しぶとく逃げ回っている。しかしオオタカが同属のハイタカを捕食することがあるとのこと、猛禽類であっても厳しい世界に生きていることがわかる。

### ①万博公園探鳥会でのハイタカの観察頻度 → (平:万博公園探鳥会記録より)

ハイタカ(+オオタカ)の万博公園探鳥会での観察頻度は右図の通りである。

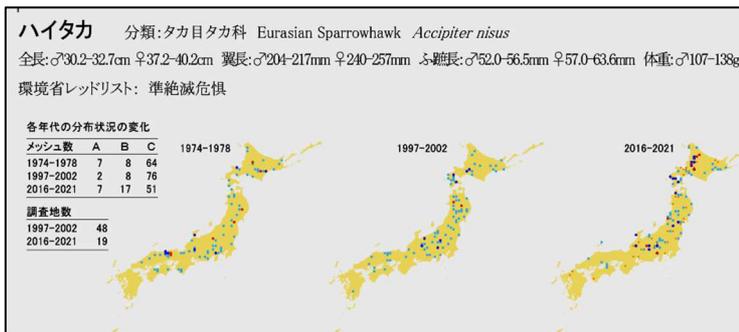
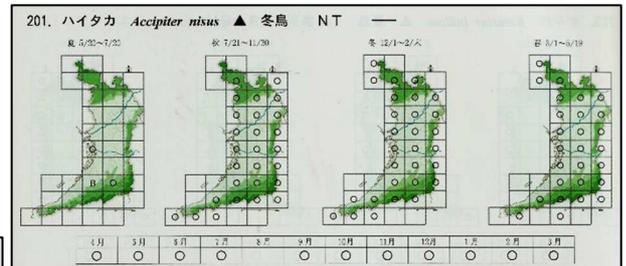


**オオタカ**は2007年～2014年に万博公園内で営巣・子育てをしたが、観察頻度は冬鳥として**ハイタカ**とあまり違いがないことは、一年中住んでいても園内で目立たないように生息しているためと推定している。

(オオタカの雌は繁殖期が終わると自由に移動しているため、万博公園にはいないと思われるが、雄は繁殖個所を守るため、一年中営巣地の近くにいる筈である。)

**②大阪府鳥類目録 2016: 日本野鳥の会大阪支部→**

右図では秋～春まで府内全域で確認されているが、繁殖記録はBランクーカ所のみ、2011年7月岸和田市で成鳥がヒナに餌を運ぶ姿が確認されたとのことである。



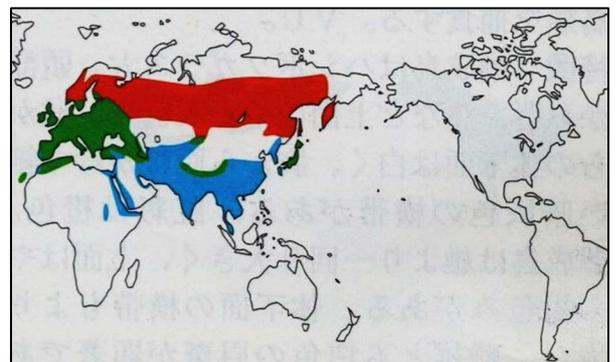
**← ③全国鳥類繁殖分布調査 鳥類繁殖分布調査会(2021年)**

全国での繁殖状況は左図の通り、記録メッシュ数には大きな変化はない。しかし1990年代と2010年代にほぼ同じコースを調査できた現地調査の記録をみても、48地点から19地点へと大きく減少している

た。この原因として、ハイタカはオオタカに捕食されることがあり、オオタカを避けてより樹木密度の高い場所で繁殖していること、オオタカの分布拡大の影響で減少している可能性や日本の樹林の成熟化で、営巣適地が減っている可能性などが考えられる。分布域の南部(中部地方以南)では、記録されなくなった所が増えている。

**④世界の繁殖地・越冬地分布図 → 真木・大西「日本の野鳥 590」平凡社(2000年)**

- ハイタカの繁殖地・越冬地、
- ・繁殖地: ユーラシア大陸亜寒帯
  - ・繁殖・越冬地 日本中北部・欧州
  - ・越冬地: 日本の南部～アジア熱帯地域



**Ⅱ 来月の万博公園探鳥会 2月8日(土)**

集合 9:30 自然文化園中央口 終了 15:00 頃 日本庭園内の予定

内容 今月資料のトップに書きましたが、万博公園探鳥会は1985年2月にスタートしましたので、1月で満40年、2月からは41年目入ります。これまで2月探鳥会で全員写真を撮ってきましたので、今年2月も全員写真を撮りたいと思っています。

12月後半から近畿北部。北陸の積雪が多くなっており、少なかった冬鳥が渡来し多くなっていると思います。ルリビタキやアトリなどに会いたいと思っています。

**参加ご希望の方 今月同様大阪支部 HP ホームズ様式からお申し込みください。**

ホームズでの申し込みが難しい方、平宛メール [g.0501.hi@gmail.com](mailto:g.0501.hi@gmail.com) への連絡でも OK。

## Ⅲ 先月 2024 年 12 月万博公園探鳥会結果

スタート時開園を待つときハイタカが飛び、その後もあわせ 3 羽、各 1 羽ずつであるがミサゴ・トビ・ノスリとタカの仲間を 4 種確認することができた。カモは万博公園としてはオカヨシガモが過去最大と思われる 27 羽も確認できたが、他はキンクロハジロ(1)・カルガモ(28)で 3 種に止まった。冬鳥で最もポピュラーなツグミの渡来が遅く 11 月探鳥会では見なかったが、今日は 25 羽確認することができ、シロハラ(3)・ジョウビタキ(8)・アトリ(5)・アオジ(2)と、ぼつぼつ渡来していることがわかった。前日の天気予報で雨確率が高かったことなどから、申し込んでくださっていた方から 7 人もの不参加連絡をいただいたが、スタート時点まで残っていた小雨が上がり探鳥会中は雨が降ることもなく、参加してくださった方には、35 種の鳥を楽しんでもらうことができた。

写真(橋本昌宗氏)



アトリ



ジョウビタキ



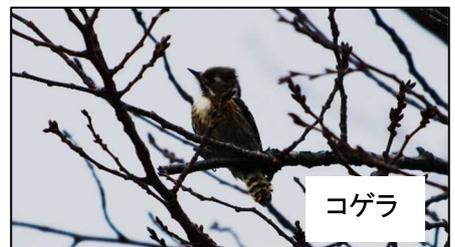
ツグミ



モズ



エナガ



コゲラ



カワセミ



オオバン



オカヨシガモ

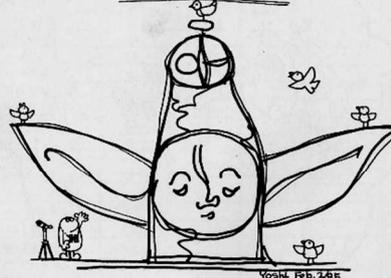
## Ⅳ 万博公園探鳥会 (第 1 回) 資料 →

万博公園探鳥会は、1985 年 2 月 16 日が第 1 回目の探鳥会でした。リーダーは塩田 猛さん、中野義弘さん(右資料作成)、平 軍二の 3 人でスタート、85 年 5 月からは黒田悦三さんにも入っていただき 4 人体制、その後も多数の方(30 人以上)にサポートしていただき、40 年間探鳥会を継続することができました。

### 万国博記念公園探鳥会

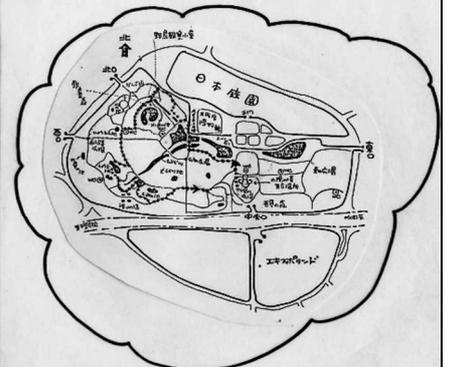
1985・2・16 (土)

日本野鳥の会大阪支部



1970 年開催された日本万博の跡地に造られた公園です。10 数年たった、樹木も繁り四季の花が咲き、素晴らしい公園になりました。今日は万博の 10 周年記念事業のひとつとして 1980 年に造られた、自然文化園内の野鳥の森を中心にバードウォッチングを楽しみます。

午後、時間があれば日本庭園にも行ってみようと思います。  
では、出発……



- 探鳥会で守ってほしいルール  
鳥の気持になつて観る。(静かに、そと)  
ゴミやタバコの灰捨て禁止。  
採取はしないで。そのまゝに。  
メジロのワッペンに誇りをもって。



# 万博公園探鳥会

2025年1月11日(土)  
 リーダー 田中宏・中筋好子・橋本昌宗・大矢麻由美  
 玉置こるり・平軍二(090-6901-1425)

## あけましておめでとうございます

万博公園探鳥会は昭和60(1985)年2月にスタートし、満40年となりました。この間、千里タイムズ紙には毎月万博公園探鳥会案内を掲載していただいたことで、千里ニュータウンを中心とする吹田市・豊中市など北摂にお住いの多数の方々に、野鳥とのふれあいを楽しんでもらうことができました。

本年も良き鳥・良き人との出会いを楽しみに、万博公園探鳥会を続けたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

### I 千里の鳥・万博の鳥「ハイタカ」

漢字名「灰鷹・鷲」 (写真 橋本昌宗氏)



「一富士二鷹三茄子(いちふじにたかさんなすび)」は、初夢に見ると縁起が良いとされています。今年最初の「千里の鳥・万博の鳥」は、昨年12月14日探鳥会で観察できたハイタカ、スタート前の開園を待つ人々に見守られて上空を舞うなど、3羽も観察できた。

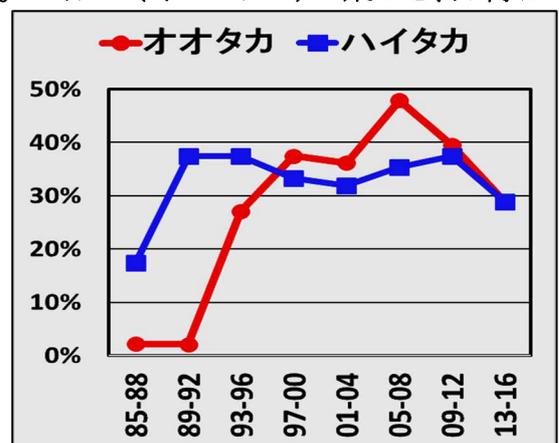
ハイタカの体長(嘴の先から尾羽の先端)は雄32cm、雌39cmで、キジバト33cmほどの小型のタカ、万博公園ではカワラヒワ・スズメ・ムクドリなどの小鳥類を餌にしていると思われる。

ハイタカは本州中部以北で繁殖しているが、大阪府内での繁殖記録がほとんど無く、春・秋の渡りの季節や冬鳥として観察されている。

万博公園では同属でハイタカより大きいオオタカが営巣・子育てをした年もあるが、その年でも冬になるとハイタカが渡来し、万博公園の上空を舞う姿を確認した。ハイタカ(やオオタカ)が飛ぶと、万博公園の主を自認しているカラスが群で追いかけることがあり、ハイタカは「ほうほうのていで逃げ回る」姿を見ることがあるが、ハイタカはカラスに負けることなく、しぶとく逃げ回っている。しかしオオタカが同属のハイタカを捕食することがあるとのこと、猛禽類であっても厳しい世界に生きていることがわかる。

### ①万博公園探鳥会でのハイタカの観察頻度 → (平:万博公園探鳥会記録より)

ハイタカ(+オオタカ)の万博公園探鳥会での観察頻度は右図の通りである。

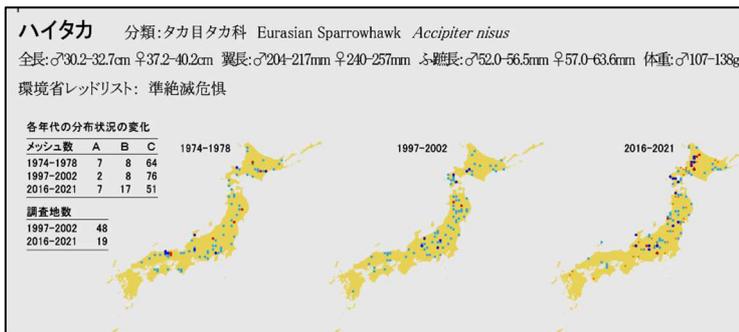
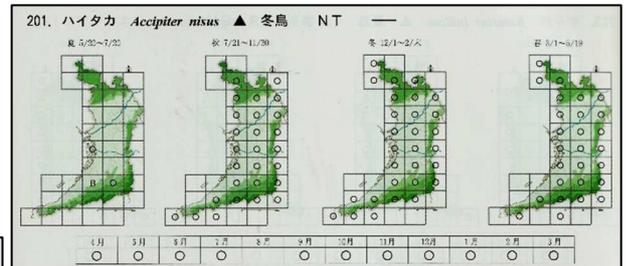


**オオタカ**は2007年～2014年に万博公園内で営巣・子育てをしたが、観察頻度は冬鳥として**ハイタカ**とあまり違いがないことは、一年中住んでいても園内で目立たないように生息しているためと推定している。

(オオタカの雌は繁殖期が終わると自由に移動しているため、万博公園にはいないと思われるが、雄は繁殖個所を守るため、一年中営巣地の近くにいる筈である。)

**②大阪府鳥類目録 2016: 日本野鳥の会大阪支部→**

右図では秋～春まで府内全域で確認されているが、繁殖記録はBランカーカ所のみ、2011年7月岸和田市で成鳥がヒナに餌を運ぶ姿が確認されたとのことである。



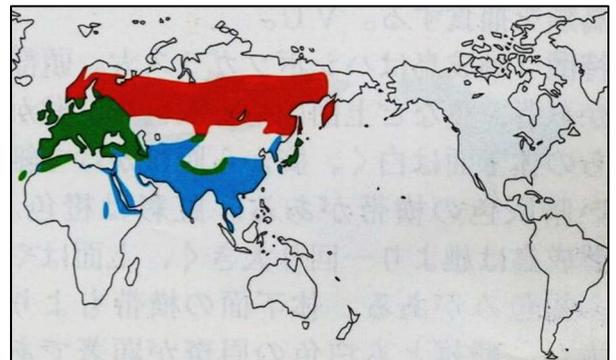
**← ③全国鳥類繁殖分布調査 鳥類繁殖分布調査会(2021年)**

全国での繁殖状況は左図の通り、記録メッシュ数には大きな変化はない。しかし1990年代と2010年代にほぼ同じコースを調査できた現地調査の記録をみても、48地点から19地点へと大きく減少している。

この原因として、ハイタカはオオタカに捕食されることがあり、オオタカを避けてより樹木密度の高い場所で繁殖していること、オオタカの分布拡大の影響で減少している可能性や日本の樹林の成熟化で、営巣適地が減っている可能性などが考えられる。分布域の南部(中部地方以南)では、記録されなくなった所が増えている。

**④世界の繁殖地・越冬地分布図 → 真木・大西「日本の野鳥 590」平凡社(2000年)**

- ハイタカの繁殖地・越冬地、
- ・繁殖地: ユーラシア大陸亜寒帯
  - ・繁殖・越冬地: 日本中北部・欧州
  - ・越冬地: 日本の南部～アジア熱帯地域



**Ⅱ 来月の万博公園探鳥会 2月8日(土)**

集合 9:30 自然文化園中央口 終了 15:00 頃 日本庭園内の予定

内容 今月資料のトップに書きましたが、万博公園探鳥会は1985年2月にスタートしましたので、1月で満40年、2月からは41年目入ります。これまで2月探鳥会で全員写真を撮ってきましたので、今年2月も全員写真を撮りたいと思っています。

12月後半から近畿北部。北陸の積雪が多くなっており、少なかった冬鳥が渡来し多くなっていると思います。ルリビタキやアトリなどに会いたいと思っています。

**参加ご希望の方 今月同様大阪支部 HP ホームズ様式からお申し込みください。**

ホームズでの申し込みが難しい方、平宛メール [g.0501.hi@gmail.com](mailto:g.0501.hi@gmail.com) への連絡でも OK。

## Ⅲ 先月 2024 年 12 月万博公園探鳥会結果

スタート時開園を待つときハイタカが飛び、その後もあわせ 3 羽、各 1 羽ずつであるがミサゴ・トビ・ノスリとタカの仲間を 4 種確認することができた。カモは万博公園としてはオカヨシガモが過去最大と思われる 27 羽も確認できたが、他はキンクロハジロ(1)・カルガモ(28)で 3 種に止まった。冬鳥で最もポピュラーなツグミの渡来が遅く 11 月探鳥会では見なかったが、今日は 25 羽確認することができ、シロハラ(3)・ジョウビタキ(8)・アトリ(5)・アオジ(2)と、ぼつぼつ渡来していることがわかった。前日の天気予報で雨確率が高かったことなどから、申し込んでくださっていた方から 7 人もの不参加連絡をいただいたが、スタート時点まで残っていた小雨が上がり探鳥会中は雨が降ることもなく、参加してくださった方には、35 種の鳥を楽しんでもらうことができた。

写真(橋本昌宗氏)



アトリ



ジョウビタキ



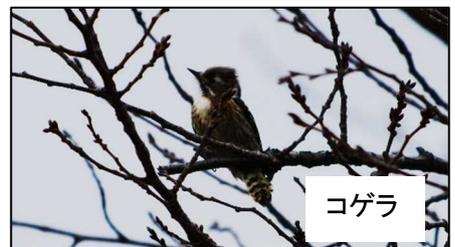
ツグミ



モズ



エナガ



コゲラ



カワセミ



オオバン



オカヨシガモ

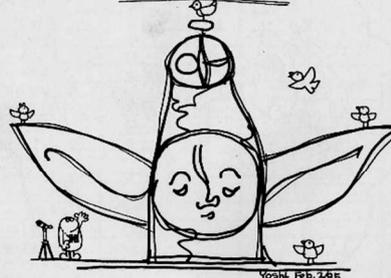
## Ⅳ 万博公園探鳥会 (第 1 回) 資料 →

万博公園探鳥会は、1985 年 2 月 16 日が第 1 回目の探鳥会でした。リーダーは塩田 猛さん、中野義弘さん(右資料作成)、平 軍二の 3 人でスタート、85 年 5 月からは黒田悦三さんにも入っていただき 4 人体制、その後も多数の方(30 人以上)にサポートしていただき、40 年間探鳥会を継続することができました。

### 万国博記念公園探鳥会

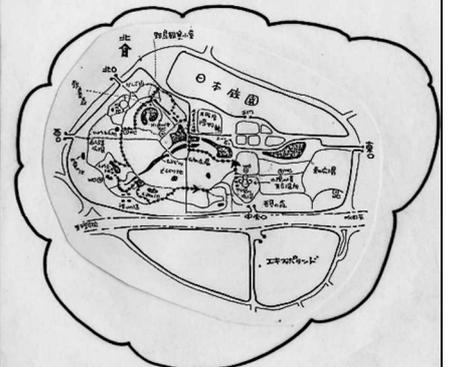
1985・2・16 (土)

日本野鳥の会大阪支部



1970 年開催された日本万博の跡地に造られた公園です。10 数年たった、樹木も繁り四季の花が咲き、素晴らしい公園になりました。今日は万博の 10 周年記念事業のひとつとして 1980 年に造られた、自然文化園内の野鳥の森を中心にバードウォッチングを楽しみます。

午後、時間があれば日本庭園にも行ってみたいと思います。  
では、出発……



- 探鳥会で守ってほしいルール  
鳥の気持になつて観る。(静かに、そと)  
ゴミやタバコのポイ捨て禁止。  
採取はしないで。そのまゝに。  
メジロのワッペンに誇りをもって。



# 万博公園探鳥会

2025年1月11日(土)  
 リーダー 田中宏・中筋好子・橋本昌宗・大矢麻由美  
 玉置こるり・平軍二(090-6901-1425)

## あけましておめでとうございます

万博公園探鳥会は昭和60(1985)年2月にスタートし、満40年となりました。この間、千里タイムズ紙には毎月万博公園探鳥会案内を掲載していただいたことで、千里ニュータウンを中心とする吹田市・豊中市など北摂にお住いの多数の方々に、野鳥とのふれあいを楽しんでもらうことができました。

本年も良き鳥・良き人との出会いを楽しみに、万博公園探鳥会を続けたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

### I 千里の鳥・万博の鳥「ハイタカ」

漢字名「灰鷹・鷲」 (写真 橋本昌宗氏)



「一富士二鷹三茄子(いちふじにたかさんなすび)」は、初夢に見ると縁起が良いとされています。今年最初の「千里の鳥・万博の鳥」は、昨年12月14日探鳥会で観察できたハイタカ、スタート前の開園を待つ人々に見守られて上空を舞うなど、3羽も観察できた。

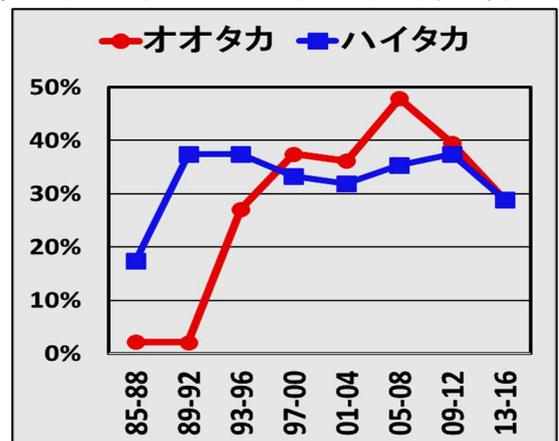
ハイタカの体長(嘴の先から尾羽の先端)は雄32cm、雌39cmで、キジバト33cmほどの小型のタカ、万博公園ではカワラヒワ・スズメ・ムクドリなどの小鳥類を餌にしていると思われる。

ハイタカは本州中部以北で繁殖しているが、大阪府内での繁殖記録がほとんど無く、春・秋の渡りの季節や冬鳥として観察されている。

万博公園では同属でハイタカより大きいオオタカが営巣・子育てをした年もあるが、その年でも冬になるとハイタカが渡来し、万博公園の上空を舞う姿を確認した。ハイタカ(やオオタカ)が飛ぶと、万博公園の主を自認しているカラスが群で追いかけることがあり、ハイタカは「ほうほうのていで逃げ回る」姿を見ることがあるが、ハイタカはカラスに負けることなく、しぶとく逃げ回っている。しかしオオタカが同属のハイタカを捕食することがあるとのこと、猛禽類であっても厳しい世界に生きていることがわかる。

### ①万博公園探鳥会でのハイタカの観察頻度 → (平:万博公園探鳥会記録より)

ハイタカ(+オオタカ)の万博公園探鳥会での観察頻度は右図の通りである。

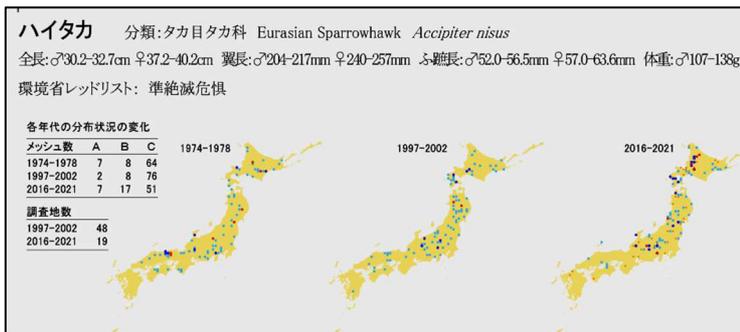
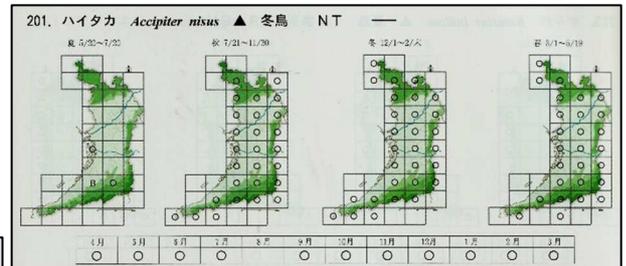


**オオタカ**は2007年～2014年に万博公園内で営巣・子育てをしたが、観察頻度は冬鳥として**ハイタカ**とあまり違いがないことは、一年中住んでいても園内で目立たないように生息しているためと推定している。

(オオタカの雌は繁殖期が終わると自由に移動しているため、万博公園にはいないと思われるが、雄は繁殖個所を守るため、一年中営巣地の近くにいる筈である。)

**②大阪府鳥類目録 2016: 日本野鳥の会大阪支部→**

右図では秋～春まで府内全域で確認されているが、繁殖記録はBランカーカ所のみ、2011年7月岸和田市で成鳥がヒナに餌を運ぶ姿が確認されたとのことである。



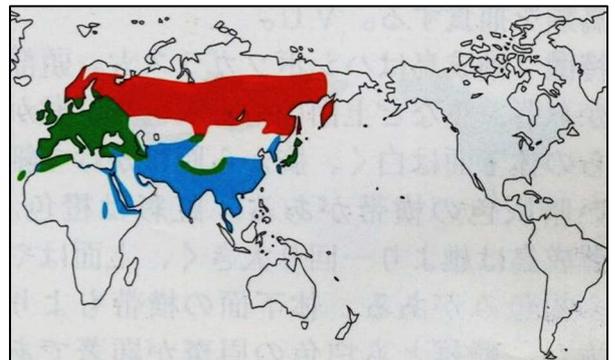
**← ③全国鳥類繁殖分布調査 鳥類繁殖分布調査会(2021年)**

全国での繁殖状況は左図の通り、記録メッシュ数には大きな変化はない。しかし1990年代と2010年代にほぼ同じコースを調査できた現地調査の記録をみても、48地点から19地点へと大きく減少している。

この原因として、ハイタカはオオタカに捕食されることがあり、オオタカを避けてより樹木密度の高い場所で繁殖していること、オオタカの分布拡大の影響で減少している可能性や日本の樹林の成熟化で、営巣適地が減っている可能性などが考えられる。分布域の南部(中部地方以南)では、記録されなくなった所が増えている。

**④世界の繁殖地・越冬地分布図 → 真木・大西「日本の野鳥 590」平凡社(2000年)**

- ハイタカの繁殖地・越冬地、
- ・繁殖地: ユーラシア大陸亜寒帯
  - ・繁殖・越冬地: 日本中北部・欧州
  - ・越冬地: 日本の南部～アジア熱帯地域



**Ⅱ 来月の万博公園探鳥会 2月8日(土)**

集合 9:30 自然文化園中央口 終了 15:00 頃 日本庭園内の予定

内容 今月資料のトップに書きましたが、万博公園探鳥会は1985年2月にスタートしましたので、1月で満40年、2月からは41年目入ります。これまで2月探鳥会で全員写真を撮ってきましたので、今年2月も全員写真を撮りたいと思っています。

12月後半から近畿北部。北陸の積雪が多くなっており、少なかった冬鳥が渡来し多くなっていると思います。ルリビタキやアトリなどに会いたいと思っています。

**参加ご希望の方 今月同様大阪支部 HP ホームズ様式からお申し込みください。**

ホームズでの申し込みが難しい方、平宛メール [g.0501.hi@gmail.com](mailto:g.0501.hi@gmail.com) への連絡でも OK。

## Ⅲ 先月 2024 年 12 月万博公園探鳥会結果

スタート時開園を待つときハイタカが飛び、その後もあわせ 3 羽、各 1 羽ずつであるがミサゴ・トビ・ノスリとタカの仲間を 4 種確認することができた。カモは万博公園としてはオカヨシガモが過去最大と思われる 27 羽も確認できたが、他はキンクロハジロ(1)・カルガモ(28)で 3 種に止まった。冬鳥で最もポピュラーなツグミの渡来が遅く 11 月探鳥会では見なかったが、今日は 25 羽確認することができ、シロハラ(3)・ジョウビタキ(8)・アトリ(5)・アオジ(2)と、ぼつぼつ渡来していることがわかった。前日の天気予報で雨確率が高かったことなどから、申し込んでくださっていた方から 7 人もの不参加連絡をいただいたが、スタート時点まで残っていた小雨が上がり探鳥会中は雨が降ることもなく、参加してくださった方には、35 種の鳥を楽しんでもらうことができた。

写真(橋本昌宗氏)



アトリ



ジョウビタキ



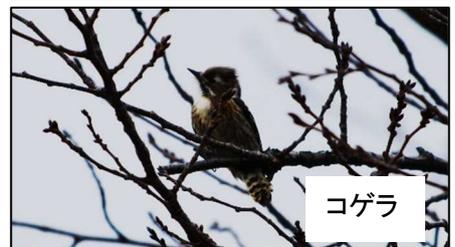
ツグミ



モズ



エナガ



コゲラ



カワセミ



オオバン



オカヨシガモ

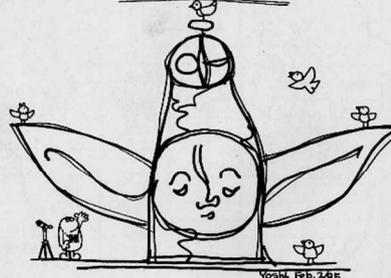
## Ⅳ 万博公園探鳥会 (第 1 回) 資料 →

万博公園探鳥会は、1985 年 2 月 16 日が第 1 回目の探鳥会でした。リーダーは塩田 猛さん、中野義弘さん(右資料作成)、平 軍二の 3 人でスタート、85 年 5 月からは黒田悦三さんにも入っていただき 4 人体制、その後も多数の方(30 人以上)にサポートしていただき、40 年間探鳥会を継続することができました。

### 万国博記念公園探鳥会

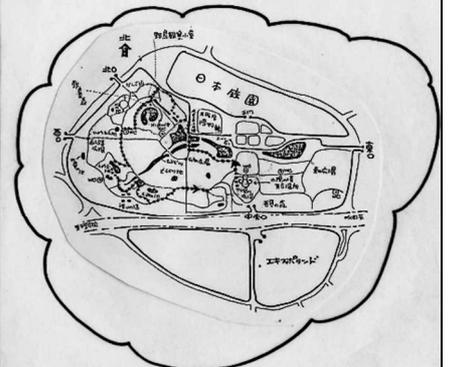
1985・2・16 (土)

日本野鳥の会大阪支部



1970 年開業された日本万博の跡地に造られた公園です。10 数年たった、樹木も繁り四季の花が咲き、素晴らしい公園になりました。今日は万博の 10 周年記念事業のひとつとして 1980 年に造られた、自然文化園内の野鳥の森を中心にバードウォッチングを楽しみます。

午後、時間があれば日本庭園にも行く予定ですと見えます。では、出発……



- 探鳥会で守ってほしいルール  
鳥の気持になつて観る。(静かに、そと)  
ゴミやタバコの灰捨て禁止。  
採取はしないで。そのまゝに。  
メジロのワッペンに誇りをもって。



# 万博公園探鳥会

2025年1月11日(土)  
 リーダー 田中宏・中筋好子・橋本昌宗・大矢麻由美  
 玉置こるり・平軍二(090-6901-1425)

## あけましておめでとうございます

万博公園探鳥会は昭和60(1985)年2月にスタートし、満40年となりました。この間、千里タイムズ紙には毎月万博公園探鳥会案内を掲載していただいたことで、千里ニュータウンを中心とする吹田市・豊中市など北摂にお住いの多数の方々に、野鳥とのふれあいを楽しんでもらうことができました。

本年も良き鳥・良き人との出会いを楽しみに、万博公園探鳥会を続けたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

### I 千里の鳥・万博の鳥「ハイタカ」

漢字名「灰鷹・鷲」 (写真 橋本昌宗氏)



「一富士二鷹三茄子(いちふじにたかさんなすび)」は、初夢に見ると縁起が良いとされています。今年最初の「千里の鳥・万博の鳥」は、昨年12月14日探鳥会で観察できたハイタカ、スタート前の開園を待つ人々に見守られて上空を舞うなど、3羽も観察できた。

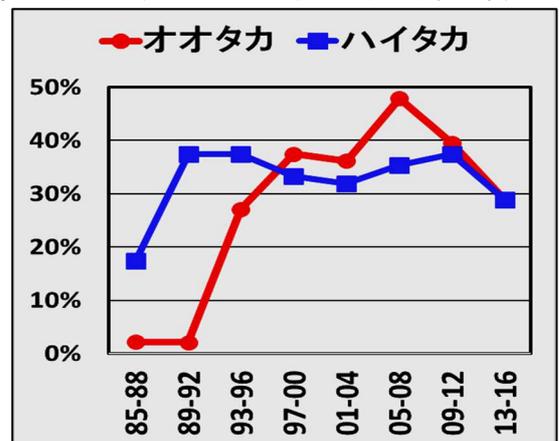
ハイタカの体長(嘴の先から尾羽の先端)は雄32cm、雌39cmで、キジバト33cmほどの小型のタカ、万博公園ではカワラヒワ・スズメ・ムクドリなどの小鳥類を餌にしていると思われる。

ハイタカは本州中部以北で繁殖しているが、大阪府内での繁殖記録がほとんど無く、春・秋の渡りの季節や冬鳥として観察されている。

万博公園では同属でハイタカより大きいオオタカが営巣・子育てをした年もあるが、その年でも冬になるとハイタカが渡来し、万博公園の上空を舞う姿を確認した。ハイタカ(やオオタカ)が飛ぶと、万博公園の主を自認しているカラスが群で追いかけることがあり、ハイタカは「ほうほうのていで逃げ回る」姿を見ることがあるが、ハイタカはカラスに負けることなく、しぶとく逃げ回っている。しかしオオタカが同属のハイタカを捕食することがあるとのこと、猛禽類であっても厳しい世界に生きていることがわかる。

### ①万博公園探鳥会でのハイタカの観察頻度 → (平:万博公園探鳥会記録より)

ハイタカ(+オオタカ)の万博公園探鳥会での観察頻度は右図の通りである。

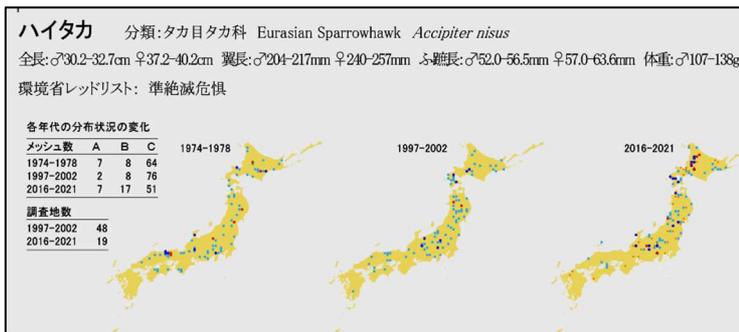
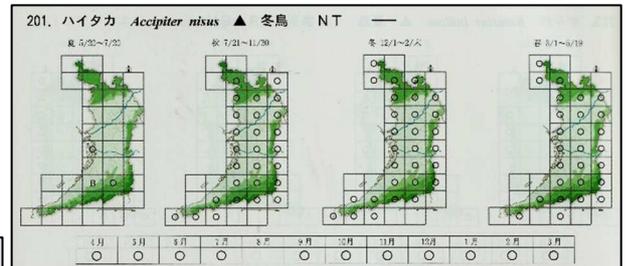


**オオタカ**は2007年～2014年に万博公園内で営巣・子育てをしたが、観察頻度は冬鳥として**ハイタカ**とあまり違いがないことは、一年中住んでいても園内で目立たないように生息しているためと推定している。

(オオタカの雌は繁殖期が終わると自由に移動しているため、万博公園にはいないと思われるが、雄は繁殖個所を守るため、一年中営巣地の近くにいる筈である。)

**②大阪府鳥類目録 2016: 日本野鳥の会大阪支部→**

右図では秋～春まで府内全域で確認されているが、繁殖記録はBランクーカ所のみ、2011年7月岸和田市で成鳥がヒナに餌を運ぶ姿が確認されたとのことである。



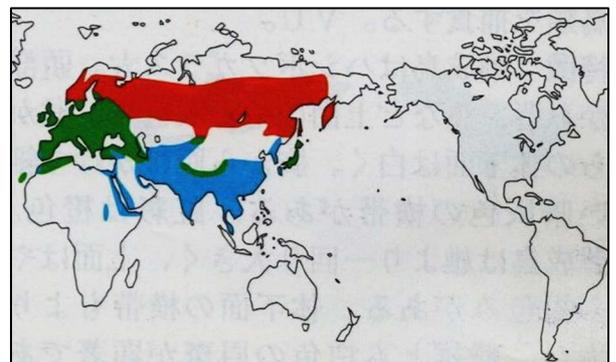
**← ③全国鳥類繁殖分布調査 鳥類繁殖分布調査会(2021年)**

全国での繁殖状況は左図の通り、記録メッシュ数には大きな変化はない。しかし1990年代と2010年代にほぼ同じコースを調査できた現地調査の記録をみても、48地点から19地点へと大きく減少している。

この原因として、ハイタカはオオタカに捕食されることがあり、オオタカを避けてより樹木密度の高い場所で繁殖していること、オオタカの分布拡大の影響で減少している可能性や日本の樹林の成熟化で、営巣適地が減っている可能性などが考えられる。分布域の南部(中部地方以南)では、記録されなくなった所が増えている。

**④世界の繁殖地・越冬地分布図 → 真木・大西「日本の野鳥 590」平凡社(2000年)**

- ハイタカの繁殖地・越冬地、
- ・繁殖地: ユーラシア大陸亜寒帯
  - ・繁殖・越冬地 日本中北部・欧州
  - ・越冬地: 日本の南部～アジア熱帯地域



**Ⅱ 来月の万博公園探鳥会 2月8日(土)**

集合 9:30 自然文化園中央口 終了 15:00 頃 日本庭園内の予定

内容 今月資料のトップに書きましたが、万博公園探鳥会は1985年2月にスタートしましたので、1月で満40年、2月からは41年目入ります。これまで2月探鳥会で全員写真を撮ってきましたので、今年2月も全員写真を撮りたいと思っています。

12月後半から近畿北部。北陸の積雪が多くなっており、少なかった冬鳥が渡来し多くなっていると思います。ルリビタキやアトリなどに会いたいと思っています。

**参加ご希望の方 今月同様大阪支部 HP ホームズ様式からお申し込みください。**

ホームズでの申し込みが難しい方、平宛メール [g.0501.hi@gmail.com](mailto:g.0501.hi@gmail.com) への連絡でも OK。

## Ⅲ 先月 2024 年 12 月万博公園探鳥会結果

スタート時開園を待つときハイタカが飛び、その後もあわせ 3 羽、各 1 羽ずつであるがミサゴ・トビ・ノスリとタカの仲間を 4 種確認することができた。カモは万博公園としてはオカヨシガモが過去最大と思われる 27 羽も確認できたが、他はキンクロハジロ(1)・カルガモ(28)で 3 種に止まった。冬鳥で最もポピュラーなツグミの渡来が遅く 11 月探鳥会では見なかったが、今日は 25 羽確認することができ、シロハラ(3)・ジョウビタキ(8)・アトリ(5)・アオジ(2)と、ぼつぼつ渡来していることがわかった。前日の天気予報で雨確率が高かったことなどから、申し込んでくださっていた方から 7 人もの不参加連絡をいただいたが、スタート時点まで残っていた小雨が上がり探鳥会中は雨が降ることもなく、参加してくださった方には、35 種の鳥を楽しんでもらうことができた。

写真(橋本昌宗氏)



アトリ



ジョウビタキ



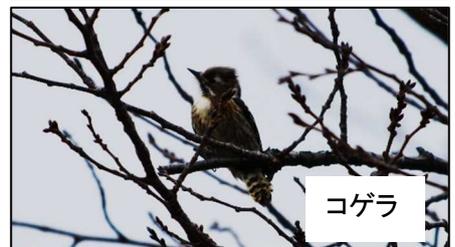
ツグミ



モズ



エナガ



コゲラ



カワセミ



オオバン



オカヨシガモ

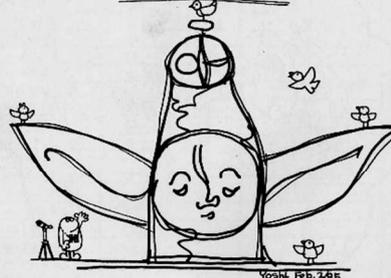
## Ⅳ 万博公園探鳥会 (第 1 回) 資料 →

万博公園探鳥会は、1985 年 2 月 16 日が第 1 回目の探鳥会でした。リーダーは塩田 猛さん、中野義弘さん(右資料作成)、平 軍二の 3 人でスタート、85 年 5 月からは黒田悦三さんにも入っていただき 4 人体制、その後も多数の方(30 人以上)にサポートしていただき、40 年間探鳥会を継続することができました。

### 万国博記念公園探鳥会

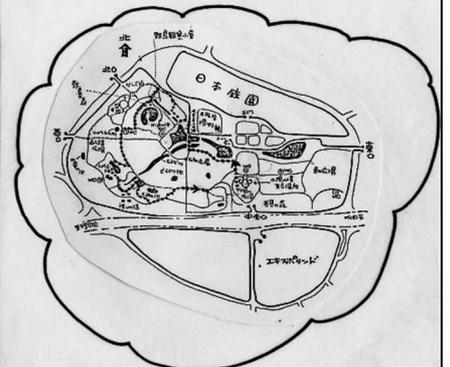
1985・2・16 (土)

日本野鳥の会大阪支部



1970 年開催された日本万博の跡地に造られた公園です。10 数年たった、樹木も繁り四季の花が咲き、素晴らしい公園になりました。今日は万博の 10 周年記念事業のひとつとして 1980 年に造られた、自然文化園内の野鳥の森を中心にバードウォッチングを楽しみます。

午後、時間があれば日本庭園にも行く予定ですと見えます。では、出発……



- 探鳥会で守ってほしいルール  
鳥の気持になつて観る。(静かに、そと)  
ゴミやタバコのポイ捨て禁止。  
採取はしないで。そのまゝに。  
メジロのワッペンに誇りをもって。



# 万博公園探鳥会

2025年1月11日(土)  
 リーダー 田中宏・中筋好子・橋本昌宗・大矢麻由美  
 玉置こるり・平軍二(090-6901-1425)

## あけましておめでとうございます

万博公園探鳥会は昭和60(1985)年2月にスタートし、満40年となりました。この間、千里タイムズ紙には毎月万博公園探鳥会案内を掲載していただいたことで、千里ニュータウンを中心とする吹田市・豊中市など北摂にお住いの多数の方々に、野鳥とのふれあいを楽しんでもらうことができました。

本年も良き鳥・良き人との出会いを楽しみに、万博公園探鳥会を続けたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

### I 千里の鳥・万博の鳥「ハイタカ」

漢字名「灰鷹・鷯」 (写真 橋本昌宗氏)



「一富士二鷹三茄子(いちふじにたかさんなすび)」は、初夢に見ると縁起が良いとされています。今年最初の「千里の鳥・万博の鳥」は、昨年12月14日探鳥会で観察できたハイタカ、スタート前の開園を待つ人々に見守られて上空を舞うなど、3羽も観察できた。

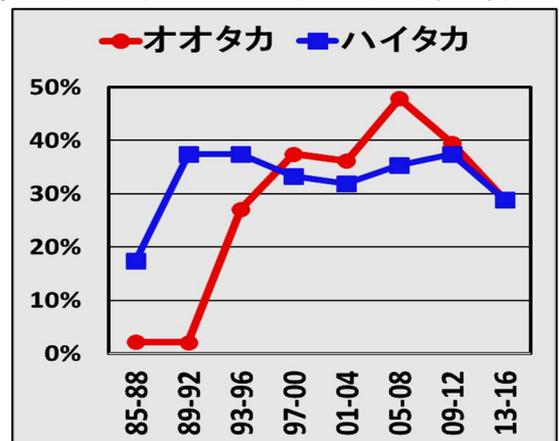
ハイタカの体長(嘴の先から尾羽の先端)は雄32cm、雌39cmで、キジバト33cmほどの小型のタカ、万博公園ではカワラヒワ・スズメ・ムクドリなどの小鳥類を餌にしていると思われる。

ハイタカは本州中部以北で繁殖しているが、大阪府内での繁殖記録がほとんど無く、春・秋の渡りの季節や冬鳥として観察されている。

万博公園では同属でハイタカより大きいオオタカが営巣・子育てをした年もあるが、その年でも冬になるとハイタカが渡来し、万博公園の上空を舞う姿を確認した。ハイタカ(やオオタカ)が飛ぶと、万博公園の主を自認しているカラスが群で追いかけることがあり、ハイタカは「ほうほうのていで逃げ回る」姿を見ることがあるが、ハイタカはカラスに負けることなく、しぶとく逃げ回っている。しかしオオタカが同属のハイタカを捕食することがあるとのこと、猛禽類であっても厳しい世界に生きていることがわかる。

### ①万博公園探鳥会でのハイタカの観察頻度 → (平:万博公園探鳥会記録より)

ハイタカ(+オオタカ)の万博公園探鳥会での観察頻度は右図の通りである。

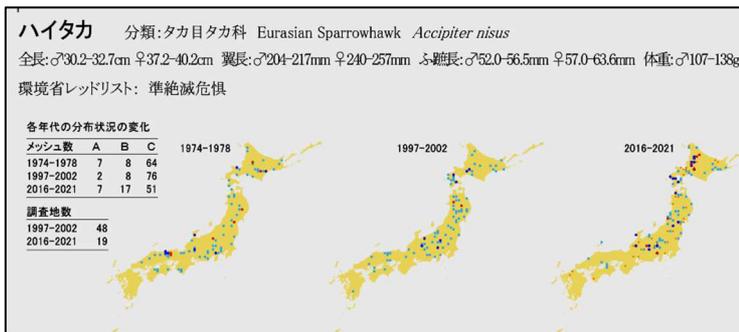
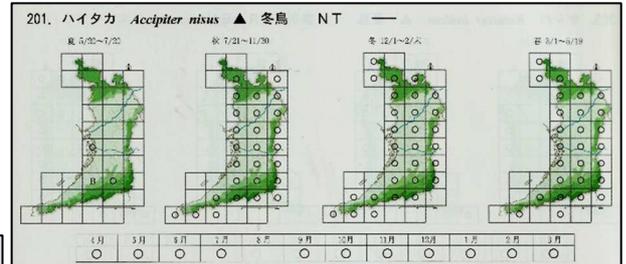


**オオタカ**は2007年～2014年に万博公園内で営巣・子育てをしたが、観察頻度は冬鳥として**ハイタカ**とあまり違いがないことは、一年中住んでいても園内で目立たないように生息しているためと推定している。

(オオタカの雌は繁殖期が終わると自由に移動しているため、万博公園にはいないと思われるが、雄は繁殖個所を守るため、一年中営巣地の近くにいる筈である。)

**②大阪府鳥類目録 2016: 日本野鳥の会大阪支部→**

右図では秋～春まで府内全域で確認されているが、繁殖記録はBランカーカ所のみ、2011年7月岸和田市で成鳥がヒナに餌を運ぶ姿が確認されたとのことである。



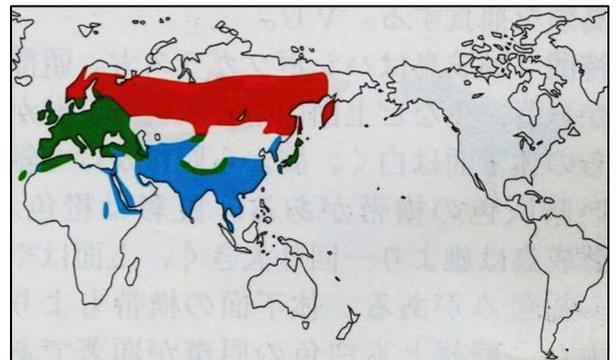
**← ③全国鳥類繁殖分布調査 鳥類繁殖分布調査会(2021年)**

全国での繁殖状況は左図の通り、記録メッシュ数には大きな変化はない。しかし1990年代と2010年代にほぼ同じコースを調査できた現地調査の記録をみても、48地点から19地点へと大きく減少している。

この原因として、ハイタカはオオタカに捕食されることがあり、オオタカを避けてより樹木密度の高い場所で繁殖していること、オオタカの分布拡大の影響で減少している可能性や日本の樹林の成熟化で、営巣適地が減っている可能性などが考えられる。分布域の南部(中部地方以南)では、記録されなくなった所が増えている。

**④世界の繁殖地・越冬地分布図 → 真木・大西「日本の野鳥 590」平凡社(2000年)**

- ハイタカの繁殖地・越冬地、
- ・繁殖地: ユーラシア大陸亜寒帯
  - ・繁殖・越冬地 日本中北部・欧州
  - ・越冬地: 日本の南部～アジア熱帯地域



**Ⅱ 来月の万博公園探鳥会 2月8日(土)**

集合 9:30 自然文化園中央口 終了 15:00 頃 日本庭園内の予定

内容 今月資料のトップに書きましたが、万博公園探鳥会は1985年2月にスタートしましたので、1月で満40年、2月からは41年目入ります。これまで2月探鳥会で全員写真を撮ってきましたので、今年2月も全員写真を撮りたいと思っています。

12月後半から近畿北部。北陸の積雪が多くなっており、少なかった冬鳥が渡来し多くなっていると思います。ルリビタキやアトリなどに会いたいと思っています。

**参加ご希望の方 今月同様大阪支部 HP ホームズ様式からお申し込みください。**

ホームズでの申し込みが難しい方、平宛メール [g.0501.hi@gmail.com](mailto:g.0501.hi@gmail.com) への連絡でも OK。

## Ⅲ 先月 2024 年 12 月万博公園探鳥会結果

スタート時開園を待つときハイタカが飛び、その後もあわせ 3 羽、各 1 羽ずつであるがミサゴ・トビ・ノスリとタカの仲間を 4 種確認することができた。カモは万博公園としてはオカヨシガモが過去最大と思われる 27 羽も確認できたが、他はキンクロハジロ(1)・カルガモ(28)で 3 種に止まった。冬鳥で最もポピュラーなツグミの渡来が遅く 11 月探鳥会では見なかったが、今日は 25 羽確認することができ、シロハラ(3)・ジョウビタキ(8)・アトリ(5)・アオジ(2)と、ぼつぼつ渡来していることがわかった。前日の天気予報で雨確率が高かったことなどから、申し込んでくださっていた方から 7 人もの不参加連絡をいただいたが、スタート時点まで残っていた小雨が上がり探鳥会中は雨が降ることもなく、参加してくださった方には、35 種の鳥を楽しんでもらうことができた。

写真(橋本昌宗氏)



アトリ



ジョウビタキ



ツグミ



モズ



エナガ



コゲラ



カワセミ



オオバン



オカヨシガモ

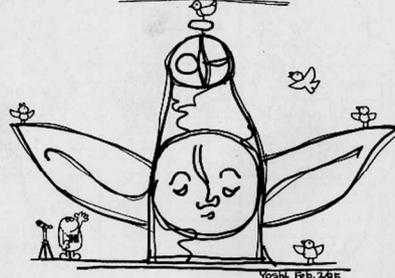
## Ⅳ 万博公園探鳥会 (第 1 回) 資料 →

万博公園探鳥会は、1985 年 2 月 16 日が第 1 回目の探鳥会でした。リーダーは塩田 猛さん、中野義弘さん(右資料作成)、平 軍二の 3 人でスタート、85 年 5 月からは黒田悦三さんにも入っていただき 4 人体制、その後も多数の方(30 人以上)にサポートしていただき、40 年間探鳥会を継続することができました。

### 万国博記念公園探鳥会

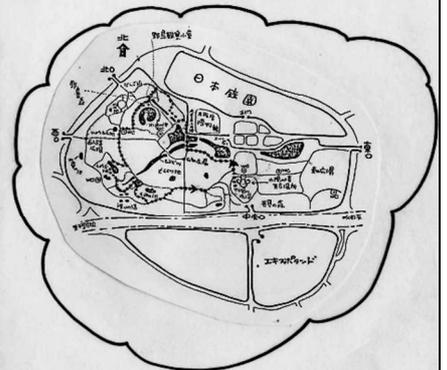
1985・2・16 (土)

日本野鳥の会大阪支部



1970 年開業された日本万博の跡地に造られた公園です。10 数年たった、樹木も繁り四季の花が咲き、素晴らしい公園になりました。今日は万博の 10 周年記念事業のひとつとして 1980 年に造られた、自然文化園内の野鳥の森を中心にバードウォッチングを楽しみます。

午後、時間があれば日本庭園にも行く予定です  
と見えます。  
では、出発……



- 探鳥会で守ってほしいルール  
鳥の気持になつて観る。(静かに、そと)  
ゴミやタバコの灰捨て禁止。  
採取はしないで。そのまゝに。  
メジロのワッペンに誇りをもって。



# 万博公園探鳥会

2025年1月11日(土)  
 リーダー 田中宏・中筋好子・橋本昌宗・大矢麻由美  
 玉置こるり・平軍二(090-6901-1425)

## あけましておめでとうございます

万博公園探鳥会は昭和60(1985)年2月にスタートし、満40年となりました。この間、千里タイムズ紙には毎月万博公園探鳥会案内を掲載していただいたことで、千里ニュータウンを中心とする吹田市・豊中市など北摂にお住いの多数の方々に、野鳥とのふれあいを楽しんでもらうことができました。

本年も良き鳥・良き人との出会いを楽しみに、万博公園探鳥会を続けたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

### I 千里の鳥・万博の鳥「ハイタカ」

漢字名「灰鷹・鷯」 (写真 橋本昌宗氏)



「一富士二鷹三茄子(いちふじにたかさんなすび)」は、初夢に見ると縁起が良いとされています。今年最初の「千里の鳥・万博の鳥」は、昨年12月14日探鳥会で観察できたハイタカ、スタート前の開園を待つ人々に見守られて上空を舞うなど、3羽も観察できた。

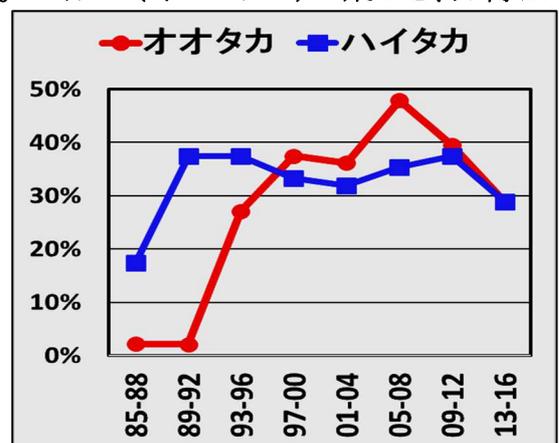
ハイタカの体長(嘴の先から尾羽の先端)は雄32cm、雌39cmで、キジバト33cmほどの小型のタカ、万博公園ではカワラヒワ・スズメ・ムクドリなどの小鳥類を餌にしていると思われる。

ハイタカは本州中部以北で繁殖しているが、大阪府内での繁殖記録がほとんど無く、春・秋の渡りの季節や冬鳥として観察されている。

万博公園では同属でハイタカより大きいオオタカが営巣・子育てをした年もあるが、その年でも冬になるとハイタカが渡来し、万博公園の上空を舞う姿を確認した。ハイタカ(やオオタカ)が飛ぶと、万博公園の主を自認しているカラスが群で追いかけることがあり、ハイタカは「ほうほうのていで逃げ回る」姿を見ることがあるが、ハイタカはカラスに負けることなく、しぶとく逃げ回っている。しかしオオタカが同属のハイタカを捕食することがあるとのこと、猛禽類であっても厳しい世界に生きていることがわかる。

### ①万博公園探鳥会でのハイタカの観察頻度 → (平:万博公園探鳥会記録より)

ハイタカ(+オオタカ)の万博公園探鳥会での観察頻度は右図の通りである。

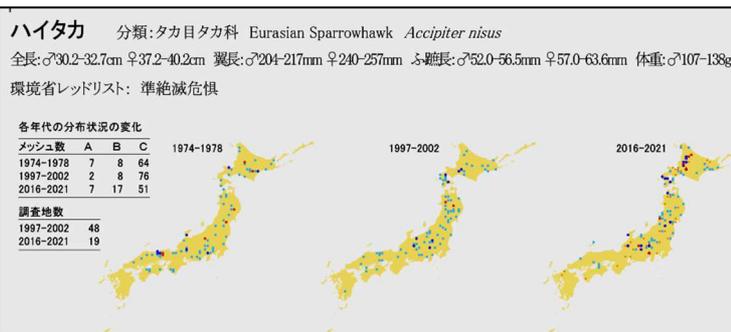
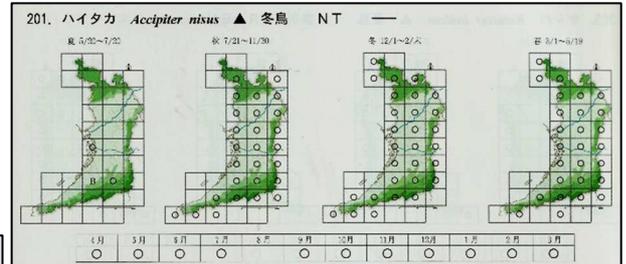


**オオタカ**は2007年～2014年に万博公園内で営巣・子育てをしたが、観察頻度は冬鳥として**ハイタカ**とあまり違いがないことは、一年中住んでいても園内で目立たないように生息しているためと推定している。

(オオタカの雌は繁殖期が終わると自由に移動しているため、万博公園にはいないと思われるが、雄は繁殖個所を守るため、一年中営巣地の近くにいる筈である。)

**②大阪府鳥類目録 2016: 日本野鳥の会大阪支部→**

右図では秋～春まで府内全域で確認されているが、繁殖記録はBランクーカ所のみ、2011年7月岸和田市で成鳥がヒナに餌を運ぶ姿が確認されたとのことである。



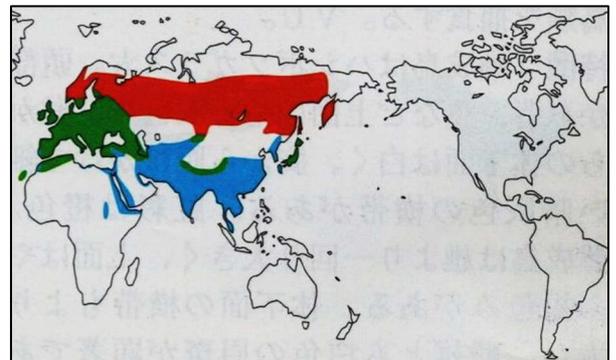
**← ③全国鳥類繁殖分布調査 鳥類繁殖分布調査会(2021年)**

全国での繁殖状況は左図の通り、記録メッシュ数には大きな変化はない。しかし1990年代と2010年代にほぼ同じコースを調査できた現地調査の記録をみても、48地点から19地点へと大きく減少している。

この原因として、ハイタカはオオタカに捕食されることがあり、オオタカを避けてより樹木密度の高い場所で繁殖していること、オオタカの分布拡大の影響で減少している可能性や日本の樹林の成熟化で、営巣適地が減っている可能性などが考えられる。分布域の南部(中部地方以南)では、記録されなくなった所が増えている。

**④世界の繁殖地・越冬地分布図 → 真木・大西「日本の野鳥 590」平凡社(2000年)**

- ハイタカの繁殖地・越冬地、
- ・繁殖地: ユーラシア大陸亜寒帯
  - ・繁殖・越冬地: 日本中北部・欧州
  - ・越冬地: 日本の南部～アジア熱帯地域



**Ⅱ 来月の万博公園探鳥会 2月8日(土)**

集合 9:30 自然文化園中央口 終了 15:00 頃 日本庭園内の予定

内容 今月資料のトップに書きましたが、万博公園探鳥会は1985年2月にスタートしましたので、1月で満40年、2月からは41年目入ります。これまで2月探鳥会で全員写真を撮ってきましたので、今年2月も全員写真を撮りたいと思っています。

12月後半から近畿北部。北陸の積雪が多くなっており、少なかった冬鳥が渡来し多くなっていると思います。ルリビタキやアトリなどに会いたいと思っています。

**参加ご希望の方 今月同様大阪支部 HP ホームズ様式からお申し込みください。**

ホームズでの申し込みが難しい方、平宛メール [g.0501.hi@gmail.com](mailto:g.0501.hi@gmail.com) への連絡でも OK。

## Ⅲ 先月 2024 年 12 月万博公園探鳥会結果

スタート時開園を待つときハイタカが飛び、その後もあわせ 3 羽、各 1 羽ずつであるがミサゴ・トビ・ノスリとタカの仲間を 4 種確認することができた。カモは万博公園としてはオカヨシガモが過去最大と思われる 27 羽も確認できたが、他はキンクロハジロ(1)・カルガモ(28)で 3 種に止まった。冬鳥で最もポピュラーなツグミの渡来が遅く 11 月探鳥会では見なかったが、今日は 25 羽確認することができ、シロハラ(3)・ジョウビタキ(8)・アトリ(5)・アオジ(2)と、ぼつぼつ渡来していることがわかった。前日の天気予報で雨確率が高かったことなどから、申し込んでくださっていた方から 7 人もの不参加連絡をいただいたが、スタート時点まで残っていた小雨が上がり探鳥会中は雨が降ることもなく、参加してくださった方には、35 種の鳥を楽しんでもらうことができた。

写真(橋本昌宗氏)



アトリ



ジョウビタキ



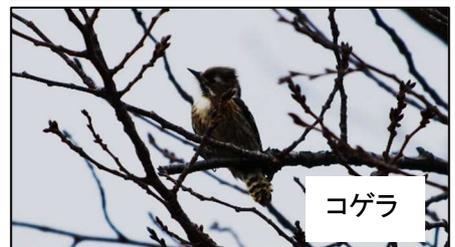
ツグミ



モズ



エナガ



コゲラ



カワセミ



オオバン



オカヨシガモ

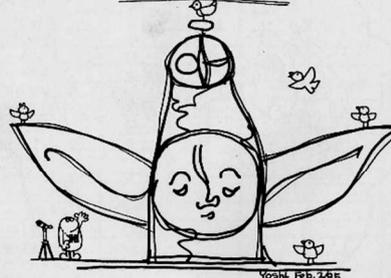
## Ⅳ 万博公園探鳥会 (第 1 回) 資料 →

万博公園探鳥会は、1985 年 2 月 16 日が第 1 回目の探鳥会でした。リーダーは塩田 猛さん、中野義弘さん(右資料作成)、平 軍二の 3 人でスタート、85 年 5 月からは黒田悦三さんにも入っていただき 4 人体制、その後も多数の方(30 人以上)にサポートしていただき、40 年間探鳥会を継続することができました。

### 万国博記念公園探鳥会

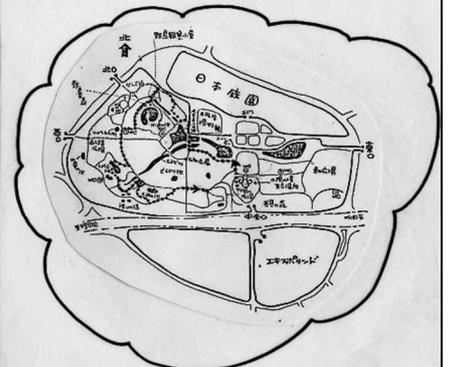
1985・2・16(土)

日本野鳥の会大阪支部



1970 年開催された日本万博の跡地に造られた公園です。10 数年たった、樹木も繁り四季の花が咲き、素晴らしい公園になりました。今日は万博の 10 周年記念事業のひとつとして 1980 年に造られた、自然文化園内の野鳥の森を中心にバードウォッチングを楽しみます。

午後、時間があれば日本庭園にも行く予定ですと見えます。では、出発……



- 探鳥会で守ってほしいルール  
鳥の気持になつて観る。(静かに、そと)  
ゴミやタバコの灰捨て禁止。  
採取はしないで。そのまゝに。  
メジロのワッペンに誇りをもって。



# 万博公園探鳥会

2025年1月11日(土)  
 リーダー 田中宏・中筋好子・橋本昌宗・大矢麻由美  
 玉置こるり・平軍二(090-6901-1425)

## あけましておめでとうございます

万博公園探鳥会は昭和60(1985)年2月にスタートし、満40年となりました。この間、千里タイムズ紙には毎月万博公園探鳥会案内を掲載していただいたことで、千里ニュータウンを中心とする吹田市・豊中市など北摂にお住いの多数の方々に、野鳥とのふれあいを楽しんでもらうことができました。

本年も良き鳥・良き人との出会いを楽しみに、万博公園探鳥会を続けたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

### I 千里の鳥・万博の鳥「ハイタカ」

漢字名「灰鷹・鷲」 (写真 橋本昌宗氏)



「一富士二鷹三茄子(いちふじにたかさんなすび)」は、初夢に見ると縁起が良いとされています。今年最初の「千里の鳥・万博の鳥」は、昨年12月14日探鳥会で観察できたハイタカ、スタート前の開園を待つ人々に見守られて上空を舞うなど、3羽も観察できた。

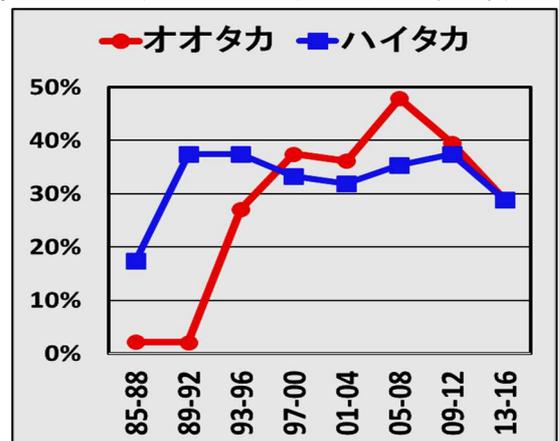
ハイタカの体長(嘴の先から尾羽の先端)は雄32cm、雌39cmで、キジバト33cmほどの小型のタカ、万博公園ではカワラヒワ・スズメ・ムクドリなどの小鳥類を餌にしていると思われる。

ハイタカは本州中部以北で繁殖しているが、大阪府内での繁殖記録がほとんど無く、春・秋の渡りの季節や冬鳥として観察されている。

万博公園では同属でハイタカより大きいオオタカが営巣・子育てをした年もあるが、その年でも冬になるとハイタカが渡来し、万博公園の上空を舞う姿を確認した。ハイタカ(やオオタカ)が飛ぶと、万博公園の主を自認しているカラスが群で追いかけることがあり、ハイタカは「ほうほうのていで逃げ回る」姿を見ることがあるが、ハイタカはカラスに負けることなく、しぶとく逃げ回っている。しかしオオタカが同属のハイタカを捕食することがあるとのこと、猛禽類であっても厳しい世界に生きていることがわかる。

### ①万博公園探鳥会でのハイタカの観察頻度 → (平:万博公園探鳥会記録より)

ハイタカ(+オオタカ)の万博公園探鳥会での観察頻度は右図の通りである。

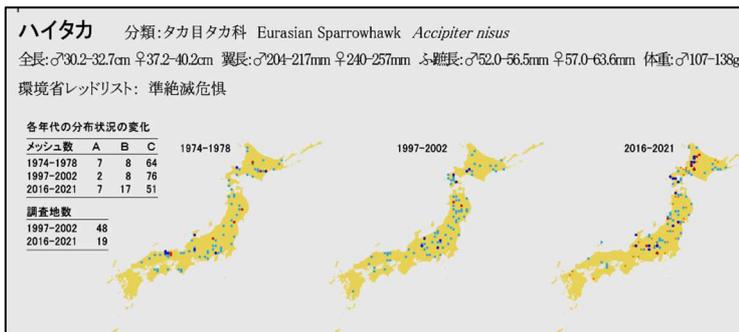
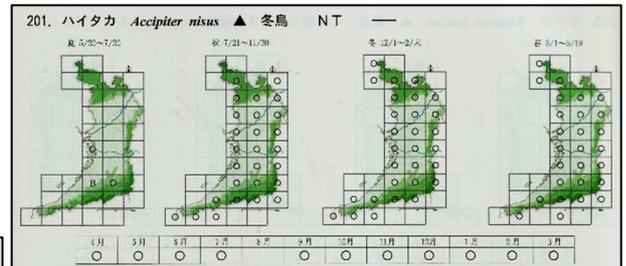


**オオタカ**は2007年～2014年に万博公園内で営巣・子育てをしたが、観察頻度は冬鳥として**ハイタカ**とあまり違いがないことは、一年中住んでいても園内で目立たないように生息しているためと推定している。

(オオタカの雌は繁殖期が終わると自由に移動しているため、万博公園にはいないと思われるが、雄は繁殖個所を守るため、一年中営巣地の近くにいる筈である。)

**②大阪府鳥類目録 2016: 日本野鳥の会大阪支部→**

右図では秋～春まで府内全域で確認されているが、繁殖記録はBランクーカ所のみ、2011年7月岸和田市で成鳥がヒナに餌を運ぶ姿が確認されたとのことである。



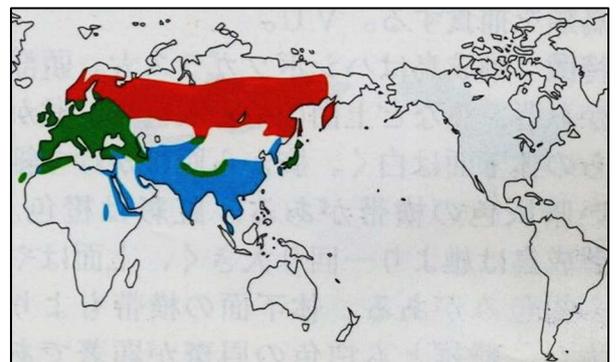
**← ③全国鳥類繁殖分布調査 鳥類繁殖分布調査会(2021年)**

全国での繁殖状況は左図の通り、記録メッシュ数には大きな変化はない。しかし1990年代と2010年代にほぼ同じコースを調査できた現地調査の記録をみても、48地点から19地点へと大きく減少している。

この原因として、ハイタカはオオタカに捕食されることがあり、オオタカを避けてより樹木密度の高い場所で繁殖していること、オオタカの分布拡大の影響で減少している可能性や日本の樹林の成熟化で、営巣適地が減っている可能性などが考えられる。分布域の南部(中部地方以南)では、記録されなくなった所が増えている。

**④世界の繁殖地・越冬地分布図 → 真木・大西「日本の野鳥 590」平凡社(2000年)**

- ハイタカの繁殖地・越冬地、
- ・繁殖地: ユーラシア大陸亜寒帯
  - ・繁殖・越冬地 日本中北部・欧州
  - ・越冬地: 日本の南部～アジア熱帯地域



**Ⅱ 来月の万博公園探鳥会 2月8日(土)**

集合 9:30 自然文化園中央口 終了 15:00 頃 日本庭園内の予定

内容 今月資料のトップに書きましたが、万博公園探鳥会は1985年2月にスタートしましたので、1月で満40年、2月からは41年目入ります。これまで2月探鳥会で全員写真を撮ってきましたので、今年2月も全員写真を撮りたいと思っています。

12月後半から近畿北部。北陸の積雪が多くなっており、少なかった冬鳥が渡来し多くなっていると思います。ルリビタキやアトリなどに会いたいと思っています。

**参加ご希望の方 今月同様大阪支部 HP ホームズ様式からお申し込みください。**

ホームズでの申し込みが難しい方、平宛メール [g.0501.hi@gmail.com](mailto:g.0501.hi@gmail.com) への連絡でも OK。

## Ⅲ 先月 2024 年 12 月万博公園探鳥会結果

スタート時開園を待つときハイタカが飛び、その後もあわせ 3 羽、各 1 羽ずつであるがミサゴ・トビ・ノスリとタカの仲間を 4 種確認することができた。カモは万博公園としてはオカヨシガモが過去最大と思われる 27 羽も確認できたが、他はキンクロハジロ(1)・カルガモ(28)で 3 種に止まった。冬鳥で最もポピュラーなツグミの渡来が遅く 11 月探鳥会では見なかったが、今日は 25 羽確認することができ、シロハラ(3)・ジョウビタキ(8)・アトリ(5)・アオジ(2)と、ぼつぼつ渡来していることがわかった。前日の天気予報で雨確率が高かったことなどから、申し込んでくださっていた方から 7 人もの不参加連絡をいただいたが、スタート時点まで残っていた小雨が上がり探鳥会中は雨が降ることもなく、参加してくださった方には、35 種の鳥を楽しんでもらうことができた。

写真(橋本昌宗氏)



アトリ



ジョウビタキ



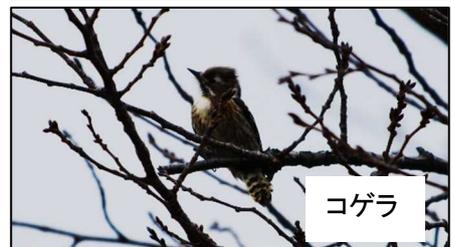
ツグミ



モズ



エナガ



コゲラ



カワセミ



オオバン



オカヨシガモ

## Ⅳ 万博公園探鳥会 (第 1 回) 資料 →

万博公園探鳥会は、1985 年 2 月 16 日が第 1 回目の探鳥会でした。リーダーは塩田 猛さん、中野義弘さん(右資料作成)、平 軍二の 3 人でスタート、85 年 5 月からは黒田悦三さんにも入っていただき 4 人体制、その後も多数の方(30 人以上)にサポートしていただき、40 年間探鳥会を継続することができました。

### 万国博記念公園探鳥会

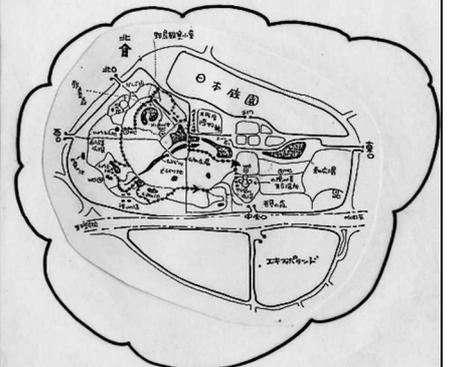
1985・2・16 (土)

日本野鳥の会大阪支部



1970 年開催された日本万博の跡地に造られた公園です。10 数年たった、樹木も繁り四季の花が咲き、素晴らしい公園になりました。今日は万博の 10 周年記念事業のひとつとして 1980 年に造られた、自然文化園内の野鳥の森を中心にバードウォッチングを楽しみます。

午後、時間があれば日本庭園にも行ってみようと思います。  
では、出発……



- 探鳥会で守ってほしいルール  
鳥の気持になつて観る。(静かに、そと)  
ゴミやタバコのポイ捨て禁止。  
採取はしないで。そのまゝに。  
メジロのワッペンに誇りをもって。

# V 万博公園探鳥会観察種 チェックリスト

万博 NO	大阪 NO	種名	2024											2025											大阪 NO
			1 13	2 10	3 9	4 13	5 11	11 9	12 14	1 11	2 8	3 8	4 12	5 10	1 11	2 8	3 8	4 12	5 10						
1	24	オシドリ	2	2	25																			24	
2	26	オカヨシガモ																							26
3	27	ヨシガモ																							27
4	28	ヒドリガモ																							28
5	30	マガモ	2			2																			30
6	32	カルガモ	32	26	28	9	16	4	28																32
7	35	オナガガモ																							35
8	38	コガモ																							38
9	42	ホシハジロ			1																				42
10	46	キンクロハジロ	1	2																					46
11	58	ミコアイサ																							58
12	62	カイツブリ	4	7	1	3	5	8	3																62
13	74	キジバト	5	1	4	8	4	3	6																74
14	78	アオバト		5	1																				78
15	127	カワウ	3	6		8	7	1																	127
16	139	ゴイサギ																							139
17	144	アオサギ	2	1	2	1	1	1	1																144
18	146	ダイサギ		1	1																				146
19	148	コサギ		5	2	3																			148
20	166	クイナ																							166
21	174	バン																							174
22	175	オオバン								1	5														175
23	187	ツツドリ																							187
24	192	アマツバメ																							192
25	195	ケリ																							195
26	202	イカルチドリ																							202
27	203	コチドリ																							203
28	219	タシギ	2	2	2	2																			219
29	244	イソシギ																							244
30	286	ユリカモメ																							286
31	339	ミサゴ	1	1																					339
32	340	ハチクマ																							340
33	342	トビ		1						2															342
34	354	ツミ																							354
35	355	ハイタカ	3	1	1																				355
36	356	オオタカ	1	4																					356
37	357	サシバ																							357
38	358	ノスリ			1	1																			358
39	383	カワセミ	4	2	6	1	3	4	6																383
40	388	アリスイ																							388
41	390	コゲラ	5	5	2	5	2	3	4																390
42	401	チョウゲンボウ		1	1	1																			401
43	407	ハヤブサ																							407
44	412	サンショウクイ																							412
45	418	サンコウチョウ																							418
46	420	モズ	2	1	1					3	1														420
47	435	ハシボソガラス	15	7	5	13	15	9	21																435
48	436	ハシブトガラス	32	38	48	34	48	57	54																436
49	442	ヤマガラ	4	8	2	2	2	8	3																442
50	445	シジュウカラ	14	18	17	23	17	12	14																445
51	457	ツバメ				6	27																		457
52	459	コシアカツバメ					3																		459
52	463	ヒヨドリ	67	52	26	13	12	67	98																463
53	464	ウグイス	2	1	5	11	6	3	3																464
54	465	ヤブサメ																							465
55	466	エナガ	8	9	6	2	6	18	11																466
56	476	オオムシクイ																							476
57	477	メボソムシクイ																							477
58	479	エゾムシクイ																							479
59	480	センダイムシクイ												1											480
60	485	メジロ	6	4	7	8	11	16	8																485
61	492	オオヨシキリ																							492
62	501	ヒレンジャク																							501
63	506	ムクドリ	14	2	1	4	14		14																506
64	508	コムクドリ																							508
65	514	トラツグミ			1																				514
66	521	シロハラ	1	3	4	8		2	3																521
67	522	アカハラ				3		1																	522
68	525	ツグミ	136	3	44	35		25																	525
69	530	コマドリ																							530
70	536	ルリビタキ			1																				536
71	540	ジョウビタキ	7	3	5	1		11	8																540
72	542	ノビタキ																							542
73	549	イソヒヨドリ		1	1				2																549
74	552	エゾビタキ																							552
75	554	コサメビタキ						2																	554
76	558	キビタキ						1	1																558
77	561	オオルリ																							561
78	568	ニュウナイスズメ						11																	568
79	569	スズメ	31	32	4	21	23	57	28																569
80	573	キセキレイ						1																	573
81	574	ハクセキレイ	16	12	15	9	6	17	21																574
82	575	セグロセキレイ	4	2		1		1	1																575
83	580	ピンズイ																							580
84	584	タヒバリ																							584
85	586	アトリ	18	31	32	2		5																	586
86	587	カワラヒワ	81	97	65	10	15	1	19																587
87	600	シメ	8			2																			600
88	602	イカル						3	4																602
89	610	ホオジロ																							610
90	617	カシラダカ																							617
91	624	アオジ	2		2	2		3	2																624
92		ドバト	○	○		○	○	○	○																

# 万博公園探鳥会

2025年1月11日(土)  
 リーダー 田中宏・中筋好子・橋本昌宗・大矢麻由美  
 玉置こるり・平軍二(090-6901-1425)

## あけましておめでとうございます

万博公園探鳥会は昭和60(1985)年2月にスタートし、満40年となりました。この間、千里タイムズ紙には毎月万博公園探鳥会案内を掲載していただいたことで、千里ニュータウンを中心とする吹田市・豊中市など北摂にお住いの多数の方々に、野鳥とのふれあいを楽しんでもらうことができました。

本年も良き鳥・良き人との出会いを楽しみに、万博公園探鳥会を続けたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

### I 千里の鳥・万博の鳥「ハイタカ」

漢字名「灰鷹・鷲」 (写真 橋本昌宗氏)



「一富士二鷹三茄子(いちふじにたかさんなすび)」は、初夢に見ると縁起が良いとされています。今年最初の「千里の鳥・万博の鳥」は、昨年12月14日探鳥会で観察できたハイタカ、スタート前の開園を待つ人々に見守られて上空を舞うなど、3羽も観察できた。

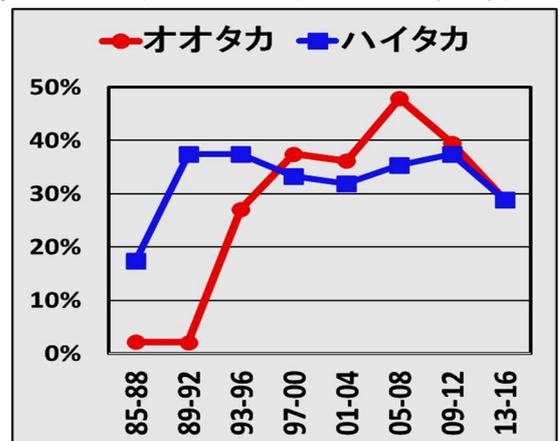
ハイタカの体長(嘴の先から尾羽の先端)は雄32cm、雌39cmで、キジバト33cmほどの小型のタカ、万博公園ではカワラヒワ・スズメ・ムクドリなどの小鳥類を餌にしていると思われる。

ハイタカは本州中部以北で繁殖しているが、大阪府内での繁殖記録がほとんど無く、春・秋の渡りの季節や冬鳥として観察されている。

万博公園では同属でハイタカより大きいオオタカが営巣・子育てをした年もあるが、その年でも冬になるとハイタカが渡来し、万博公園の上空を舞う姿を確認した。ハイタカ(やオオタカ)が飛ぶと、万博公園の主を自認しているカラスが群で追いかけることがあり、ハイタカは「ほうほうのていで逃げ回る」姿を見ることがあるが、ハイタカはカラスに負けることなく、しぶとく逃げ回っている。しかしオオタカが同属のハイタカを捕食することがあるとのこと、猛禽類であっても厳しい世界に生きていることがわかる。

### ①万博公園探鳥会でのハイタカの観察頻度 → (平:万博公園探鳥会記録より)

ハイタカ(+オオタカ)の万博公園探鳥会での観察頻度は右図の通りである。

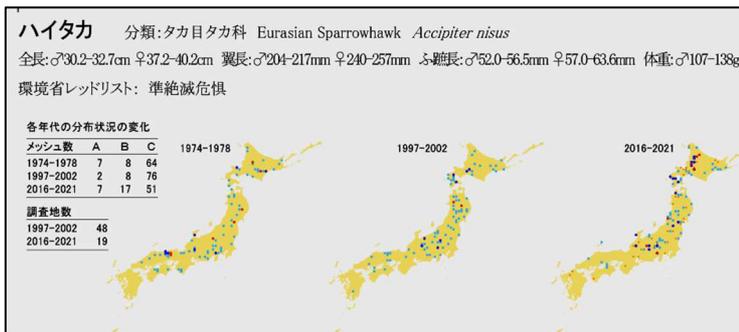
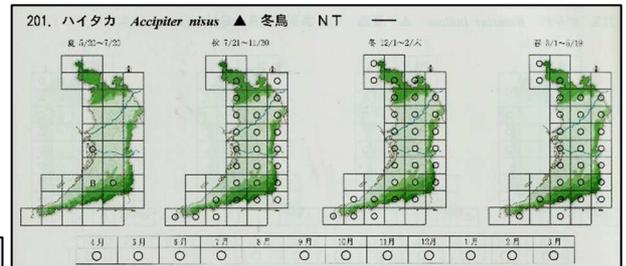


**オオタカ**は2007年～2014年に万博公園内で営巣・子育てをしたが、観察頻度は冬鳥として**ハイタカ**とあまり違いがないことは、一年中住んでいても園内で目立たないように生息しているためと推定している。

(オオタカの雌は繁殖期が終わると自由に移動しているため、万博公園にはいないと思われるが、雄は繁殖個所を守るため、一年中営巣地の近くにいる筈である。)

**②大阪府鳥類目録 2016: 日本野鳥の会大阪支部→**

右図では秋～春まで府内全域で確認されているが、繁殖記録はBランカーカ所のみ、2011年7月岸和田市で成鳥がヒナに餌を運ぶ姿が確認されたとのことである。



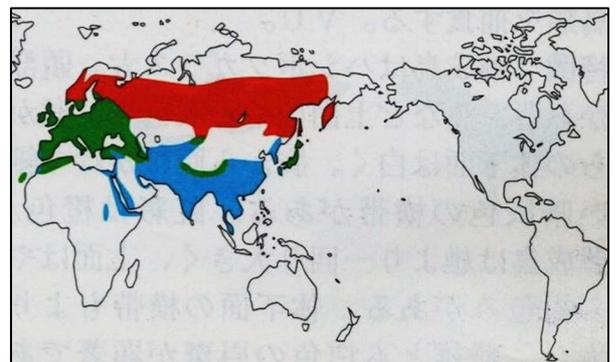
**← ③全国鳥類繁殖分布調査 鳥類繁殖分布調査会(2021年)**

全国での繁殖状況は左図の通り、記録メッシュ数には大きな変化はない。しかし1990年代と2010年代にほぼ同じコースを調査できた現地調査の記録をみても、48地点から19地点へと大きく減少している

た。この原因として、ハイタカはオオタカに捕食されることがあり、オオタカを避けてより樹木密度の高い場所で繁殖していること、オオタカの分布拡大の影響で減少している可能性や日本の樹林の成熟化で、営巣適地が減っている可能性などが考えられる。分布域の南部(中部地方以南)では、記録されなくなった所が増えている。

**④世界の繁殖地・越冬地分布図 → 真木・大西「日本の野鳥 590」平凡社(2000年)**

- ハイタカの繁殖地・越冬地、
- ・繁殖地: ユーラシア大陸亜寒帯
  - ・繁殖・越冬地 日本中北部・欧州
  - ・越冬地: 日本の南部～アジア熱帯地域



**Ⅱ 来月の万博公園探鳥会 2月8日(土)**

集合 9:30 自然文化園中央口 終了 15:00 頃 日本庭園内の予定

内容 今月資料のトップに書きましたが、万博公園探鳥会は1985年2月にスタートしましたので、1月で満40年、2月からは41年目入ります。これまで2月探鳥会で全員写真を撮ってきましたので、今年2月も全員写真を撮りたいと思っています。

12月後半から近畿北部。北陸の積雪が多くなっており、少なかった冬鳥が渡来し多くなっていると思います。ルリビタキやアトリなどに会いたいと思っています。

**参加ご希望の方 今月同様大阪支部 HP ホームズ様式からお申し込みください。**

ホームズでの申し込みが難しい方、平宛メール [g.0501.hi@gmail.com](mailto:g.0501.hi@gmail.com) への連絡でも OK。

## Ⅲ 先月 2024 年 12 月万博公園探鳥会結果

スタート時開園を待つときハイタカが飛び、その後もあわせ 3 羽、各 1 羽ずつであるがミサゴ・トビ・ノスリとタカの仲間を 4 種確認することができた。カモは万博公園としてはオカヨシガモが過去最大と思われる 27 羽も確認できたが、他はキンクロハジロ(1)・カルガモ(28)で 3 種に止まった。冬鳥で最もポピュラーなツグミの渡来が遅く 11 月探鳥会では見なかったが、今日は 25 羽確認することができ、シロハラ(3)・ジョウビタキ(8)・アトリ(5)・アオジ(2)と、ぼつぼつ渡来していることがわかった。前日の天気予報で雨確率が高かったことなどから、申し込んでくださっていた方から 7 人もの不参加連絡をいただいたが、スタート時点まで残っていた小雨が上がり探鳥会中は雨が降ることもなく、参加してくださった方には、35 種の鳥を楽しんでもらうことができた。

写真(橋本昌宗氏)



アトリ



ジョウビタキ



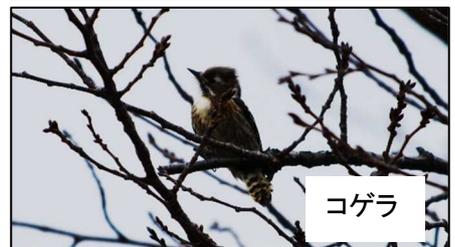
ツグミ



モズ



エナガ



コゲラ



カワセミ



オオバン



オカヨシガモ

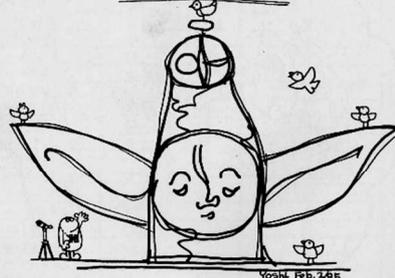
## Ⅳ 万博公園探鳥会 (第 1 回) 資料 →

万博公園探鳥会は、1985 年 2 月 16 日が第 1 回目の探鳥会でした。リーダーは塩田 猛さん、中野義弘さん(右資料作成)、平 軍二の 3 人でスタート、85 年 5 月からは黒田悦三さんにも入っていただき 4 人体制、その後も多数の方(30 人以上)にサポートしていただき、40 年間探鳥会を継続することができました。

### 万国博記念公園探鳥会

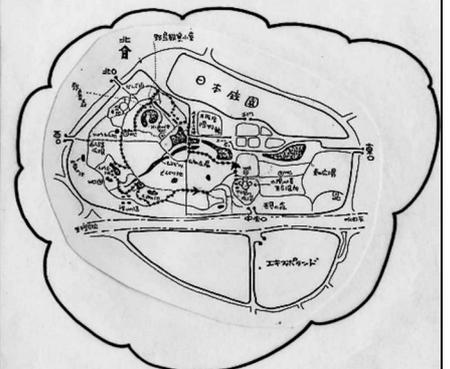
1985・2・16 (土)

日本野鳥の会大阪支部



1970 年開業された日本万博の跡地に造られた公園です。10 数年たった、樹木も繁り四季の花が咲き、素晴らしい公園になりました。今日は万博の 10 周年記念事業のひとつとして 1980 年に造られた、自然文化園内の野鳥の森を中心にバードウォッチングを楽しみます。

午後、時間があれば日本庭園にも行ってみたいと思います。  
では、出発……



- 探鳥会で守ってほしいルール  
鳥の気持になつて観る。(静かに、そと)  
ゴミやタバコの灰捨て禁止。  
採取はしないで。そのまゝに。  
メジロのワッペンに誇りをもって。



# 万博公園探鳥会

2025年1月11日(土)  
 リーダー 田中宏・中筋好子・橋本昌宗・大矢麻由美  
 玉置こるり・平軍二(090-6901-1425)

## あけましておめでとうございます

万博公園探鳥会は昭和60(1985)年2月にスタートし、満40年となりました。この間、千里タイムズ紙には毎月万博公園探鳥会案内を掲載していただいたことで、千里ニュータウンを中心とする吹田市・豊中市など北摂にお住いの多数の方々に、野鳥とのふれあいを楽しんでもらうことができました。

本年も良き鳥・良き人との出会いを楽しみに、万博公園探鳥会を続けたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

### I 千里の鳥・万博の鳥「ハイタカ」

漢字名「灰鷹・鷲」 (写真 橋本昌宗氏)



「一富士二鷹三茄子(いちふじにたかさんなすび)」は、初夢に見ると縁起が良いとされています。今年最初の「千里の鳥・万博の鳥」は、昨年12月14日探鳥会で観察できたハイタカ、スタート前の開園を待つ人々に見守られて上空を舞うなど、3羽も観察できた。

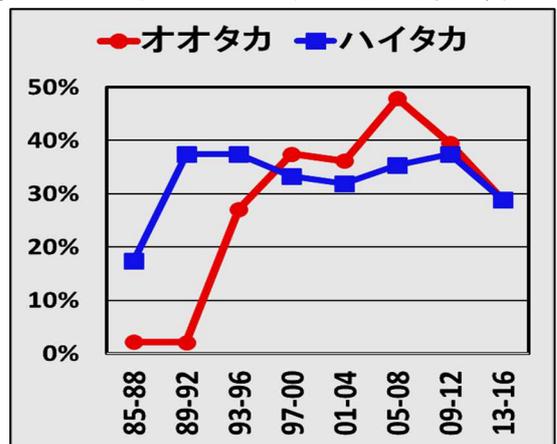
ハイタカの体長(嘴の先から尾羽の先端)は雄32cm、雌39cmで、キジバト33cmほどの小型のタカ、万博公園ではカワラヒワ・スズメ・ムクドリなどの小鳥類を餌にしていると思われる。

ハイタカは本州中部以北で繁殖しているが、大阪府内での繁殖記録がほとんど無く、春・秋の渡りの季節や冬鳥として観察されている。

万博公園では同属でハイタカより大きいオオタカが営巣・子育てをした年もあるが、その年でも冬になるとハイタカが渡来し、万博公園の上空を舞う姿を確認した。ハイタカ(やオオタカ)が飛ぶと、万博公園の主を自認しているカラスが群で追いかけることがあり、ハイタカは「ほうほうのていで逃げ回る」姿を見ることがあるが、ハイタカはカラスに負けることなく、しぶとく逃げ回っている。しかしオオタカが同属のハイタカを捕食することがあるとのこと、猛禽類であっても厳しい世界に生きていることがわかる。

### ①万博公園探鳥会でのハイタカの観察頻度 → (平:万博公園探鳥会記録より)

ハイタカ(+オオタカ)の万博公園探鳥会での観察頻度は右図の通りである。

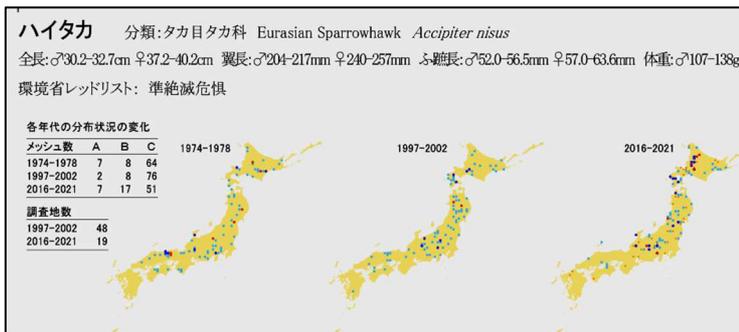
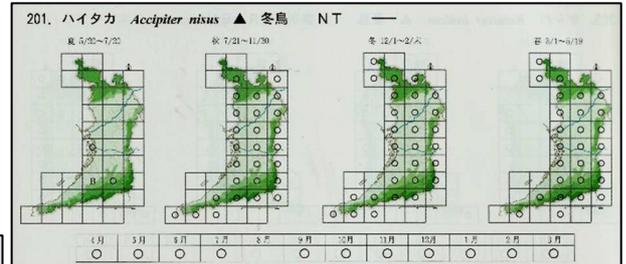


**オオタカ**は2007年～2014年に万博公園内で営巣・子育てをしたが、観察頻度は冬鳥として**ハイタカ**とあまり違いがないことは、一年中住んでいても園内で目立たないように生息しているためと推定している。

(オオタカの雌は繁殖期が終わると自由に移動しているため、万博公園にはいないと思われるが、雄は繁殖個所を守るため、一年中営巣地の近くにいる筈である。)

**②大阪府鳥類目録 2016: 日本野鳥の会大阪支部→**

右図では秋～春まで府内全域で確認されているが、繁殖記録はBランカーカ所のみ、2011年7月岸和田市で成鳥がヒナに餌を運ぶ姿が確認されたとのことである。



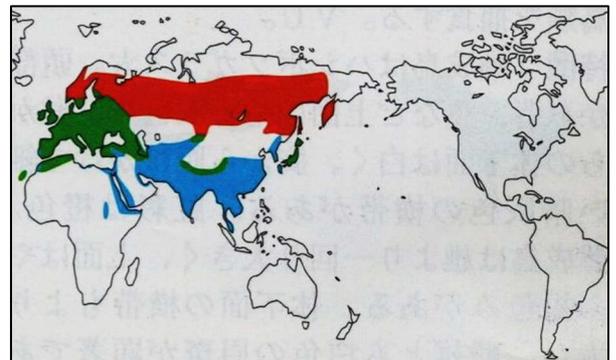
**← ③全国鳥類繁殖分布調査 鳥類繁殖分布調査会(2021年)**

全国での繁殖状況は左図の通り、記録メッシュ数には大きな変化はない。しかし1990年代と2010年代にほぼ同じコースを調査できた現地調査の記録をみても、48地点から19地点へと大きく減少している。

この原因として、ハイタカはオオタカに捕食されることがあり、オオタカを避けてより樹木密度の高い場所で繁殖していること、オオタカの分布拡大の影響で減少している可能性や日本の樹林の成熟化で、営巣適地が減っている可能性などが考えられる。分布域の南部(中部地方以南)では、記録されなくなった所が増えている。

**④世界の繁殖地・越冬地分布図 → 真木・大西「日本の野鳥 590」平凡社(2000年)**

- ハイタカの繁殖地・越冬地、
- ・繁殖地: ユーラシア大陸亜寒帯
  - ・繁殖・越冬地: 日本中北部・欧州
  - ・越冬地: 日本の南部～アジア熱帯地域



**Ⅱ 来月の万博公園探鳥会 2月8日(土)**

集合 9:30 自然文化園中央口 終了 15:00 頃 日本庭園内の予定

内容 今月資料のトップに書きましたが、万博公園探鳥会は1985年2月にスタートしましたので、1月で満40年、2月からは41年目入ります。これまで2月探鳥会で全員写真を撮ってきましたので、今年2月も全員写真を撮りたいと思っています。

12月後半から近畿北部。北陸の積雪が多くなっており、少なかった冬鳥が渡来し多くなっていると思います。ルリビタキやアトリなどに会いたいと思っています。

**参加ご希望の方 今月同様大阪支部 HP ホームズ様式からお申し込みください。**

ホームズでの申し込みが難しい方、平宛メール [g.0501.hi@gmail.com](mailto:g.0501.hi@gmail.com) への連絡でも OK。

## Ⅲ 先月 2024 年 12 月万博公園探鳥会結果

スタート時開園を待つときハイタカが飛び、その後もあわせ 3 羽、各 1 羽ずつであるがミサゴ・トビ・ノスリとタカの仲間を 4 種確認することができた。カモは万博公園としてはオカヨシガモが過去最大と思われる 27 羽も確認できたが、他はキンクロハジロ(1)・カルガモ(28)で 3 種に止まった。冬鳥で最もポピュラーなツグミの渡来が遅く 11 月探鳥会では見なかったが、今日は **25 羽**確認することができ、**シロハラ(3)・ジョウビタキ(8)・アトリ(5)・アオジ(2)**と、ぼつぼつ渡来していることがわかった。前日の天気予報で雨確率が高かったことなどから、申し込んでくださっていた方から 7 人もの不参加連絡をいただいたが、スタート時点まで残っていた小雨が上がり探鳥会中は雨が降ることもなく、参加してくださった方には、35 種の鳥を楽しんでもらうことができた。

写真(橋本昌宗氏)



アトリ



ジョウビタキ



ツグミ



モズ



エナガ



コゲラ



カワセミ



オオバン



オカヨシガモ

## Ⅳ 万博公園探鳥会 (第 1 回) 資料 →

万博公園探鳥会は、**1985 年 2 月 16 日**が第 1 回目の探鳥会でした。リーダーは塩田 猛さん、中野義弘さん(右資料作成)、平 軍二の 3 人でスタート、85 年 5 月からは黒田悦三さんにも入っていただき 4 人体制、その後も多数の方(30 人以上)にサポートしていただき、40 年間探鳥会を継続することができました。

### 万国博記念公園探鳥会

1985・2・16 (土)  
日本野鳥の会大阪支部

1970 年開催された日本万博の跡地に造られた公園です。10 数年たった、樹木も繁り四季の花が咲き、素晴らしい公園になりました。今日は万博の 10 周年記念事業のひとつとして 1980 年に造られた、自然文化園内の野鳥の森を中心にバードウォッチングを楽しみます。

午後、時間があれば日本庭園にも行く予定です。と見えます。  
では、出発……

- 探鳥会で守ってほしいルール
- 鳥の気持になつて観る。(静かに、そと)
- ゴミやタバコの灰捨て禁止。
- 採取はしないで。そのまゝに。
- メジロのワッペンに誇りをもって。



# 万博公園探鳥会

2025年1月11日(土)  
 リーダー 田中宏・中筋好子・橋本昌宗・大矢麻由美  
 玉置こるり・平軍二(090-6901-1425)

## あけましておめでとうございます

万博公園探鳥会は昭和60(1985)年2月にスタートし、満40年となりました。この間、千里タイムズ紙には毎月万博公園探鳥会案内を掲載していただいたことで、千里ニュータウンを中心とする吹田市・豊中市など北摂にお住いの多数の方々に、野鳥とのふれあいを楽しんでもらうことができました。

本年も良き鳥・良き人との出会いを楽しみに、万博公園探鳥会を続けたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

### I 千里の鳥・万博の鳥「ハイタカ」

漢字名「灰鷹・鷲」 (写真 橋本昌宗氏)



「一富士二鷹三茄子(いちふじにたかさんなすび)」は、初夢に見ると縁起が良いとされています。今年最初の「千里の鳥・万博の鳥」は、昨年12月14日探鳥会で観察できたハイタカ、スタート前の開園を待つ人々に見守られて上空を舞うなど、3羽も観察できた。

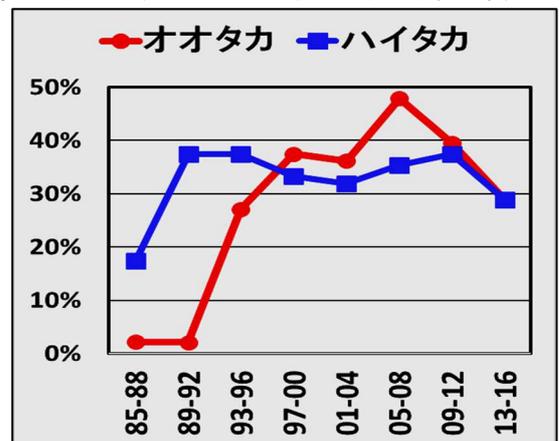
ハイタカの体長(嘴の先から尾羽の先端)は雄32cm、雌39cmで、キジバト33cmほどの小型のタカ、万博公園ではカワラヒワ・スズメ・ムクドリなどの小鳥類を餌にしていると思われる。

ハイタカは本州中部以北で繁殖しているが、大阪府内での繁殖記録がほとんど無く、春・秋の渡りの季節や冬鳥として観察されている。

万博公園では同属でハイタカより大きいオオタカが営巣・子育てをした年もあるが、その年でも冬になるとハイタカが渡来し、万博公園の上空を舞う姿を確認した。ハイタカ(やオオタカ)が飛ぶと、万博公園の主を自認しているカラスが群で追いかけることがあり、ハイタカは「ほうほうのていで逃げ回る」姿を見ることがあるが、ハイタカはカラスに負けることなく、しぶとく逃げ回っている。しかしオオタカが同属のハイタカを捕食することがあるとのこと、猛禽類であっても厳しい世界に生きていることがわかる。

### ①万博公園探鳥会でのハイタカの観察頻度 → (平:万博公園探鳥会記録より)

ハイタカ(+オオタカ)の万博公園探鳥会での観察頻度は右図の通りである。

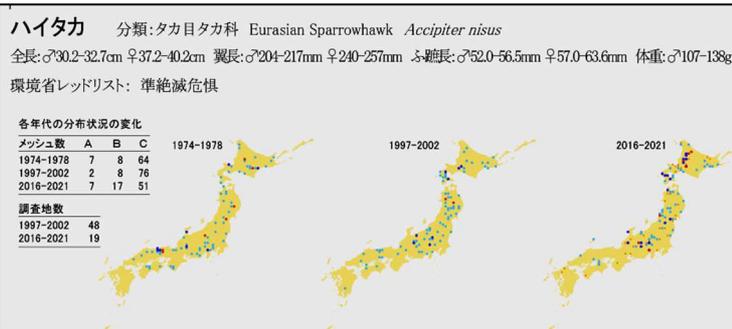
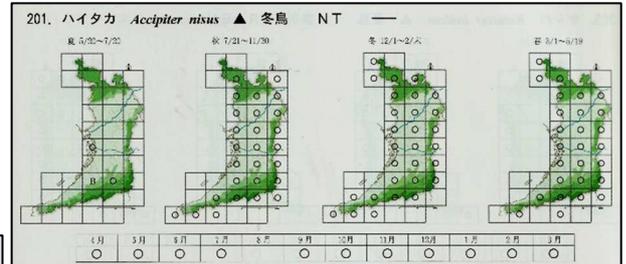


**オオタカ**は2007年～2014年に万博公園内で営巣・子育てをしたが、観察頻度は冬鳥として**ハイタカ**とあまり違いがないことは、一年中住んでいても園内で目立たないように生息しているためと推定している。

(オオタカの雌は繁殖期が終わると自由に移動しているため、万博公園にはいないと思われるが、雄は繁殖個所を守るため、一年中営巣地の近くにいる筈である。)

**②大阪府鳥類目録 2016: 日本野鳥の会大阪支部→**

右図では秋～春まで府内全域で確認されているが、繁殖記録はBランカーカ所のみ、2011年7月岸和田市で成鳥がヒナに餌を運ぶ姿が確認されたとのことである。



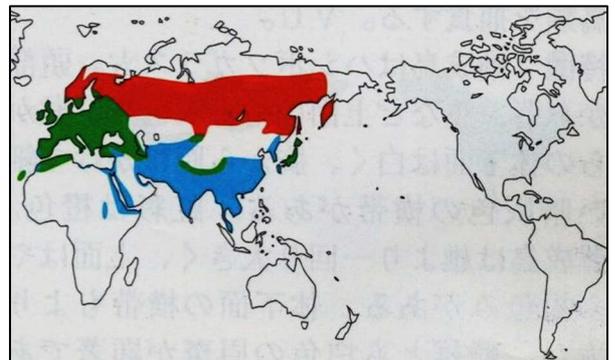
**← ③全国鳥類繁殖分布調査 鳥類繁殖分布調査会(2021年)**

全国での繁殖状況は左図の通り、記録メッシュ数には大きな変化はない。しかし1990年代と2010年代にほぼ同じコースを調査できた現地調査の記録をみても、48地点から19地点へと大きく減少している

た。この原因として、ハイタカはオオタカに捕食されることがあり、オオタカを避けてより樹木密度の高い場所で繁殖していること、オオタカの分布拡大の影響で減少している可能性や日本の樹林の成熟化で、営巣適地が減っている可能性などが考えられる。分布域の南部(中部地方以南)では、記録されなくなった所が増えている。

**④世界の繁殖地・越冬地分布図 → 真木・大西「日本の野鳥 590」平凡社(2000年)**

- ハイタカの繁殖地・越冬地、
- ・繁殖地: ユーラシア大陸亜寒帯
  - ・繁殖・越冬地: 日本中北部・欧州
  - ・越冬地: 日本の南部～アジア熱帯地域



**Ⅱ 来月の万博公園探鳥会 2月8日(土)**

集合 9:30 自然文化園中央口 終了 15:00 頃 日本庭園内の予定

内容 今月資料のトップに書きましたが、万博公園探鳥会は1985年2月にスタートしましたので、1月で満40年、2月からは41年目入ります。これまで2月探鳥会で全員写真を撮ってきましたので、今年2月も全員写真を撮りたいと思っています。

12月後半から近畿北部。北陸の積雪が多くなっており、少なかった冬鳥が渡来し多くなっていると思います。ルリビタキやアトリなどに会いたいと思っています。

**参加ご希望の方 今月同様大阪支部 HP ホームズ様式からお申し込みください。**

ホームズでの申し込みが難しい方、平宛メール [g.0501.hi@gmail.com](mailto:g.0501.hi@gmail.com) への連絡でも OK。

## Ⅲ 先月 2024 年 12 月万博公園探鳥会結果

スタート時開園を待つときハイタカが飛び、その後もあわせ 3 羽、各 1 羽ずつであるがミサゴ・トビ・ノスリとタカの仲間を 4 種確認することができた。カモは万博公園としてはオカヨシガモが過去最大と思われる 27 羽も確認できたが、他はキンクロハジロ(1)・カルガモ(28)で 3 種に止まった。冬鳥で最もポピュラーなツグミの渡来が遅く 11 月探鳥会では見なかったが、今日は 25 羽確認することができ、シロハラ(3)・ジョウビタキ(8)・アトリ(5)・アオジ(2)と、ぼつぼつ渡来していることがわかった。前日の天気予報で雨確率が高かったことなどから、申し込んでくださっていた方から 7 人もの不参加連絡をいただいたが、スタート時点まで残っていた小雨が上がり探鳥会中は雨が降ることもなく、参加してくださった方には、35 種の鳥を楽しんでもらうことができた。

写真(橋本昌宗氏)



アトリ



ジョウビタキ



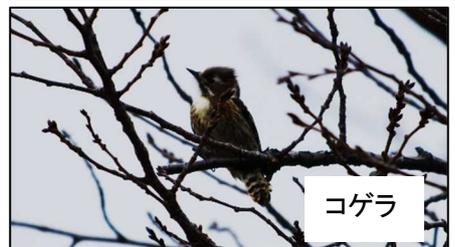
ツグミ



モズ



エナガ



コゲラ



カワセミ



オオバン



オカヨシガモ

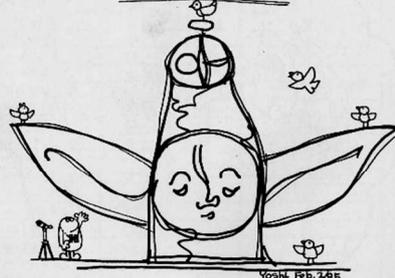
## Ⅳ 万博公園探鳥会 (第 1 回) 資料 →

万博公園探鳥会は、1985 年 2 月 16 日が第 1 回目の探鳥会でした。リーダーは塩田 猛さん、中野義弘さん(右資料作成)、平 軍二の 3 人でスタート、85 年 5 月からは黒田悦三さんにも入っていただき 4 人体制、その後も多数の方(30 人以上)にサポートしていただき、40 年間探鳥会を継続することができました。

### 万国博記念公園探鳥会

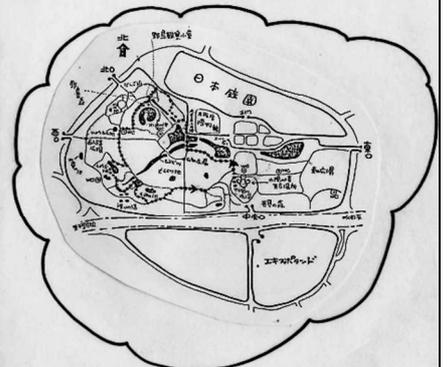
1985・2・16 (土)

日本野鳥の会大阪支部



1970 年開催された日本万博の跡地に造られた公園です。10 数年たった、樹木も繁り四季の花が咲き、素晴らしい公園になりました。今日は万博の 10 周年記念事業のひとつとして 1980 年に造られた、自然文化園内の野鳥の森を中心にバードウォッチングを楽しみます。

午後、時間があれば日本庭園にも行く予定ですと見えます。では、出発……



- 探鳥会で守ってほしいルール  
鳥の気持になつて観る。(静かに、そと)  
ゴミやタバコの灰捨て禁止。  
採取はしないで。そのまゝに。  
メジロのワッペンに誇りをもって。



# 万博公園探鳥会

2025年1月11日(土)  
 リーダー 田中宏・中筋好子・橋本昌宗・大矢麻由美  
 玉置こるり・平軍二(090-6901-1425)

## あけましておめでとうございます

万博公園探鳥会は昭和60(1985)年2月にスタートし、満40年となりました。この間、千里タイムズ紙には毎月万博公園探鳥会案内を掲載していただいたことで、千里ニュータウンを中心とする吹田市・豊中市など北摂にお住いの多数の方々に、野鳥とのふれあいを楽しんでもらうことができました。

本年も良き鳥・良き人との出会いを楽しみに、万博公園探鳥会を続けたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

### I 千里の鳥・万博の鳥「ハイタカ」

漢字名「灰鷹・鷲」 (写真 橋本昌宗氏)



「一富士二鷹三茄子(いちふじにたかさんなすび)」は、初夢に見ると縁起が良いとされています。今年最初の「千里の鳥・万博の鳥」は、昨年12月14日探鳥会で観察できたハイタカ、スタート前の開園を待つ人々に見守られて上空を舞うなど、3羽も観察できた。

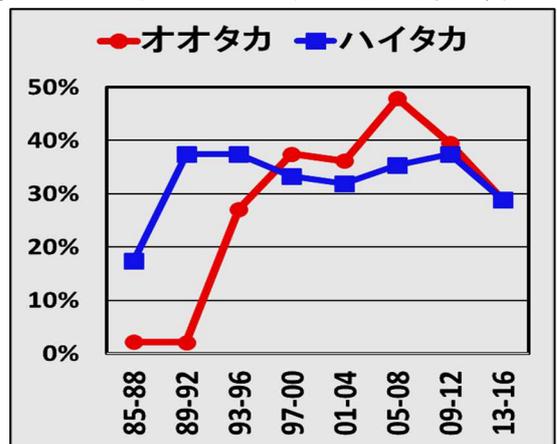
ハイタカの体長(嘴の先から尾羽の先端)は雄32cm、雌39cmで、キジバト33cmほどの小型のタカ、万博公園ではカワラヒワ・スズメ・ムクドリなどの小鳥類を餌にしていると思われる。

ハイタカは本州中部以北で繁殖しているが、大阪府内での繁殖記録がほとんど無く、春・秋の渡りの季節や冬鳥として観察されている。

万博公園では同属でハイタカより大きいオオタカが営巣・子育てをした年もあるが、その年でも冬になるとハイタカが渡来し、万博公園の上空を舞う姿を確認した。ハイタカ(やオオタカ)が飛ぶと、万博公園の主を自認しているカラスが群で追いかけることがあり、ハイタカは「ほうほうのていで逃げ回る」姿を見ることがあるが、ハイタカはカラスに負けることなく、しぶとく逃げ回っている。しかしオオタカが同属のハイタカを捕食することがあるとのこと、猛禽類であっても厳しい世界に生きていることがわかる。

### ①万博公園探鳥会でのハイタカの観察頻度 → (平:万博公園探鳥会記録より)

ハイタカ(+オオタカ)の万博公園探鳥会での観察頻度は右図の通りである。

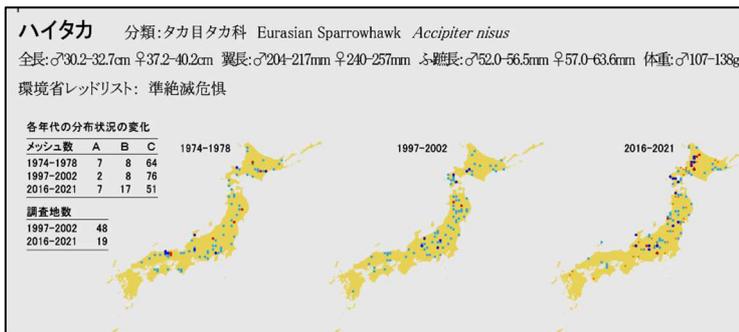
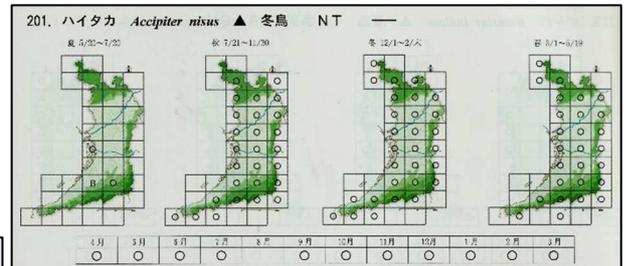


**オオタカ**は2007年～2014年に万博公園内で営巣・子育てをしたが、観察頻度は冬鳥として**ハイタカ**とあまり違いがないことは、一年中住んでいても園内で目立たないように生息しているためと推定している。

(オオタカの雌は繁殖期が終わると自由に移動しているため、万博公園にはいないと思われるが、雄は繁殖個所を守るため、一年中営巣地の近くにいる筈である。)

**②大阪府鳥類目録 2016: 日本野鳥の会大阪支部→**

右図では秋～春まで府内全域で確認されているが、繁殖記録はBランクーカ所のみ、2011年7月岸和田市で成鳥がヒナに餌を運ぶ姿が確認されたとのことである。



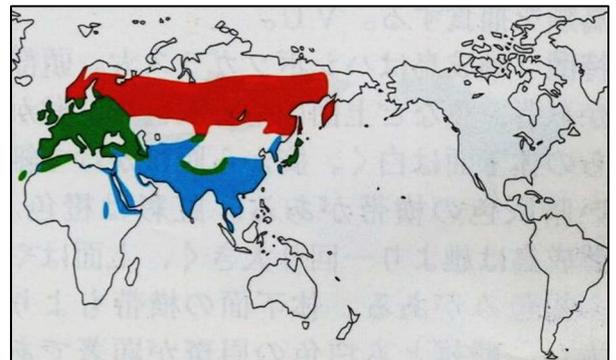
**← ③全国鳥類繁殖分布調査 鳥類繁殖分布調査会(2021年)**

全国での繁殖状況は左図の通り、記録メッシュ数には大きな変化はない。しかし1990年代と2010年代にほぼ同じコースを調査できた現地調査の記録をみても、48地点から19地点へと大きく減少している

た。この原因として、ハイタカはオオタカに捕食されることがあり、オオタカを避けてより樹木密度の高い場所で繁殖していること、オオタカの分布拡大の影響で減少している可能性や日本の樹林の成熟化で、営巣適地が減っている可能性などが考えられる。分布域の南部(中部地方以南)では、記録されなくなった所が増えている。

**④世界の繁殖地・越冬地分布図 → 真木・大西「日本の野鳥 590」平凡社(2000年)**

- ハイタカの繁殖地・越冬地、
- ・繁殖地: ユーラシア大陸亜寒帯
  - ・繁殖・越冬地: 日本中北部・欧州
  - ・越冬地: 日本の南部～アジア熱帯地域



**Ⅱ 来月の万博公園探鳥会 2月8日(土)**

集合 9:30 自然文化園中央口 終了 15:00 頃 日本庭園内の予定

内容 今月資料のトップに書きましたが、万博公園探鳥会は1985年2月にスタートしましたので、1月で満40年、2月からは41年目入ります。これまで2月探鳥会で全員写真を撮ってきましたので、今年2月も全員写真を撮りたいと思っています。

12月後半から近畿北部。北陸の積雪が多くなっており、少なかった冬鳥が渡来し多くなっていると思います。ルリビタキやアトリなどに会いたいと思っています。

**参加ご希望の方 今月同様大阪支部 HP ホームズ様式からお申し込みください。**

ホームズでの申し込みが難しい方、平宛メール [g.0501.hi@gmail.com](mailto:g.0501.hi@gmail.com) への連絡でも OK。

## Ⅲ 先月 2024 年 12 月万博公園探鳥会結果

スタート時開園を待つときハイタカが飛び、その後もあわせ 3 羽、各 1 羽ずつであるがミサゴ・トビ・ノスリとタカの仲間を 4 種確認することができた。カモは万博公園としてはオカヨシガモが過去最大と思われる 27 羽も確認できたが、他はキンクロハジロ(1)・カルガモ(28)で 3 種に止まった。

冬鳥で最もポピュラーなツグミの渡来が遅く 11 月探鳥会では見なかったが、今日は 25 羽確認することができ、シロハラ(3)・ジョウビタキ(8)・アトリ(5)・アオジ(2)と、ぼつぼつ渡来していることがわかった。前日の天気予報で雨確率が高かったことなどから、申し込んでくださっていた方から 7 人もの不参加連絡をいただいたが、スタート時点まで残っていた小雨が上がり探鳥会中は雨が降ることもなく、参加してくださった方には、35 種の鳥を楽しんでもらうことができた。

写真(橋本昌宗氏)



アトリ



ジョウビタキ



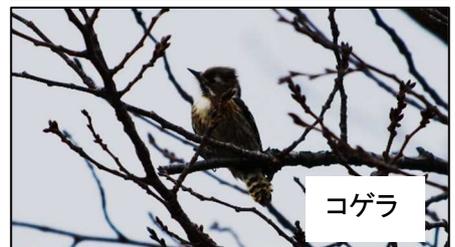
ツグミ



モズ



エナガ



コゲラ



カワセミ



オオバン



オカヨシガモ

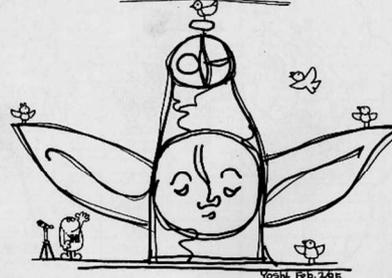
## Ⅳ 万博公園探鳥会 (第 1 回) 資料 →

万博公園探鳥会は、1985 年 2 月 16 日が第 1 回目の探鳥会でした。リーダーは塩田 猛さん、中野義弘さん(右資料作成)、平 軍二の 3 人でスタート、85 年 5 月からは黒田悦三さんにも入っていただき 4 人体制、その後も多数の方(30 人以上)にサポートしていただき、40 年間探鳥会を継続することができました。

### 万国博記念公園探鳥会

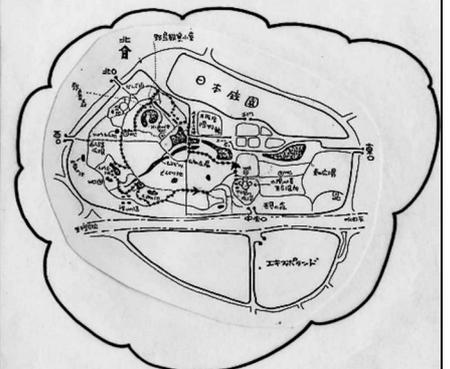
1985・2・16(土)

日本野鳥の会大阪支部



1970 年開催された日本万博の跡地に造られた公園です。10 数年たった、樹木も繁り四季の花が咲き、素晴らしい公園になりました。今日は万博の 10 周年記念事業のひとつとして 1980 年に造られた、自然文化園内の野鳥の森を中心にバードウォッチングを楽しみます。

午後、時間があれば日本庭園にも行ってみようと思います。  
では、出発……



- 探鳥会で守ってほしいルール  
鳥の気持になつて観る。(静かに、そと)  
ゴミやタバコの灰捨て禁止。  
採取はしないで。そのまゝに。  
メジロのワッペンに誇りをもって。



# 万博公園探鳥会

2025年1月11日(土)  
 リーダー 田中宏・中筋好子・橋本昌宗・大矢麻由美  
 玉置こるり・平軍二(090-6901-1425)

## あけましておめでとうございます

万博公園探鳥会は昭和60(1985)年2月にスタートし、満40年となりました。この間、千里タイムズ紙には毎月万博公園探鳥会案内を掲載していただいたことで、千里ニュータウンを中心とする吹田市・豊中市など北摂にお住いの多数の方々に、野鳥とのふれあいを楽しんでもらうことができました。

本年も良き鳥・良き人との出会いを楽しみに、万博公園探鳥会を続けたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

### I 千里の鳥・万博の鳥「ハイタカ」

漢字名「灰鷹・鷲」 (写真 橋本昌宗氏)



「一富士二鷹三茄子(いちふじにたかさんなすび)」は、初夢に見ると縁起が良いとされています。今年最初の「千里の鳥・万博の鳥」は、昨年12月14日探鳥会で観察できたハイタカ、スタート前の開園を待つ人々に見守られて上空を舞うなど、3羽も観察できた。

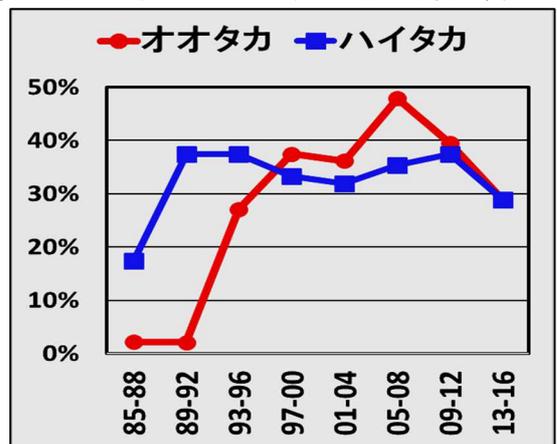
ハイタカの体長(嘴の先から尾羽の先端)は雄32cm、雌39cmで、キジバト33cmほどの小型のタカ、万博公園ではカワラヒワ・スズメ・ムクドリなどの小鳥類を餌にしていると思われる。

ハイタカは本州中部以北で繁殖しているが、大阪府内での繁殖記録がほとんど無く、春・秋の渡りの季節や冬鳥として観察されている。

万博公園では同属でハイタカより大きいオオタカが営巣・子育てをした年もあるが、その年でも冬になるとハイタカが渡来し、万博公園の上空を舞う姿を確認した。ハイタカ(やオオタカ)が飛ぶと、万博公園の主を自認しているカラスが群で追いかけることがあり、ハイタカは「ほうほうのていで逃げ回る」姿を見ることがあるが、ハイタカはカラスに負けることなく、しぶとく逃げ回っている。しかしオオタカが同属のハイタカを捕食することがあるとのこと、猛禽類であっても厳しい世界に生きていることがわかる。

### ①万博公園探鳥会でのハイタカの観察頻度 → (平:万博公園探鳥会記録より)

ハイタカ(+オオタカ)の万博公園探鳥会での観察頻度は右図の通りである。

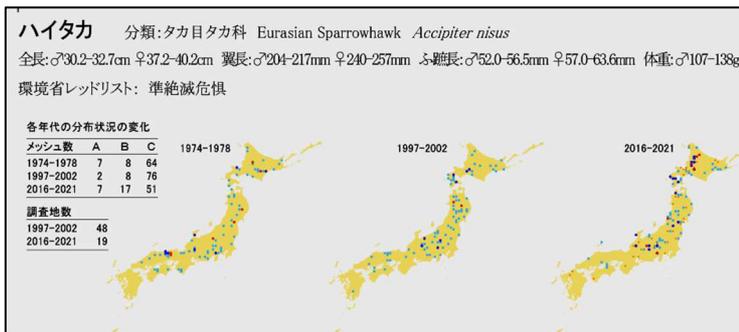
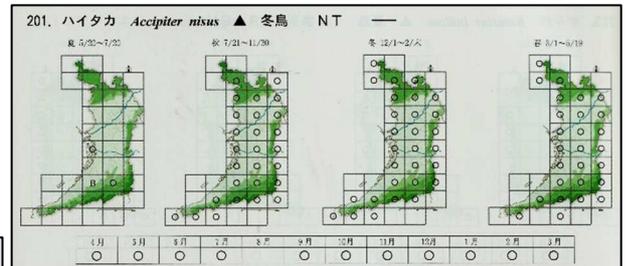


**オオタカ**は2007年～2014年に万博公園内で営巣・子育てをしたが、観察頻度は冬鳥として**ハイタカ**とあまり違いがないことは、一年中住んでいても園内で目立たないように生息しているためと推定している。

(オオタカの雌は繁殖期が終わると自由に移動しているため、万博公園にはいないと思われるが、雄は繁殖個所を守るため、一年中営巣地の近くにいる筈である。)

**②大阪府鳥類目録 2016: 日本野鳥の会大阪支部→**

右図では秋～春まで府内全域で確認されているが、繁殖記録はBランクーカ所のみ、2011年7月岸和田市で成鳥がヒナに餌を運ぶ姿が確認されたとのことである。



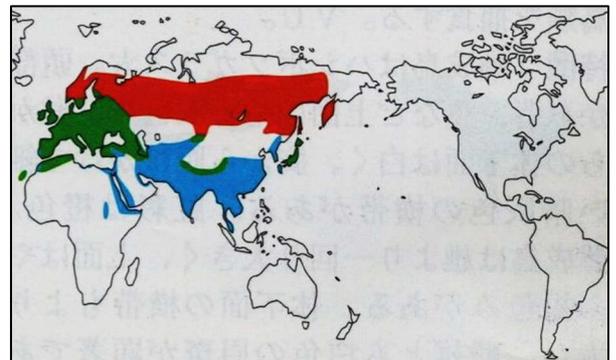
**← ③全国鳥類繁殖分布調査 鳥類繁殖分布調査会(2021年)**

全国での繁殖状況は左図の通り、記録メッシュ数には大きな変化はない。しかし1990年代と2010年代にほぼ同じコースを調査できた現地調査の記録をみても、48地点から19地点へと大きく減少している。

この原因として、ハイタカはオオタカに捕食されることがあり、オオタカを避けてより樹木密度の高い場所で繁殖していること、オオタカの分布拡大の影響で減少している可能性や日本の樹林の成熟化で、営巣適地が減っている可能性などが考えられる。分布域の南部(中部地方以南)では、記録されなくなった所が増えている。

**④世界の繁殖地・越冬地分布図 → 真木・大西「日本の野鳥 590」平凡社(2000年)**

- ハイタカの繁殖地・越冬地、
- ・繁殖地: ユーラシア大陸亜寒帯
  - ・繁殖・越冬地: 日本中北部・欧州
  - ・越冬地: 日本の南部～アジア熱帯地域



**Ⅱ 来月の万博公園探鳥会 2月8日(土)**

集合 9:30 自然文化園中央口 終了 15:00 頃 日本庭園内の予定

内容 今月資料のトップに書きましたが、万博公園探鳥会は1985年2月にスタートしましたので、1月で満40年、2月からは41年目入ります。これまで2月探鳥会で全員写真を撮ってきましたので、今年2月も全員写真を撮りたいと思っています。

12月後半から近畿北部。北陸の積雪が多くなっており、少なかった冬鳥が渡来し多くなっていると思います。ルリビタキやアトリなどに会いたいと思っています。

**参加ご希望の方 今月同様大阪支部 HP ホームズ様式からお申し込みください。**

ホームズでの申し込みが難しい方、平宛メール [g.0501.hi@gmail.com](mailto:g.0501.hi@gmail.com) への連絡でも OK。

## Ⅲ 先月 2024 年 12 月万博公園探鳥会結果

スタート時開園を待つときハイタカが飛び、その後もあわせ 3 羽、各 1 羽ずつであるがミサゴ・トビ・ノスリとタカの仲間を 4 種確認することができた。カモは万博公園としてはオカヨシガモが過去最大と思われる 27 羽も確認できたが、他はキンクロハジロ(1)・カルガモ(28)で 3 種に止まった。冬鳥で最もポピュラーなツグミの渡来が遅く 11 月探鳥会では見なかったが、今日は 25 羽確認することができ、シロハラ(3)・ジョウビタキ(8)・アトリ(5)・アオジ(2)と、ぼつぼつ渡来していることがわかった。前日の天気予報で雨確率が高かったことなどから、申し込んでくださっていた方から 7 人もの不参加連絡をいただいたが、スタート時点まで残っていた小雨が上がり探鳥会中は雨が降ることもなく、参加してくださった方には、35 種の鳥を楽しんでもらうことができた。

写真(橋本昌宗氏)



アトリ



ジョウビタキ



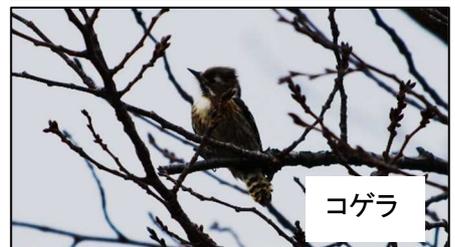
ツグミ



モズ



エナガ



コゲラ



カワセミ



オオバン



オカヨシガモ

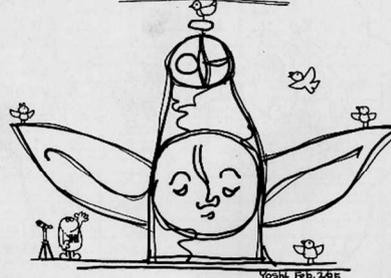
## Ⅳ 万博公園探鳥会 (第 1 回) 資料 →

万博公園探鳥会は、1985 年 2 月 16 日が第 1 回目の探鳥会でした。リーダーは塩田 猛さん、中野義弘さん(右資料作成)、平 軍二の 3 人でスタート、85 年 5 月からは黒田悦三さんにも入っていただき 4 人体制、その後も多数の方(30 人以上)にサポートしていただき、40 年間探鳥会を継続することができました。

### 万国博記念公園探鳥会

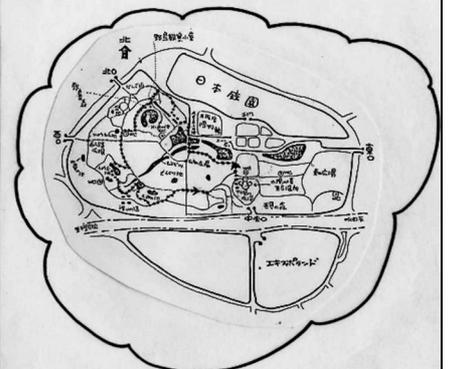
1985・2・16 (土)

日本野鳥の会大阪支部



1970 年開催された日本万博の跡地に造られた公園です。10 数年たった、樹木も繁り四季の花が咲き、素晴らしい公園になりました。今日は万博の 10 周年記念事業のひとつとして 1980 年に造られた、自然文化園内の野鳥の森を中心にバードウォッチングを楽しみます。

午後、時間があれば日本庭園にも行ってみたいと思います。  
では、出発……



- 探鳥会で守ってほしいルール  
鳥の気持になつて観る。(静かに、そと)  
ゴミやタバコのポイ捨て禁止。  
採取はしないで。そのまゝに。  
メジロのワッペンに誇りをもって。



# 万博公園探鳥会

2025年1月11日(土)  
 リーダー 田中宏・中筋好子・橋本昌宗・大矢麻由美  
 玉置こるり・平軍二(090-6901-1425)

## あけましておめでとうございます

万博公園探鳥会は昭和60(1985)年2月にスタートし、満40年となりました。この間、千里タイムズ紙には毎月万博公園探鳥会案内を掲載していただいたことで、千里ニュータウンを中心とする吹田市・豊中市など北摂にお住いの多数の方々に、野鳥とのふれあいを楽しんでもらうことができました。

本年も良き鳥・良き人との出会いを楽しみに、万博公園探鳥会を続けたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

### I 千里の鳥・万博の鳥「ハイタカ」

漢字名「灰鷹・鷲」 (写真 橋本昌宗氏)



「一富士二鷹三茄子(いちふじにたかさんなすび)」は、初夢に見ると縁起が良いとされています。今年最初の「千里の鳥・万博の鳥」は、昨年12月14日探鳥会で観察できたハイタカ、スタート前の開園を待つ人々に見守られて上空を舞うなど、3羽も観察できた。

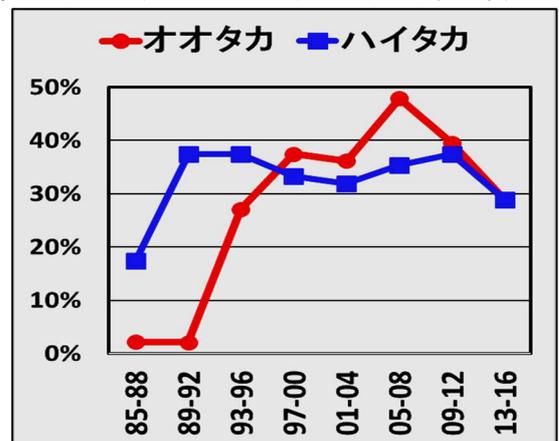
ハイタカの体長(嘴の先から尾羽の先端)は雄32cm、雌39cmで、キジバト33cmほどの小型のタカ、万博公園ではカワラヒワ・スズメ・ムクドリなどの小鳥類を餌にしていると思われる。

ハイタカは本州中部以北で繁殖しているが、大阪府内での繁殖記録がほとんど無く、春・秋の渡りの季節や冬鳥として観察されている。

万博公園では同属でハイタカより大きいオオタカが営巣・子育てをした年もあるが、その年でも冬になるとハイタカが渡来し、万博公園の上空を舞う姿を確認した。ハイタカ(やオオタカ)が飛ぶと、万博公園の主を自認しているカラスが群で追いかけることがあり、ハイタカは「ほうほうのていで逃げ回る」姿を見ることがあるが、ハイタカはカラスに負けることなく、しぶとく逃げ回っている。しかしオオタカが同属のハイタカを捕食することがあるとのこと、猛禽類であっても厳しい世界に生きていることがわかる。

### ①万博公園探鳥会でのハイタカの観察頻度 → (平:万博公園探鳥会記録より)

ハイタカ(+オオタカ)の万博公園探鳥会での観察頻度は右図の通りである。

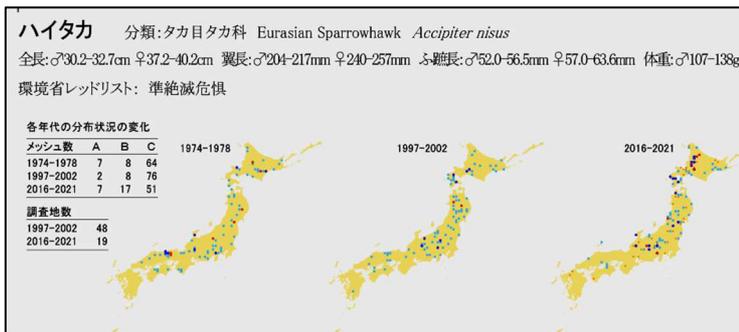
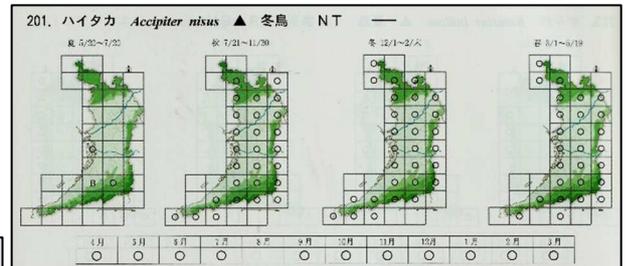


**オオタカ**は2007年～2014年に万博公園内で営巣・子育てをしたが、観察頻度は冬鳥として**ハイタカ**とあまり違いがないことは、一年中住んでいても園内で目立たないように生息しているためと推定している。

(オオタカの雌は繁殖期が終わると自由に移動しているため、万博公園にはいないと思われるが、雄は繁殖個所を守るため、一年中営巣地の近くにいる筈である。)

**②大阪府鳥類目録 2016: 日本野鳥の会大阪支部→**

右図では秋～春まで府内全域で確認されているが、繁殖記録はBランクーカ所のみ、2011年7月岸和田市で成鳥がヒナに餌を運ぶ姿が確認されたとのことである。



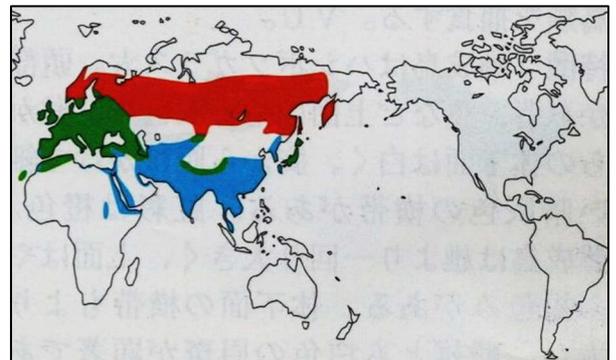
**← ③全国鳥類繁殖分布調査 鳥類繁殖分布調査会(2021年)**

全国での繁殖状況は左図の通り、記録メッシュ数には大きな変化はない。しかし1990年代と2010年代にほぼ同じコースを調査できた現地調査の記録をみても、48地点から19地点へと大きく減少している

た。この原因として、ハイタカはオオタカに捕食されることがあり、オオタカを避けてより樹木密度の高い場所で繁殖していること、オオタカの分布拡大の影響で減少している可能性や日本の樹林の成熟化で、営巣適地が減っている可能性などが考えられる。分布域の南部(中部地方以南)では、記録されなくなった所が増えている。

**④世界の繁殖地・越冬地分布図 → 真木・大西「日本の野鳥 590」平凡社(2000年)**

- ハイタカの繁殖地・越冬地、
- ・繁殖地: ユーラシア大陸亜寒帯
  - ・繁殖・越冬地: 日本中北部・欧州
  - ・越冬地: 日本の南部～アジア熱帯地域



**Ⅱ 来月の万博公園探鳥会 2月8日(土)**

集合 9:30 自然文化園中央口 終了 15:00 頃 日本庭園内の予定

内容 今月資料のトップに書きましたが、万博公園探鳥会は1985年2月にスタートしましたので、1月で満40年、2月からは41年目入ります。これまで2月探鳥会で全員写真を撮ってきましたので、今年2月も全員写真を撮りたいと思っています。

12月後半から近畿北部。北陸の積雪が多くなっており、少なかった冬鳥が渡来し多くなっていると思います。ルリビタキやアトリなどに会いたいと思っています。

**参加ご希望の方 今月同様大阪支部 HP ホームズ様式からお申し込みください。**

ホームズでの申し込みが難しい方、平宛メール [g.0501.hi@gmail.com](mailto:g.0501.hi@gmail.com) への連絡でも OK。

## Ⅲ 先月 2024 年 12 月万博公園探鳥会結果

スタート時開園を待つときハイタカが飛び、その後もあわせ 3 羽、各 1 羽ずつであるがミサゴ・トビ・ノスリとタカの仲間を 4 種確認することができた。カモは万博公園としてはオカヨシガモが過去最大と思われる 27 羽も確認できたが、他はキンクロハジロ(1)・カルガモ(28)で 3 種に止まった。冬鳥で最もポピュラーなツグミの渡来が遅く 11 月探鳥会では見なかったが、今日は 25 羽確認することができ、シロハラ(3)・ジョウビタキ(8)・アトリ(5)・アオジ(2)と、ぼつぼつ渡来していることがわかった。前日の天気予報で雨確率が高かったことなどから、申し込んでくださっていた方から 7 人もの不参加連絡をいただいたが、スタート時点まで残っていた小雨が上がり探鳥会中は雨が降ることもなく、参加してくださった方には、35 種の鳥を楽しんでもらうことができた。

写真(橋本昌宗氏)



アトリ



ジョウビタキ



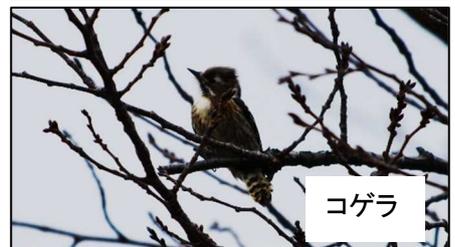
ツグミ



モズ



エナガ



コゲラ



カワセミ



オオバン



オカヨシガモ

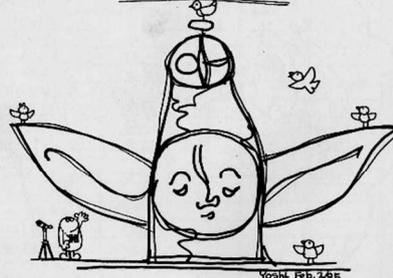
## Ⅳ 万博公園探鳥会 (第 1 回) 資料 →

万博公園探鳥会は、1985 年 2 月 16 日が第 1 回目の探鳥会でした。リーダーは塩田 猛さん、中野義弘さん(右資料作成)、平 軍二の 3 人でスタート、85 年 5 月からは黒田悦三さんにも入っていただき 4 人体制、その後も多数の方(30 人以上)にサポートしていただき、40 年間探鳥会を継続することができました。

### 万国博記念公園探鳥会

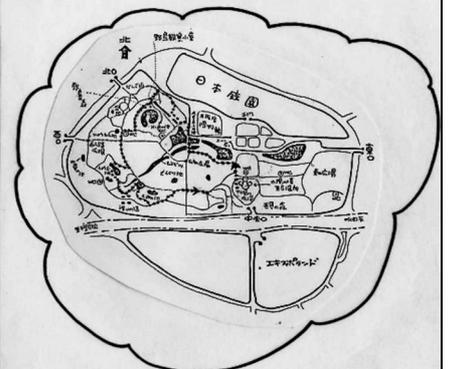
1985・2・16 (土)

日本野鳥の会大阪支部



1970 年開催された日本万博の跡地に造られた公園です。10 数年たった、樹木も繁り四季の花が咲き、素晴らしい公園になりました。今日は万博の 10 周年記念事業のひとつとして 1980 年に造られた、自然文化園内の野鳥の森を中心にバードウォッチングを楽しみます。

午後、時間があれば日本庭園にも行ってみようと思います。  
では、出発……



- 探鳥会で守ってほしいルール  
鳥の気持になつて観る。(静かに、そと)  
ゴミやタバコの灰捨て禁止。  
採取はしないで。そのまゝに。  
メジロのワッペンに誇りをもって。



# 万博公園探鳥会

2025年1月11日(土)  
 リーダー 田中宏・中筋好子・橋本昌宗・大矢麻由美  
 玉置こるり・平軍二(090-6901-1425)

## あけましておめでとうございます

万博公園探鳥会は昭和60(1985)年2月にスタートし、満40年となりました。この間、千里タイムズ紙には毎月万博公園探鳥会案内を掲載していただいたことで、千里ニュータウンを中心とする吹田市・豊中市など北摂にお住いの多数の方々に、野鳥とのふれあいを楽しんでもらうことができました。

本年も良き鳥・良き人との出会いを楽しみに、万博公園探鳥会を続けたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

### I 千里の鳥・万博の鳥「ハイタカ」

漢字名「灰鷹・鷲」 (写真 橋本昌宗氏)



「一富士二鷹三茄子(いちふじにたかさんなすび)」は、初夢に見ると縁起が良いとされています。今年最初の「千里の鳥・万博の鳥」は、昨年12月14日探鳥会で観察できたハイタカ、スタート前の開園を待つ人々に見守られて上空を舞うなど、3羽も観察できた。

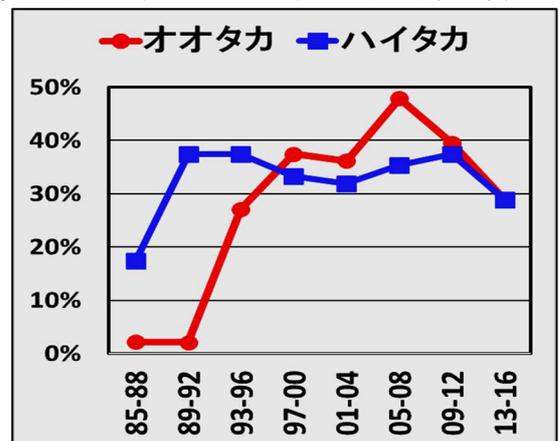
ハイタカの体長(嘴の先から尾羽の先端)は雄32cm、雌39cmで、キジバト33cmほどの小型のタカ、万博公園ではカワラヒワ・スズメ・ムクドリなどの小鳥類を餌にしていると思われる。

ハイタカは本州中部以北で繁殖しているが、大阪府内での繁殖記録がほとんど無く、春・秋の渡りの季節や冬鳥として観察されている。

万博公園では同属でハイタカより大きいオオタカが営巣・子育てをした年もあるが、その年でも冬になるとハイタカが渡来し、万博公園の上空を舞う姿を確認した。ハイタカ(やオオタカ)が飛ぶと、万博公園の主を自認しているカラスが群で追いかけることがあり、ハイタカは「ほうほうのていで逃げ回る」姿を見ることがあるが、ハイタカはカラスに負けることなく、しぶとく逃げ回っている。しかしオオタカが同属のハイタカを捕食することがあるとのこと、猛禽類であっても厳しい世界に生きていることがわかる。

### ①万博公園探鳥会でのハイタカの観察頻度 → (平:万博公園探鳥会記録より)

ハイタカ(+オオタカ)の万博公園探鳥会での観察頻度は右図の通りである。

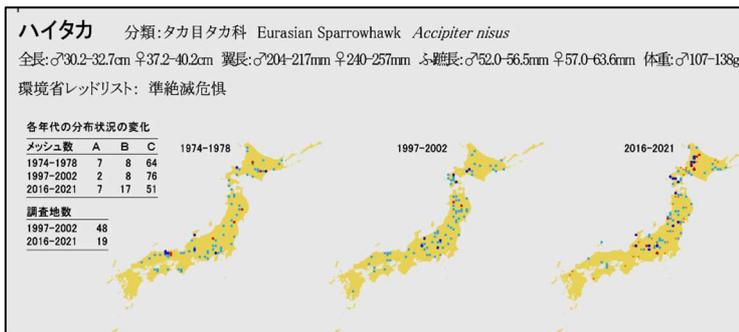
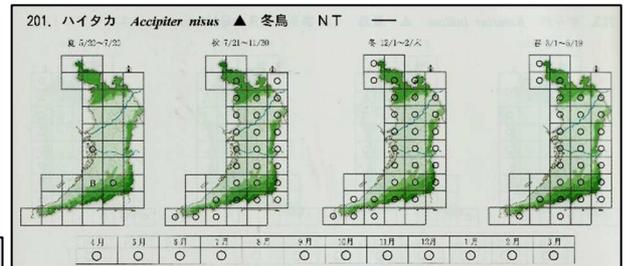


**オオタカ**は2007年～2014年に万博公園内で営巣・子育てをしたが、観察頻度は冬鳥として**ハイタカ**とあまり違いがないことは、一年中住んでいても園内で目立たないように生息しているためと推定している。

(オオタカの雌は繁殖期が終わると自由に移動しているため、万博公園にはいないと思われるが、雄は繁殖個所を守るため、一年中営巣地の近くにいる筈である。)

**②大阪府鳥類目録 2016: 日本野鳥の会大阪支部→**

右図では秋～春まで府内全域で確認されているが、繁殖記録はBランクーカ所のみ、2011年7月岸和田市で成鳥がヒナに餌を運ぶ姿が確認されたとのことである。



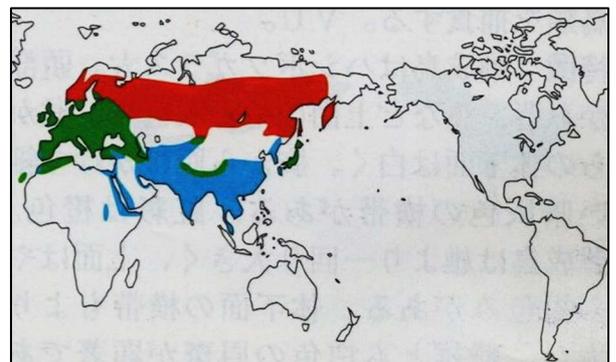
**← ③全国鳥類繁殖分布調査 鳥類繁殖分布調査会(2021年)**

全国での繁殖状況は左図の通り、記録メッシュ数には大きな変化はない。しかし1990年代と2010年代にほぼ同じコースを調査できた現地調査の記録をみても、48地点から19地点へと大きく減少している。

この原因として、ハイタカはオオタカに捕食されることがあり、オオタカを避けてより樹木密度の高い場所で繁殖していること、オオタカの分布拡大の影響で減少している可能性や日本の樹林の成熟化で、営巣適地が減っている可能性などが考えられる。分布域の南部(中部地方以南)では、記録されなくなった所が増えている。

**④世界の繁殖地・越冬地分布図 → 真木・大西「日本の野鳥 590」平凡社(2000年)**

- ハイタカの繁殖地・越冬地、
- ・繁殖地: ユーラシア大陸亜寒帯
  - ・繁殖・越冬地: 日本中北部・欧州
  - ・越冬地: 日本の南部～アジア熱帯地域



**Ⅱ 来月の万博公園探鳥会 2月8日(土)**

集合 9:30 自然文化園中央口 終了 15:00 頃 日本庭園内の予定

内容 今月資料のトップに書きましたが、万博公園探鳥会は1985年2月にスタートしましたので、1月で満40年、2月からは41年目入ります。これまで2月探鳥会で全員写真を撮ってきましたので、今年2月も全員写真を撮りたいと思っています。

12月後半から近畿北部。北陸の積雪が多くなっており、少なかった冬鳥が渡来し多くなっていると思います。ルリビタキやアトリなどに会いたいと思っています。

**参加ご希望の方 今月同様大阪支部 HP ホームズ様式からお申し込みください。**

ホームズでの申し込みが難しい方、平宛メール [g.0501.hi@gmail.com](mailto:g.0501.hi@gmail.com) への連絡でも OK。

## Ⅲ 先月 2024 年 12 月万博公園探鳥会結果

スタート時開園を待つときハイタカが飛び、その後もあわせ 3 羽、各 1 羽ずつであるがミサゴ・トビ・ノスリとタカの仲間を 4 種確認することができた。カモは万博公園としてはオカヨシガモが過去最大と思われる 27 羽も確認できたが、他はキンクロハジロ(1)・カルガモ(28)で 3 種に止まった。冬鳥で最もポピュラーなツグミの渡来が遅く 11 月探鳥会では見なかったが、今日は 25 羽確認することができ、シロハラ(3)・ジョウビタキ(8)・アトリ(5)・アオジ(2)と、ぼつぼつ渡来していることがわかった。前日の天気予報で雨確率が高かったことなどから、申し込んでくださっていた方から 7 人もの不参加連絡をいただいたが、スタート時点まで残っていた小雨が上がり探鳥会中は雨が降ることもなく、参加してくださった方には、35 種の鳥を楽しんでもらうことができた。

写真(橋本昌宗氏)



アトリ



ジョウビタキ



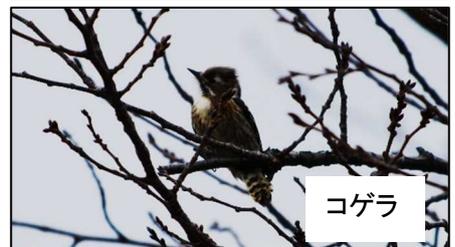
ツグミ



モズ



エナガ



コゲラ



カワセミ



オオバン



オカヨシガモ

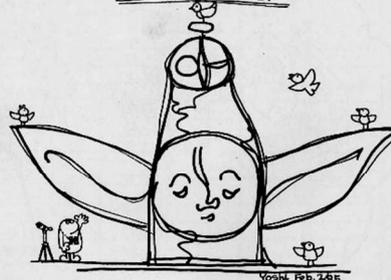
## Ⅳ 万博公園探鳥会 (第 1 回) 資料 →

万博公園探鳥会は、1985 年 2 月 16 日が第 1 回目の探鳥会でした。リーダーは塩田 猛さん、中野義弘さん(右資料作成)、平 軍二の 3 人でスタート、85 年 5 月からは黒田悦三さんにも入っていただき 4 人体制、その後も多数の方(30 人以上)にサポートしていただき、40 年間探鳥会を継続することができました。

### 万国博記念公園探鳥会

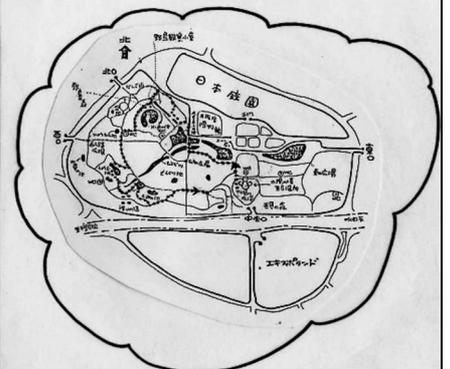
1985・2・16 (土)

日本野鳥の会大阪支部



1970 年開催された日本万博の跡地に造られた公園です。10 数年たった、樹木も繁り四季の花が咲き、素晴らしい公園になりました。今日は万博の 10 周年記念事業のひとつとして 1980 年に造られた、自然文化園内の野鳥の森を中心にバードウォッチングを楽しみます。

午後、時間があれば日本庭園にも行く予定ですと見えます。では、出発……



- 探鳥会で守ってほしいルール  
鳥の気持になつて観る。(静かに、そと)  
ゴミやタバコの灰捨て禁止。  
採取はしないで。そのまゝに。  
メジロのワッペンに誇りをもって。

# V 万博公園探鳥会観察種 チェックリスト

万博 NO	大阪 NO	種名	2024											2025											大阪 NO
			1 13	2 10	3 9	4 13	5 11	11 9	12 14	1 11	2 8	3 8	4 12	5 10	1 11	2 8	3 8	4 12	5 10						
1	24	オシドリ	2	2	25																			24	
2	26	オカヨシガモ																							26
3	27	ヨシガモ																							27
4	28	ヒドリガモ																							28
5	30	マガモ	2				2																		30
6	32	カルガモ	32	26	28	9	16	4	28																32
7	35	オナガガモ																							35
8	38	コガモ																							38
9	42	ホシハジロ			1																				42
10	46	キンクロハジロ	1	2																					46
11	58	ミコアイサ																							58
12	62	カイツブリ	4	7	1	3	5	8	3																62
13	74	キジバト	5	1	4	8	4	3	6																74
14	78	アオバト		5	1																				78
15	127	カワウ	3	6		8	7	1																	127
16	139	ゴイサギ																							139
17	144	アオサギ	2	1	2	1	1	1	1																144
18	146	ダイサギ		1	1																				146
19	148	コサギ		5	2	3																			148
20	166	クイナ																							166
21	174	バン																							174
22	175	オオバン																							175
23	187	ツツドリ																							187
24	192	アマツバメ																							192
25	195	ケリ																							195
26	202	イカルチドリ																							202
27	203	コチドリ																							203
28	219	タシギ	2	2	2	2																			219
29	244	イソシギ																							244
30	286	ユリカモメ																							286
31	339	ミサゴ	1	1																					339
32	340	ハチクマ																							340
33	342	トビ		1																					342
34	354	ツミ																							354
35	355	ハイタカ	3	1	1																				355
36	356	オオタカ	1	4																					356
37	357	サシバ																							357
38	358	ノスリ			1	1																			358
39	383	カワセミ	4	2	6	1	3	4	6																383
40	388	アリスイ																							388
41	390	コゲラ	5	5	2	5	2	3	4																390
42	401	チョウゲンボウ	1	1	1																				401
43	407	ハヤブサ																							407
44	412	サンショウクイ																							412
45	418	サンコウチョウ																							418
46	420	モズ	2	1	1																				420
47	435	ハシボソガラス	15	7	5	13	15	9	21																435
48	436	ハシブトガラス	32	38	48	34	48	57	54																436
49	442	ヤマガラ	4	8	2	2	2	8	3																442
50	445	シジュウカラ	14	18	17	23	17	12	14																445
51	457	ツバメ				6	27																		457
52	459	コシアカツバメ					3																		459
52	463	ヒヨドリ	67	52	26	13	12	67	98																463
53	464	ウグイス	2	1	5	11	6	3	3																464
54	465	ヤブサメ																							465
55	466	エナガ	8	9	6	2	6	18	11																466
56	476	オオムシクイ																							476
57	477	メボソムシクイ																							477
58	479	エゾムシクイ																							479
59	480	センダイムシクイ																							480
60	485	メジロ	6	4	7	8	11	16	8																485
61	492	オオヨシキリ																							492
62	501	ヒレンジャク																							501
63	506	ムクドリ	14	2	1	4	14		14																506
64	508	コムクドリ																							508
65	514	トラツグミ			1																				514
66	521	シロハラ	1	3	4	8		2	3																521
67	522	アカハラ				3		1																	522
68	525	ツグミ	136	3	44	35		25																	525
69	530	コマドリ																							530
70	536	ルリビタキ				1																			536
71	540	ジョウビタキ	7	3	5	1		11	8																540
72	542	ノビタキ																							542
73	549	イソヒヨドリ		1	1				2																549
74	552	エゾビタキ																							552
75	554	コサメビタキ							2																554
76	558	キビタキ							1	1															558
77	561	オオルリ																							561
78	568	ニュウナイスズメ							11																568
79	569	スズメ	31	32	4	21	23	57	28																569
80	573	キセキレイ							1																573
81	574	ハクセキレイ	16	12	15	9	6	17	21																574
82	575	セグロセキレイ	4	2		1		1	1																575
83	580	ピンズイ																							580
84	584	タヒバリ																							584
85	586	アトリ	18	31	32	2		5																	586
86	587	カワラヒワ	81	97	65	10	15	1	19																587
87	600	シメ	8			2																			600
88	602	イカル							3	4															602
89	610	ホオジロ																							610
90	617	カシラダカ																							617
91	624	アオジ	2		2	2		3	2																624
92		ドバト	○	○		○	○	○	○																

# 万博公園探鳥会

2025年1月11日(土)  
 リーダー 田中宏・中筋好子・橋本昌宗・大矢麻由美  
 玉置こるり・平軍二(090-6901-1425)

## あけましておめでとうございます

万博公園探鳥会は昭和60(1985)年2月にスタートし、満40年となりました。この間、千里タイムズ紙には毎月万博公園探鳥会案内を掲載していただいたことで、千里ニュータウンを中心とする吹田市・豊中市など北摂にお住いの多数の方々に、野鳥とのふれあいを楽しんでもらうことができました。

本年も良き鳥・良き人との出会いを楽しみに、万博公園探鳥会を続けたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

### I 千里の鳥・万博の鳥「ハイタカ」

漢字名「灰鷹・鷲」 (写真 橋本昌宗氏)



「一富士二鷹三茄子(いちふじにたかさんなすび)」は、初夢に見ると縁起が良いとされています。今年最初の「千里の鳥・万博の鳥」は、昨年12月14日探鳥会で観察できたハイタカ、スタート前の開園を待つ人々に見守られて上空を舞うなど、3羽も観察できた。

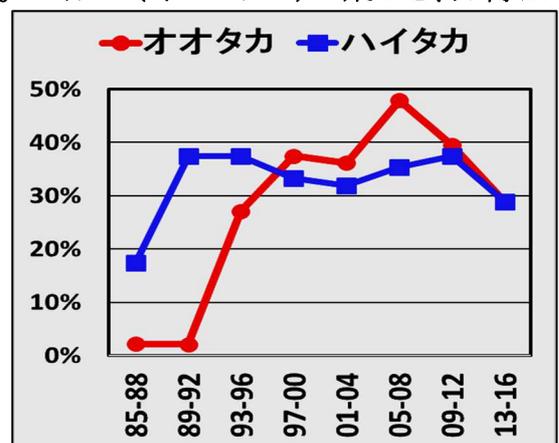
ハイタカの体長(嘴の先から尾羽の先端)は雄32cm、雌39cmで、キジバト33cmほどの小型のタカ、万博公園ではカワラヒワ・スズメ・ムクドリなどの小鳥類を餌にしていると思われる。

ハイタカは本州中部以北で繁殖しているが、大阪府内での繁殖記録がほとんど無く、春・秋の渡りの季節や冬鳥として観察されている。

万博公園では同属でハイタカより大きいオオタカが営巣・子育てをした年もあるが、その年でも冬になるとハイタカが渡来し、万博公園の上空を舞う姿を確認した。ハイタカ(やオオタカ)が飛ぶと、万博公園の主を自認しているカラスが群で追いかけることがあり、ハイタカは「ほうほうのていで逃げ回る」姿を見ることがあるが、ハイタカはカラスに負けることなく、しぶとく逃げ回っている。しかしオオタカが同属のハイタカを捕食することがあるとのこと、猛禽類であっても厳しい世界に生きていることがわかる。

### ①万博公園探鳥会でのハイタカの観察頻度 → (平:万博公園探鳥会記録より)

ハイタカ(+オオタカ)の万博公園探鳥会での観察頻度は右図の通りである。

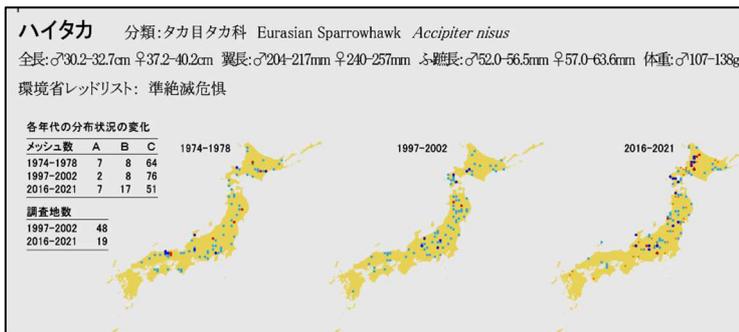
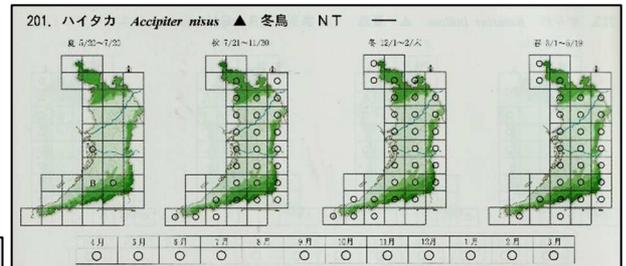


**オオタカ**は2007年～2014年に万博公園内で営巣・子育てをしたが、観察頻度は冬鳥として**ハイタカ**とあまり違いがないことは、一年中住んでいても園内で目立たないように生息しているためと推定している。

(オオタカの雌は繁殖期が終わると自由に移動しているため、万博公園にはいないと思われるが、雄は繁殖個所を守るため、一年中営巣地の近くにいる筈である。)

**②大阪府鳥類目録 2016: 日本野鳥の会大阪支部→**

右図では秋～春まで府内全域で確認されているが、繁殖記録はBランカーカ所のみ、2011年7月岸和田市で成鳥がヒナに餌を運ぶ姿が確認されたとのことである。



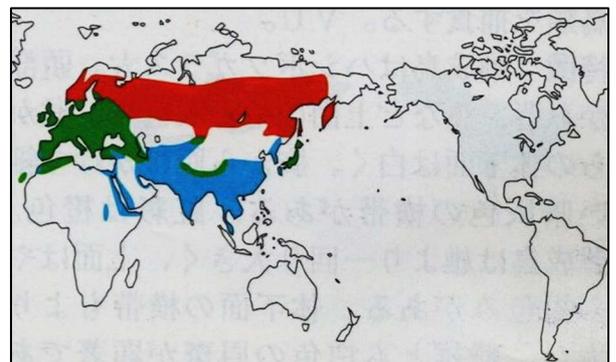
**← ③全国鳥類繁殖分布調査 鳥類繁殖分布調査会(2021年)**

全国での繁殖状況は左図の通り、記録メッシュ数には大きな変化はない。しかし1990年代と2010年代にほぼ同じコースを調査できた現地調査の記録をみても、48地点から19地点へと大きく減少している。

この原因として、ハイタカはオオタカに捕食されることがあり、オオタカを避けてより樹木密度の高い場所で繁殖していること、オオタカの分布拡大の影響で減少している可能性や日本の樹林の成熟化で、営巣適地が減っている可能性などが考えられる。分布域の南部(中部地方以南)では、記録されなくなった所が増えている。

**④世界の繁殖地・越冬地分布図 → 真木・大西「日本の野鳥 590」平凡社(2000年)**

- ハイタカの繁殖地・越冬地、
- ・繁殖地: ユーラシア大陸亜寒帯
  - ・繁殖・越冬地: 日本中北部・欧州
  - ・越冬地: 日本の南部～アジア熱帯地域



**Ⅱ 来月の万博公園探鳥会 2月8日(土)**

集合 9:30 自然文化園中央口 終了 15:00 頃 日本庭園内の予定

内容 今月資料のトップに書きましたが、万博公園探鳥会は1985年2月にスタートしましたので、1月で満40年、2月からは41年目入ります。これまで2月探鳥会で全員写真を撮ってきましたので、今年2月も全員写真を撮りたいと思っています。

12月後半から近畿北部。北陸の積雪が多くなっており、少なかった冬鳥が渡来し多くなっていると思います。ルリビタキやアトリなどに会いたいと思っています。

**参加ご希望の方 今月同様大阪支部 HP ホームズ様式からお申し込みください。**

ホームズでの申し込みが難しい方、平宛メール [g.0501.hi@gmail.com](mailto:g.0501.hi@gmail.com) への連絡でも OK。

## Ⅲ 先月 2024 年 12 月万博公園探鳥会結果

スタート時開園を待つときハイタカが飛び、その後もあわせ 3 羽、各 1 羽ずつであるがミサゴ・トビ・ノスリとタカの仲間を 4 種確認することができた。カモは万博公園としてはオカヨシガモが過去最大と思われる 27 羽も確認できたが、他はキンクロハジロ(1)・カルガモ(28)で 3 種に止まった。冬鳥で最もポピュラーなツグミの渡来が遅く 11 月探鳥会では見なかったが、今日は 25 羽確認することができ、シロハラ(3)・ジョウビタキ(8)・アトリ(5)・アオジ(2)と、ぼつぼつ渡来していることがわかった。前日の天気予報で雨確率が高かったことなどから、申し込んでくださっていた方から 7 人もの不参加連絡をいただいたが、スタート時点まで残っていた小雨が上がり探鳥会中は雨が降ることもなく、参加してくださった方には、35 種の鳥を楽しんでもらうことができた。

写真(橋本昌宗氏)



アトリ



ジョウビタキ



ツグミ



モズ



エナガ



コゲラ



カワセミ



オオバン



オカヨシガモ

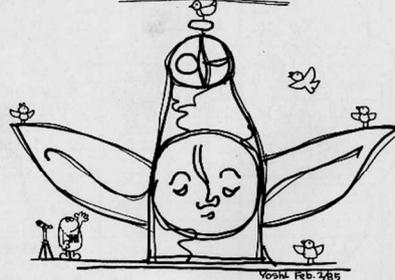
## Ⅳ 万博公園探鳥会 (第 1 回) 資料 →

万博公園探鳥会は、1985 年 2 月 16 日が第 1 回目の探鳥会でした。リーダーは塩田 猛さん、中野義弘さん(右資料作成)、平 軍二の 3 人でスタート、85 年 5 月からは黒田悦三さんにも入っていただき 4 人体制、その後も多数の方(30 人以上)にサポートしていただき、40 年間探鳥会を継続することができました。

### 万国博記念公園探鳥会

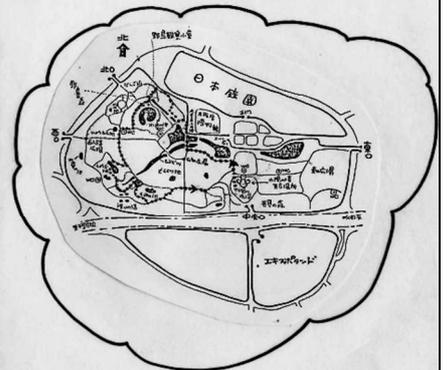
1985・2・16 (土)

日本野鳥の会大阪支部



1970 年開催された日本万博の跡地に造られた公園です。10 数年たった、樹木も繁り四季の花が咲き、素晴らしい公園になりました。今日は万博の 10 周年記念事業のひとつとして 1980 年に造られた、自然文化園内の野鳥の森を中心にバードウォッチングを楽しみます。

午後、時間があれば日本庭園にも行く予定ですと見えます。では、出発……



- 探鳥会で守ってほしいルール  
鳥の気持になつて観る。(静かに、そと)  
ゴミやタバコの灰捨て禁止。  
採取はしないで。そのまゝに。  
メジロのワッペンに誇りをもって。



# 万博公園探鳥会

2025年1月11日(土)  
 リーダー 田中宏・中筋好子・橋本昌宗・大矢麻由美  
 玉置こるり・平軍二(090-6901-1425)

## あけましておめでとうございます

万博公園探鳥会は昭和60(1985)年2月にスタートし、満40年となりました。この間、千里タイムズ紙には毎月万博公園探鳥会案内を掲載していただいたことで、千里ニュータウンを中心とする吹田市・豊中市など北摂にお住いの多数の方々に、野鳥とのふれあいを楽しんでもらうことができました。

本年も良き鳥・良き人との出会いを楽しみに、万博公園探鳥会を続けたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

### I 千里の鳥・万博の鳥「ハイタカ」

漢字名「灰鷹・鷲」 (写真 橋本昌宗氏)



「一富士二鷹三茄子(いちふじにたかさんなすび)」は、初夢に見ると縁起が良いとされています。今年最初の「千里の鳥・万博の鳥」は、昨年12月14日探鳥会で観察できたハイタカ、スタート前の開園を待つ人々に見守られて上空を舞うなど、3羽も観察できた。

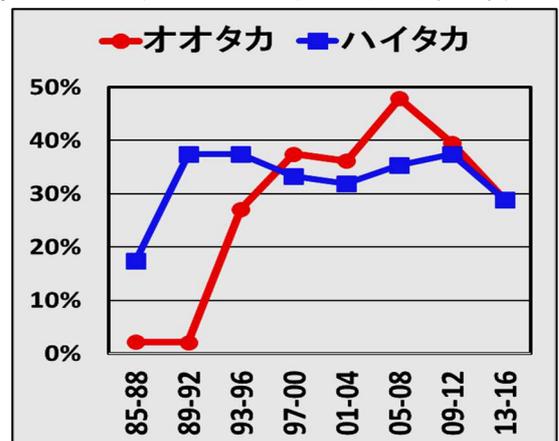
ハイタカの体長(嘴の先から尾羽の先端)は雄32cm、雌39cmで、キジバト33cmほどの小型のタカ、万博公園ではカワラヒワ・スズメ・ムクドリなどの小鳥類を餌にしていると思われる。

ハイタカは本州中部以北で繁殖しているが、大阪府内での繁殖記録がほとんど無く、春・秋の渡りの季節や冬鳥として観察されている。

万博公園では同属でハイタカより大きいオオタカが営巣・子育てをした年もあるが、その年でも冬になるとハイタカが渡来し、万博公園の上空を舞う姿を確認した。ハイタカ(やオオタカ)が飛ぶと、万博公園の主を自認しているカラスが群で追いかけることがあり、ハイタカは「ほうほうのていで逃げ回る」姿を見ることがあるが、ハイタカはカラスに負けることなく、しぶとく逃げ回っている。しかしオオタカが同属のハイタカを捕食することがあるとのこと、猛禽類であっても厳しい世界に生きていることがわかる。

### ①万博公園探鳥会でのハイタカの観察頻度 → (平:万博公園探鳥会記録より)

ハイタカ(+オオタカ)の万博公園探鳥会での観察頻度は右図の通りである。

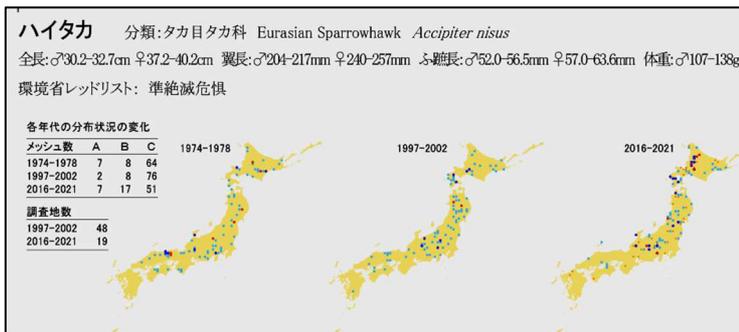
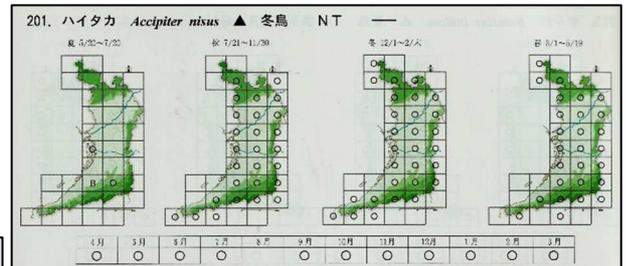


**オオタカ**は2007年～2014年に万博公園内で営巣・子育てをしたが、観察頻度は冬鳥として**ハイタカ**とあまり違いがないことは、一年中住んでいても園内で目立たないように生息しているためと推定している。

(オオタカの雌は繁殖期が終わると自由に移動しているため、万博公園にはいないと思われるが、雄は繁殖個所を守るため、一年中営巣地の近くにいる筈である。)

**②大阪府鳥類目録 2016: 日本野鳥の会大阪支部→**

右図では秋～春まで府内全域で確認されているが、繁殖記録はBランカーカ所のみ、2011年7月岸和田市で成鳥がヒナに餌を運ぶ姿が確認されたとのことである。



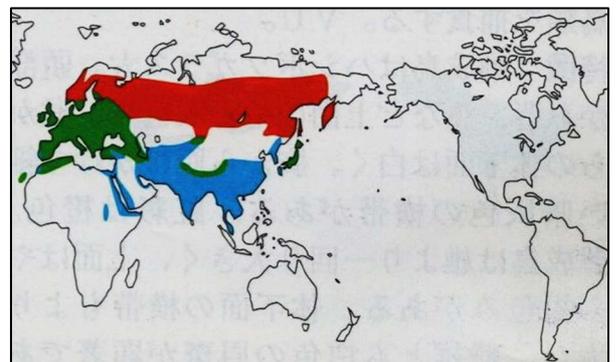
**← ③全国鳥類繁殖分布調査 鳥類繁殖分布調査会(2021年)**

全国での繁殖状況は左図の通り、記録メッシュ数には大きな変化はない。しかし1990年代と2010年代にほぼ同じコースを調査できた現地調査の記録をみても、48地点から19地点へと大きく減少している。

この原因として、ハイタカはオオタカに捕食されることがあり、オオタカを避けてより樹木密度の高い場所で繁殖していること、オオタカの分布拡大の影響で減少している可能性や日本の樹林の成熟化で、営巣適地が減っている可能性などが考えられる。分布域の南部(中部地方以南)では、記録されなくなった所が増えている。

**④世界の繁殖地・越冬地分布図 → 真木・大西「日本の野鳥 590」平凡社(2000年)**

- ハイタカの繁殖地・越冬地、
- ・繁殖地: ユーラシア大陸亜寒帯
  - ・繁殖・越冬地: 日本中北部・欧州
  - ・越冬地: 日本の南部～アジア熱帯地域



**Ⅱ 来月の万博公園探鳥会 2月8日(土)**

集合 9:30 自然文化園中央口 終了 15:00 頃 日本庭園内の予定

内容 今月資料のトップに書きましたが、万博公園探鳥会は1985年2月にスタートしましたので、1月で満40年、2月からは41年目入ります。これまで2月探鳥会で全員写真を撮ってきましたので、今年2月も全員写真を撮りたいと思っています。

12月後半から近畿北部。北陸の積雪が多くなっており、少なかった冬鳥が渡来し多くなっていると思います。ルリビタキやアトリなどに会いたいと思っています。

**参加ご希望の方 今月同様大阪支部 HP ホームズ様式からお申し込みください。**

ホームズでの申し込みが難しい方、平宛メール [g.0501.hi@gmail.com](mailto:g.0501.hi@gmail.com) への連絡でも OK。

## Ⅲ 先月 2024 年 12 月万博公園探鳥会結果

スタート時開園を待つときハイタカが飛び、その後もあわせ 3 羽、各 1 羽ずつであるがミサゴ・トビ・ノスリとタカの仲間を 4 種確認することができた。カモは万博公園としてはオカヨシガモが過去最大と思われる 27 羽も確認できたが、他はキンクロハジロ(1)・カルガモ(28)で 3 種に止まった。

冬鳥で最もポピュラーなツグミの渡来が遅く 11 月探鳥会では見なかったが、今日は 25 羽確認することができ、シロハラ(3)・ジョウビタキ(8)・アトリ(5)・アオジ(2)と、ぼつぼつ渡来していることがわかった。前日の天気予報で雨確率が高かったことなどから、申し込んでくださっていた方から 7 人もの不参加連絡をいただいたが、スタート時点まで残っていた小雨が上がり探鳥会中は雨が降ることもなく、参加してくださった方には、35 種の鳥を楽しんでもらうことができた。

写真(橋本昌宗氏)



アトリ



ジョウビタキ



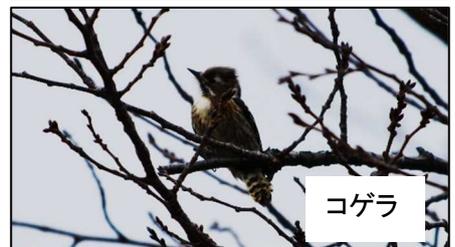
ツグミ



モズ



エナガ



コゲラ



カワセミ



オオバン



オカヨシガモ

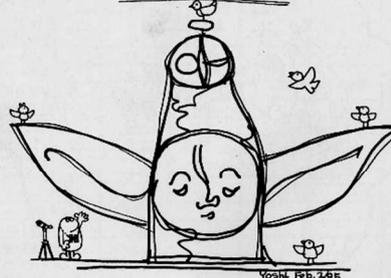
## Ⅳ 万博公園探鳥会 (第 1 回) 資料 →

万博公園探鳥会は、1985 年 2 月 16 日が第 1 回目の探鳥会でした。リーダーは塩田 猛さん、中野義弘さん(右資料作成)、平 軍二の 3 人でスタート、85 年 5 月からは黒田悦三さんにも入っていただき 4 人体制、その後も多数の方(30 人以上)にサポートしていただき、40 年間探鳥会を継続することができました。

### 万国博記念公園探鳥会

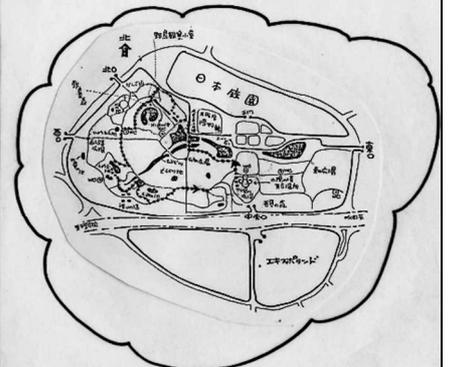
1985・2・16 (土)

日本野鳥の会大阪支部



1970 年開催された日本万博の跡地に造られた公園です。10 数年たった、樹木も繁り四季の花が咲き、素晴らしい公園になりました。今日は万博の 10 周年記念事業のひとつとして 1980 年に造られた、自然文化園内の野鳥の森を中心にバードウォッチングを楽しみます。

午後、時間があれば日本庭園にも行ってみたいと思います。  
では、出発……



- 探鳥会で守ってほしいルール  
鳥の気持になつて観る。(静かに、そと)  
ゴミやタバコの灰捨て禁止。  
採取はしないで。そのまゝに。  
メジロのワッペンに誇りをもって。

